

北陸自動車道
R8新潟管内橋梁補修工事

設 計 図

令和8年8月

東日本高速道路株式会社
新潟支社 新潟管理事務所

目 次

No.	図 面 名	図面番号	No.	図 面 名	図面番号
1	位置図	1	16	漆山橋(下り線) A1 コンクリート表面処理工、はく落防止対策工	22
2	数量総括表	2	17	漆山橋(下り線) A1 表面保護工	23
3	荒井川橋 一般図 (1)～(2)	3、4	18	漆山橋(下り線) A1 水切り工	24
4	荒井川橋 鋼部材補修工 数量内訳	5	19	漆山橋(上り線) A2 コンクリートはつり工、断面修復工	25
5	荒井川橋(上り線) A1 鋼部材補修工 (1)～(4)	6～9	20	漆山橋(上り線) A2 コンクリート表面処理工、はく落防止対策工	26
6	荒井川橋(上り線) A1 伸縮装置補修工	10	21	漆山橋(上り線) A2 表面保護工	27
7	荒井川橋(上り線) A1 立入防止柵撤去設置工	11	22	漆山橋(上り線) A2 水切り工	28
8	荒井川橋(上り線) A1 検査路撤去再設置工 (1)～(3)	12～14	23	漆山橋(下り線) A2 コンクリートはつり工、断面修復工	29
9	荒井川橋(上り線、下り線) A1ーP1 交通保安要員	15	24	漆山橋(下り線) A2 コンクリート表面処理工、はく落防止対策工	30
10	漆山橋 一般図	16	25	漆山橋(下り線) A2 表面保護工	31
11	漆山橋(上り線) A1 コンクリートはつり工、断面修復工	17	26	漆山橋(下り線) A2 水切り工	32
12	漆山橋(上り線) A1 コンクリート表面処理工、はく落防止対策工	18	27	漆山橋(上り線) A1 (下り線) A2 立入防止柵撤去設置工	33
13	漆山橋(上り線) A1 表面保護工	19	28	漆山橋(上り線) A1 検査路撤去再設置工	34
14	漆山橋(上り線) A1 水切り工	20	29	漆山橋(下り線) A1 検査路撤去再設置工	35
15	漆山橋(下り線) A1 コンクリートはつり工、断面修復工	21	30	漆山橋(上り線) A2 検査路撤去再設置工	36

目 次

No.	図 面 名	図面番号	No.	図 面 名	図面番号
31	漆山橋(下り線) A2 検査路撤去再設置工	37	46	ときめき橋 P11-P12 ケーブル制振装置取替工	54
32	漆山橋 検査路撤去再設置工 各部詳細図	38	47	新津高架橋 一般図 (1)～(4)	55～58
33	漆山橋(上り線、下り線) A2 排水管撤去設置工	39	48	新津高架橋(上り線) A1 コンクリートはつり工、断面修復工	59
34	漆山橋(上り線、下り線) A1ーA2 交通保安要員	40	49	新津高架橋(上り線) A1 表面保護工	60
35	国見橋 一般図	41	50	新津高架橋(上り線) A1 水切り工	61
36	国見橋(下り線) P1 コンクリートはつり工、断面修復工	42	51	新津高架橋(下り線) P3ーP4 コンクリートはつり工、断面修復工	62
37	国見橋(下り線) P1 表面保護工	43	52	新津高架橋(上り線、下り線) P1ーP2 立入防止柵撤去設置工	63
38	国見橋(下り線) P1 水切り工	44	53	新津高架橋(上り線) A1 排水管撤去設置工	64
39	国見橋(上り線) P2 コンクリートはつり工、断面修復工	45	54	新津高架橋(上り線、下り線) P1ーP2 交通保安要員	65
40	国見橋(上り線) P2 表面保護工	46	55	交通規制工	
41	国見橋(上り線) P2 水切り工	47	56	交通規制工 車線規制	66
42	国見橋(上り線) P2 (下り線) P1 検査路撤去再設置工	48			
43	国見橋(下り線) P1ーP2 排水管撤去設置工	49			
44	国見橋(上り線、下り線) P1ーP2 交通保安要員	50			
45	ときめき橋 一般図 (1)～(3)	51～53			



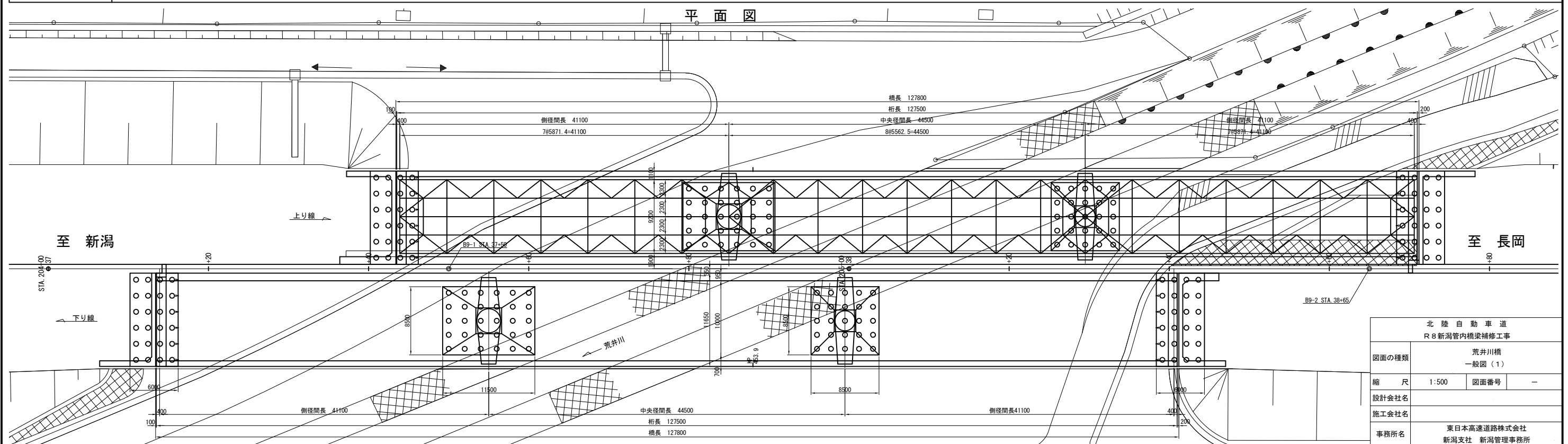
北陸自動車道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	位置図		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

路線名	IC区間	橋梁名			15-(11)	17-(30)	17-(31)	17-(32)	17-(37)			19-(1)	19-(2)		特-(1)			
					立入防止柵 撤去設置工	コンクリート 表面処理工	はく落防止対策工	表面保護工	検査路撤去再設置工			交通規制工	交通保安員		コンクリートはつり工			
					一般型積雪地用A	A	B	コンクリート 表面被覆工	A	B	C	車線規制	交通誘導警備員 B 1	交通誘導警備員 B 2	A 1 (t = 4 c m)	A 1 (t = 5 c m)	A 1 (t = 6 c m)	A 1 (t = 7 c m)
					m	m ²	m ²	m ²	箇所	箇所	箇所	回	人・日	人・日	m ²	m ²	m ²	m ²
北陸道	三条燕IC～巻潟東IC	荒井川橋	A1	上り線	5.6				1.0			122.0						
			漆山橋	A1	上り線	4.9	1.4	2.5	19.0		1.0		120.0	39.0	2.5		0.8	1.8
		下り線			3.0	4.0	18.1		1.0			4.3				2.9		
		A2		上り線		2.1	3.5	17.7		1.0		102.0		5.3		2.0		
			下り線	1.9	1.3	2.1	16.0		1.0					5.5	1.2			
	巻潟東IC～新潟西IC	国見橋	P1	下り線				31.6		2.0	18.0			7.4	4.7			
			P2	上り線				24.1		2.0	10.0			7.2	0.5			
	新潟西IC～新潟中央JCT	ときめき橋	P11-P12	上下線							1.0							
磐越道	新津IC～新津西SIC	新津高架橋	A1	上り線	3.0			24.6				42.0			7.9	7.7		
			P3-P4	下り線	6.0							4.0			1.7			
合計					21.4	7.8	12.1	151.1	1.0	4.0	4.0	1.0	418.0	39.0	7.8	34.0	16.9	4.7

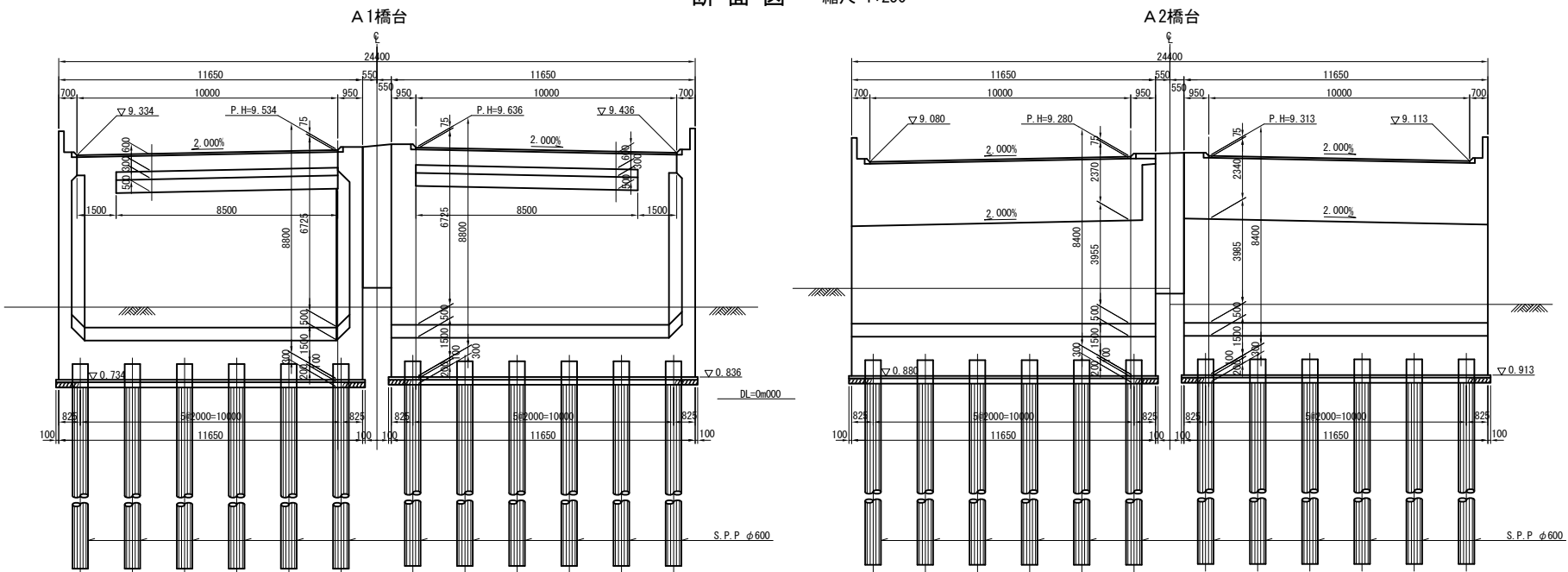
路線名	IC区間	橋梁名			特-(1)			特-(2)								特-(3)
					コンクリートはつり工			断面修復工								水切り工
					A 2 (t = 5 c m)	A 2 (t = 6 c m)	A 2 (t = 7 c m)	A 1 a (t = 4 c m)	A 1 a (t = 5 c m)	A 1 a (t = 6 c m)	A 1 a (t = 7 c m)	A 1 b (t = 5 c m)	A 2 a (t = 5 c m)	A 2 a (t = 6 c m)	A 2 a (t = 7 c m)	A
					m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m
北陸道	三条燕IC～巻潟東IC	荒井川橋	A1	上り線												
		漆山橋	A1	上り線		13.5		2.5		0.8	1.8		13.5		6.2	
				下り線			12.2		4.3		2.9			12.2	6.6	
			A2	上り線		11.1		5.3		2.0			11.1		6.6	
				下り線		8.6			5.5	1.2			8.6		7.1	
	巻潟東IC～新潟西IC	国見橋	P1	下り線		16.7			7.4	4.7			16.7		5.4	
			P2	上り線		13.5			7.2	0.5			13.5		5.0	
	新潟西IC～新潟中央JCT	ときめき橋	P11-P12	上下線												
磐越道	新津IC～新津西SIC	新津高架橋	A1	上り線	6.9			7.9	7.7			6.9		5.4		
			P3-P4	下り線							1.7					
合計					6.9	63.4	12.2	7.8	32.3	16.9	4.7	1.7	6.9	63.4	12.2	42.3

路線名	IC区間	橋梁名			特-(4)		特-(5)	特-(6)			特-(7)	特-(8)	特-(9)
					排水管撤去設置工		鋼部材補修工	廃棄物処分			伸縮装置補修工	ケーブル制振装置取替工	路上作業安全講習
					A	B	A	廃塗膜	研削廃材	廃棄資材	A	A	
					箇所	箇所	kg	kg	kg	kg	箇所	箇所	回
北陸道	三条燕IC～巻潟東IC	荒井川橋	A1	上り線			204.3	3.5	135.6	20.2	1.0	1.0	
			漆山橋	A1	上り線								
				下り線									
		A2		上り線	1.0								
			下り線	1.0									
	巻潟東IC～新潟西IC	国見橋	P1	下り線		2.0							
			P2	上り線									
	新潟西IC～新潟中央JCT	ときめき橋	P11-P12	上下線							2.0		
磐越道	新津IC～新津西SIC	新津高架橋	A1	上り線	2.0								
			P3-P4	下り線									
合計					4.0	2.0	204.3	3.5	135.6	20.2	1.0	2.0	1.0

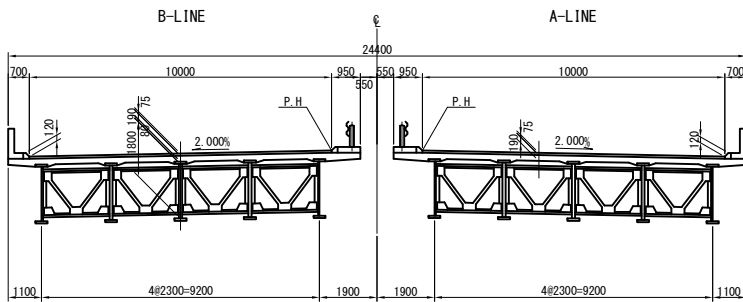
北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	数量総括表		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		



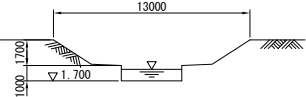
断面図 縮尺 1:250



標準断面図 縮尺 1:250



河川部詳細 縮尺 1:500



材料強度

許容応力	鋼	SS41 SS41	圧縮応力	$\sigma_{ca}=1400 \text{ kg/cm}^2$ $\sigma_{ca}=1400-24 (L/b-45)$
			引張応力	$\sigma_{ca}=1400 \text{ kg/cm}^2$
		SM50Y SM53	圧縮応力	$\sigma_{ca}=2100 \text{ "}$ $\sigma_{ca}=2100-44 (L/b-35)$
			引張応力	$\sigma_{ca}=2100 \text{ kg/cm}^2$
	コンクリート	$\sigma_{ck}=240 \text{ kg/cm}^2$	曲げ圧縮応力	$\sigma_{ca}= 80 \text{ "}$ $\sigma_{sa}= 68.5 \text{ " (SLAB)}$
			支圧応力	$\sigma_{ca}= 72 \text{ "}$
			せん断応力	$\tau_{a1}= 9 \text{ "}$ $\tau_{a2}= 20 \text{ "}$
			付着応力	$\tau_{oa}= 16 \text{ "}$
			下部工	$\sigma_{sa}=1800 \text{ "}$
			床版	$\sigma_{sa}=1400 \text{ "}$
	鉄筋		最大粗骨材	25 mm

設計条件

型	式	鋼3径間連続鉄桁
橋	長	127m800
桁	長	127m500
支間	長	41m100+44m500+41m100
有効幅員		10m000
活荷重		TL-20 , TT-43
衝撃係数		i=20/(50+L)
斜角		L=90°
平面曲線		R=∞
縦断勾配		0.482%
横断勾配		2.000%
水平震度		KH=0.2

北陸自動車道 R 8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	荒井川橋 一般図（2）		
縮尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

荒井川橋 鋼部材補修工
数量内訳

項 目				単位	上り線	備 考
鋼部材補修工 A	撤去鋼材	鋼材		kg	2. 0	
		ボルト		BOLT M24 本	8	
	鋼構造物の製作	製作材料費（鋼板）		A kg	175. 0	SM400A, SS400
	工数算定要素 集計表	小型材片	材片数	個	41	
			材片質量	kg	175. 0	
			部材数	個	2	
		加工鋼重計		kg	175. 0	
		部材数計		個	2	
	鋼構造物の輸送	輸送重量		kg	165. 3	孔引き重量9. 7kg
	鋼構造物の架設	架設重量	鋼材	kg	165. 3	孔引き重量9. 7kg
			BOLT M22	kg	4. 0	8本
			BOLT M24	kg	4. 0	8本
			T. C. B M22	kg	31. 0	57本
			小計	kg	204. 3	
	鋼構造物の防錆	高力ボルト接合部	J	cm2	28938. 4	
	塗替塗装	素地調整		1種 cm2	12304. 0	WEB、下フランジ(当て板接触面)
		塗膜除去		cm2	16762. 6	
		一般部	c-3	1種 cm2	4458. 6	
				4種 cm2	5225. 5	
		特殊部	g-3	1種 cm2	17544. 6	新設部材（非接触面）の面積を含む
		増し塗り	c-3	cm2	9684. 1	
	現場ボルト孔明け		T. C. B M22	本	56	24. 5φ 孔(切欠き箇所の本を除く)
			BOLT M22	本	8	
	ボルトキャップ		T. C. B M22	組	57	
	ガス切断長		6 ≤ t ≤ 10	m	0. 1	
			10 < t ≤ 15	m	0. 3	
	曲面加工		2C	m	15. 1	当て板
	グラインダー仕上げ		2R	m	1. 5	滑らか仕上げ
	シリコン樹脂シール			L	2. 1	当て板
	エポキシ樹脂接着剤			L	2. 6	
廃棄物処分	廃塗膜			kg	3. 5	
	研削廃材			kg	135. 6	
	廃棄資材			kg	20. 2	

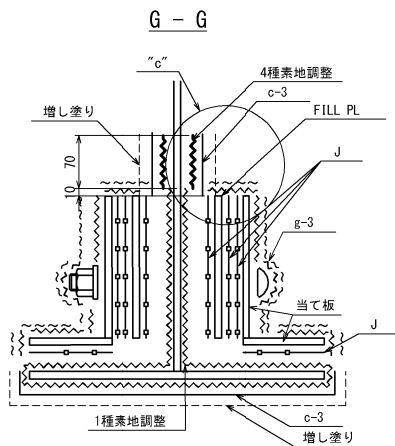
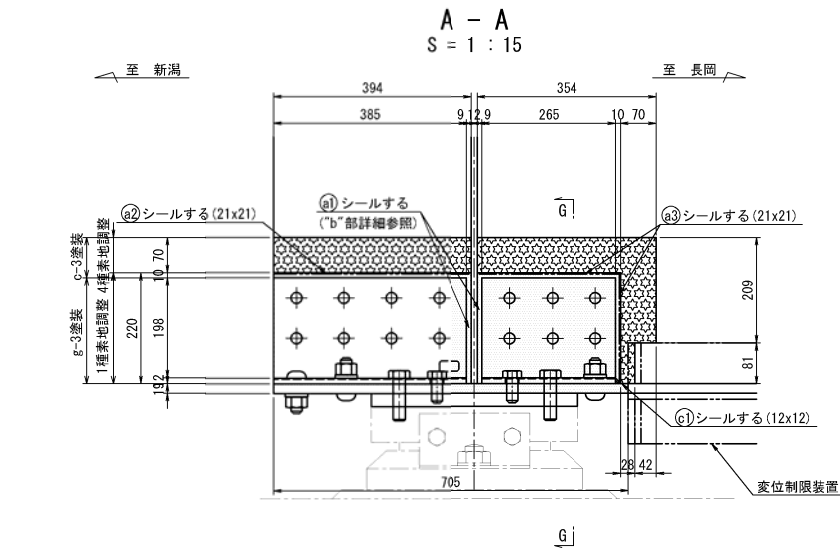
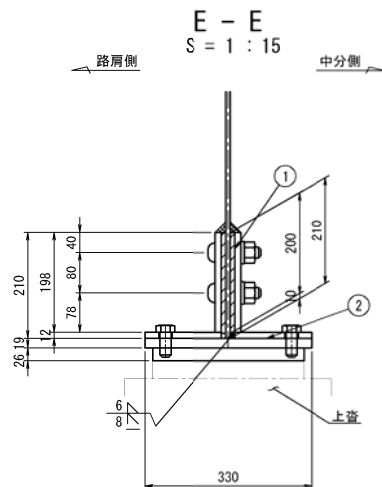
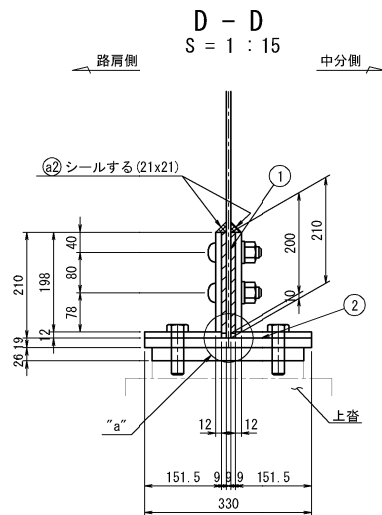
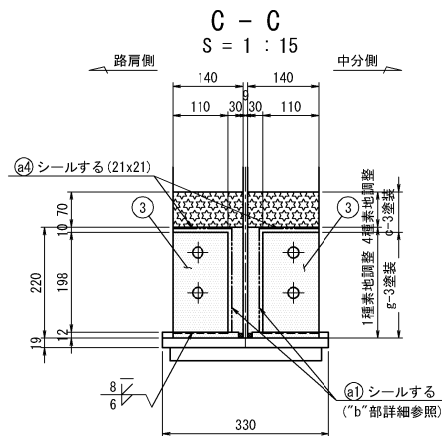
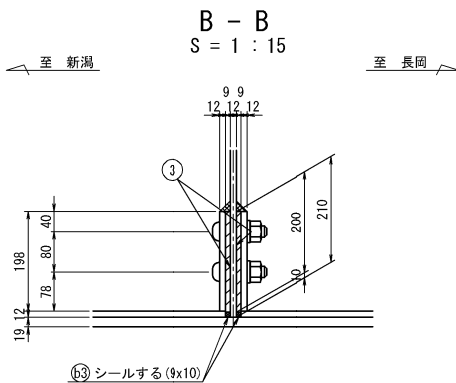
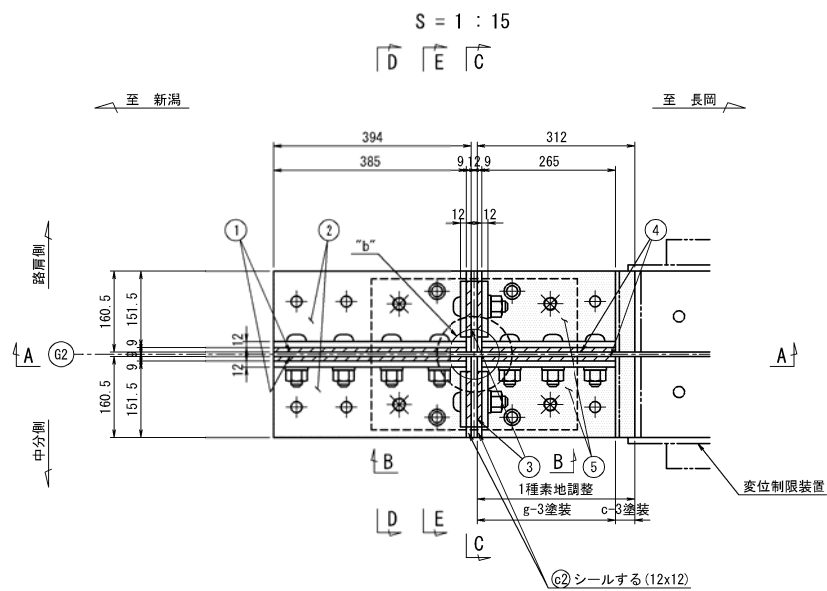
北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	荒井川橋 鋼部材補修工 廃棄物処分 数量内訳		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

北 陸 自 動 車 道 R8新潟管内橋梁修繕工事			
図面の種類	荒井川橋 鋼部材修繕工 (1) 上り線 A1		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

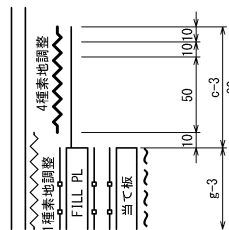
荒井川橋 鋼部材補修工（２）

上り線 A 1

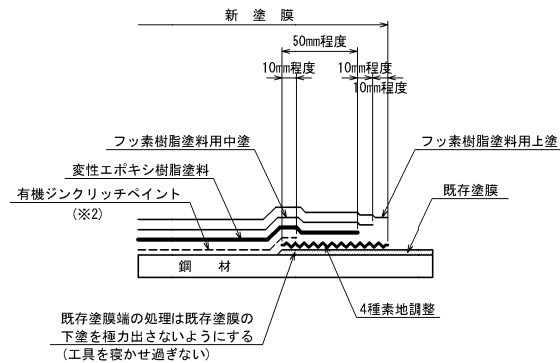
G2桁 損傷番号 No. 1-2



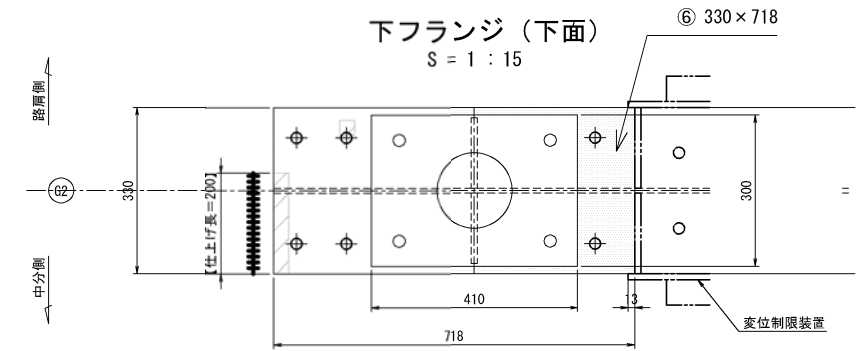
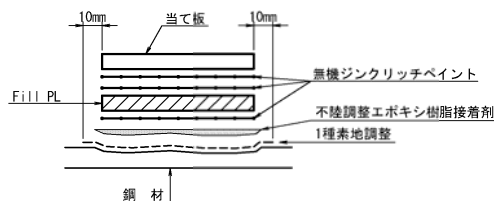
“c”部詳細 S = 1 : 5



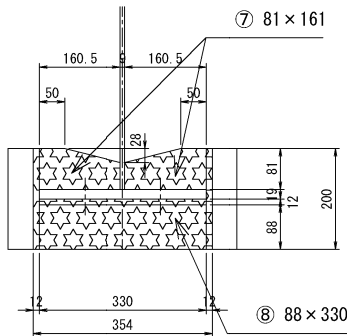
既存塗膜との境界部の処理



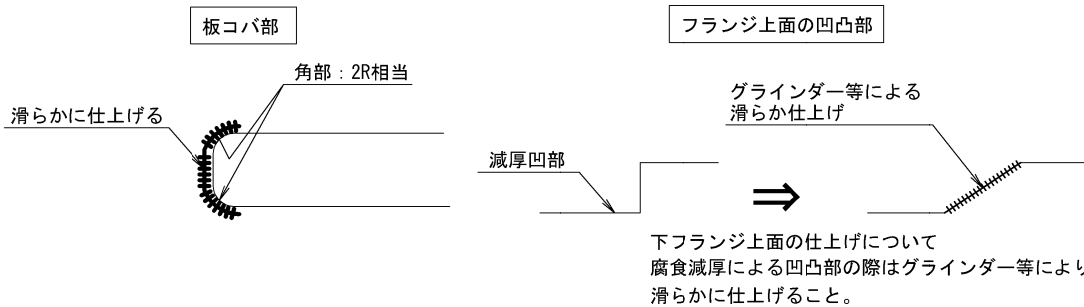
補修断面図



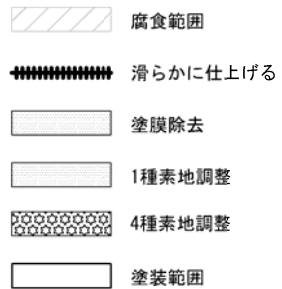
変位制限装置詳細 S = 1 : 15



仕上げ要領



凡例



注記

- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ⊕印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
- ⊙印は、普通ボルト M22 (SS400) を示す。
- ※印は、普通ボルト M24 (SS400) を示す。
- 高力ボルトの剛孔径は既設 24.5φ、当て板材は拡大孔の26.5φとする。
- 外気に面する高力ボルトの頭及びナット部分はそれぞれボルトキャップを取り付けること。
- 実際の製作・施工方法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。

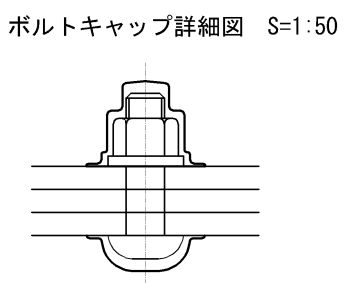
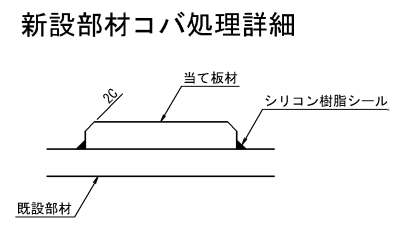
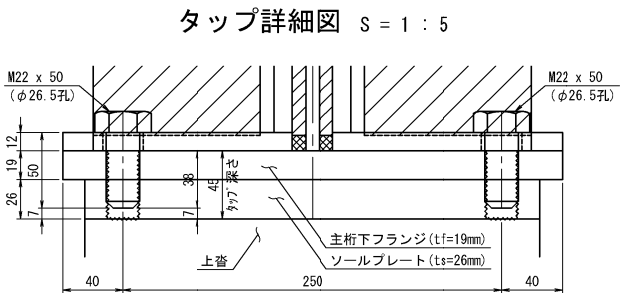
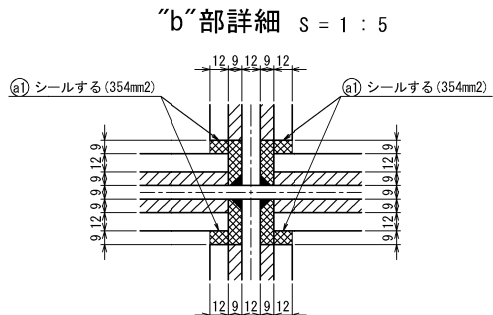
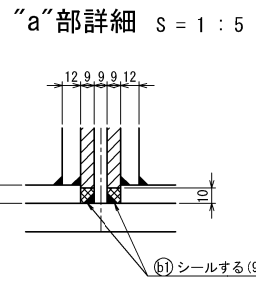
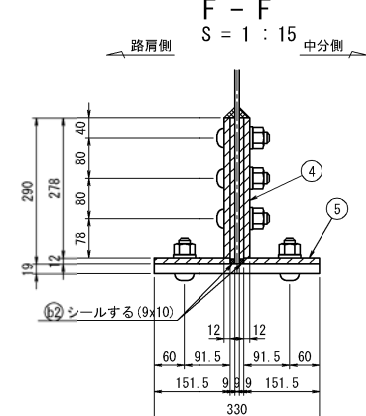
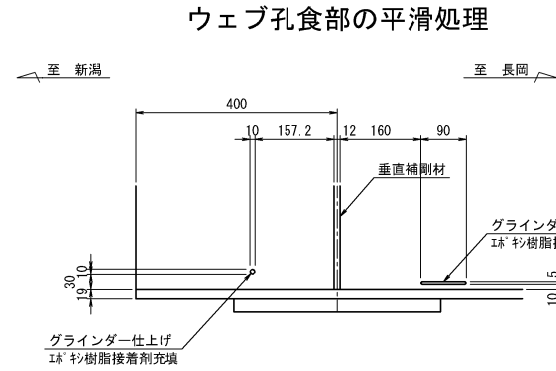
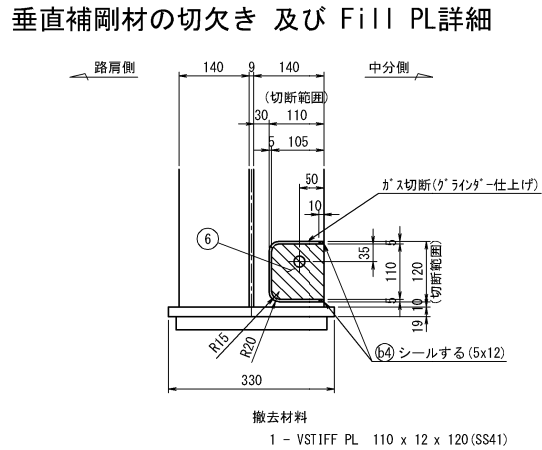
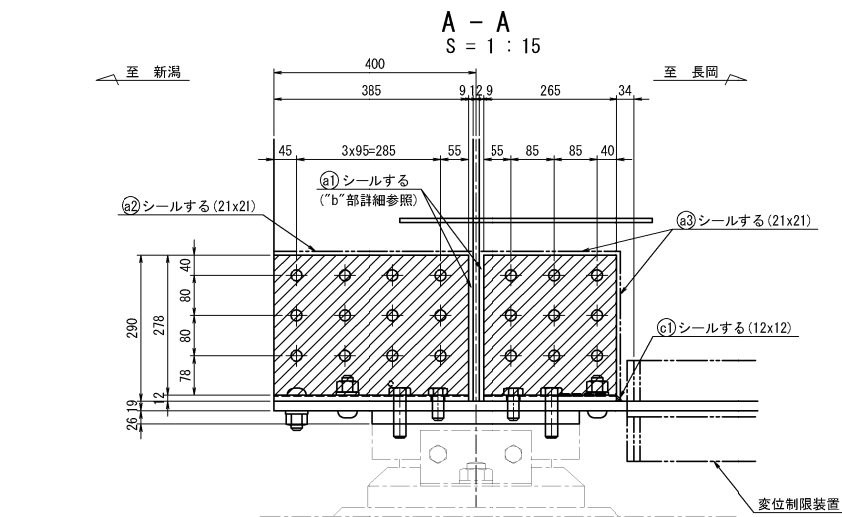
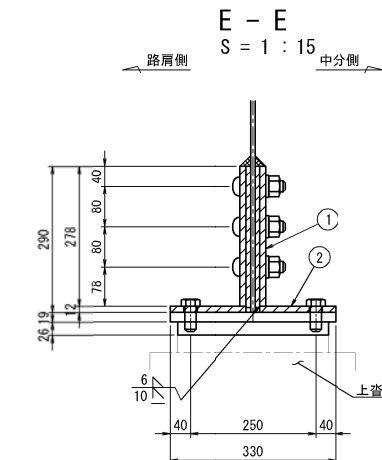
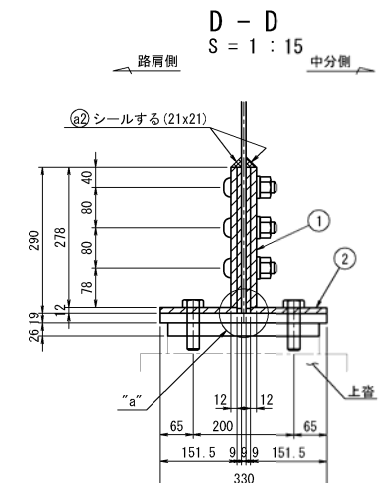
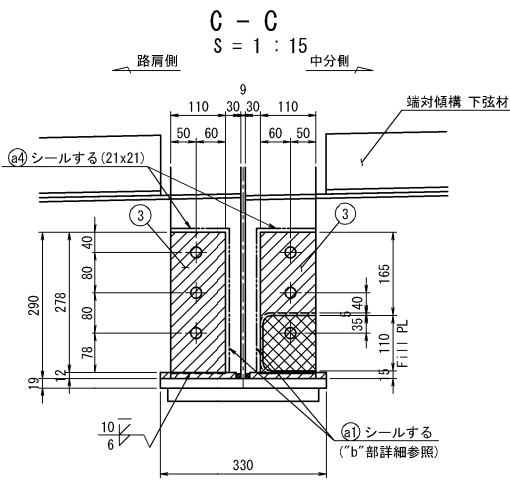
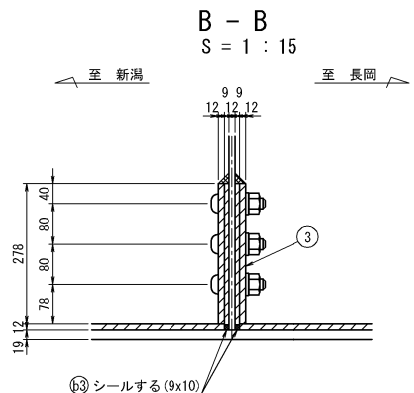
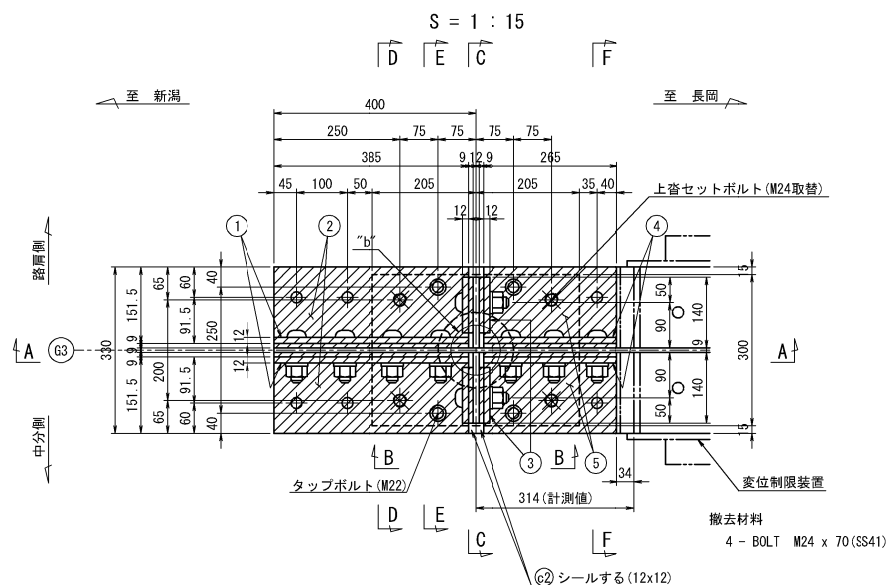
北陸自動車道 R8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	荒井川橋 鋼部材補修工（２） 上り線 A 1		
縮尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

既設部材(cm2)						
ウェブ+下フランジ上面+垂直補剛材			下フランジ下面+変位制限装置		増し塗り塗装 c-3	塗膜除去
1種素地調整	塗替塗装 (一般部) c-3-(1)	塗替塗装 (一般部) c-3-(4)	塗替塗装 (一般部) c-3-(1)	塗替塗装 (一般部) c-3-(4)		
5456.0	1032.5	2110.9	1139.4	604.6	4887.4	7627.9

荒井川橋 鋼部材補修工 (3)

上り線 A 1

G3桁 損傷番号 No. 1-3

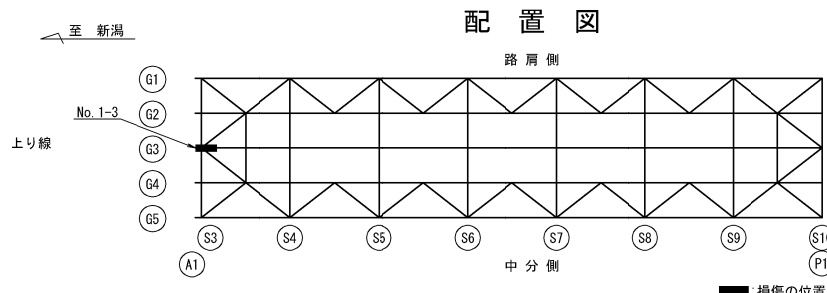


- ① 2 - PL 278 x 12 x 385
2 - FILL PL 280 x 9 x 385 (SS400)
12 - T.C.B M22 x 90 (S10T)
- ② 2 - PL 152 x 12 x 385
4 - T.C.B M22 x 70 (S10T)
2 - BOLT M22 x 50 (SS400) (全ネジ、タップ深さ45; 詳細図参照)
2 - BOLT M24 x 85 (SS400) (ネジ切りS=54mm)
- ③ 4 - PL 110 x 12 x 278
4 - FILL PL 110 x 9 x 280 (SS400)
6 - T.C.B M22 x 90 (S10T)
- ④ 2 - PL 278 x 12 x 265
2 - FILL PL 280 x 9 x 265 (SS400)
9 - T.C.B M22 x 90 (S10T)
- ⑤ 2 - PL 152 x 12 x 265
2 - T.C.B M22 x 70 (S10T)
2 - BOLT M22 x 50 (SS400) (全ネジ、タップ深さ45; 詳細図参照)
2 - BOLT M24 x 85 (SS400) (ネジ切りS=54mm)
- ⑥ 1 - FILL PL 105 x 12 x 110 (SS400)

T.C.B (M22用) ボルトキャップ 33組

- 注記
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 - 印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
◎印は、普通ボルト M22 (SS400) を示す。
※印は、普通ボルト M24 (SS400) を示す。
 - 高力ボルトの削孔径は既設 24.5φ、当て板材は拡大孔の26.5φとする。
 - 外気に面する高力ボルトの頭及びナット部分はそれぞれボルトキャップを取り付けること。
 - 実際の製作・施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。

凡 例
当て板



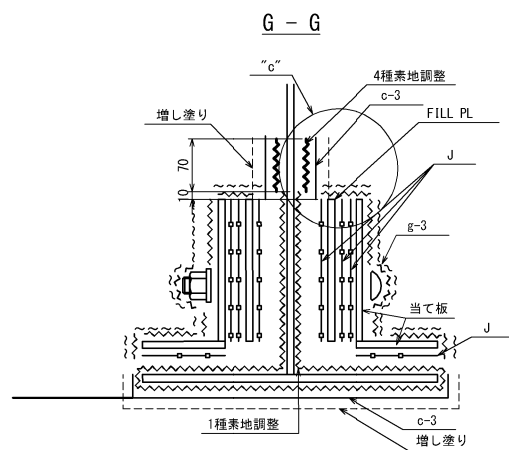
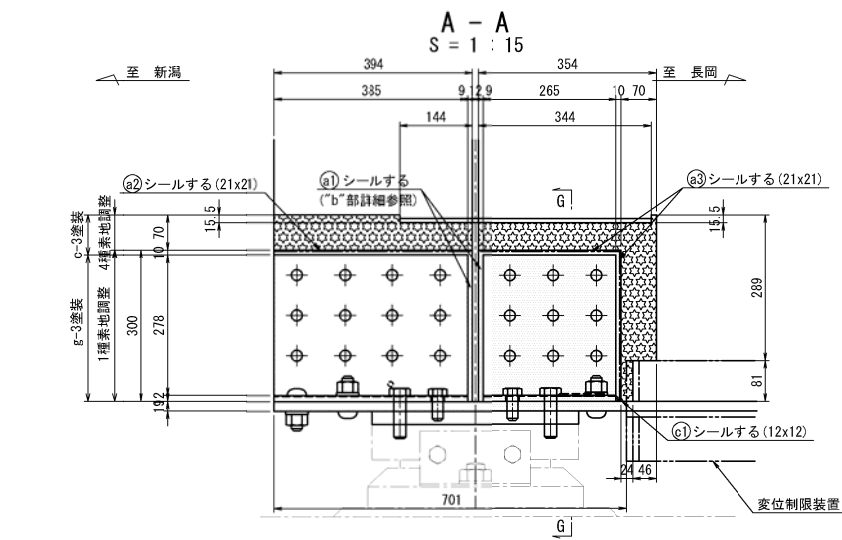
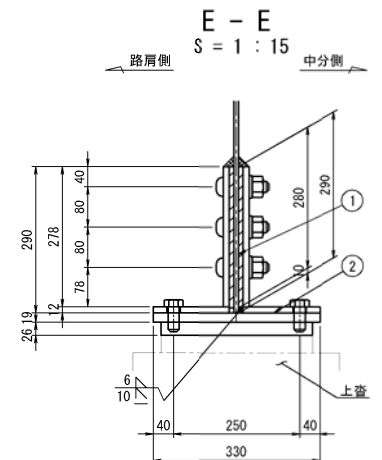
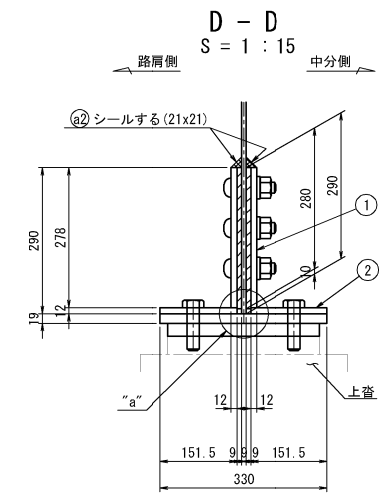
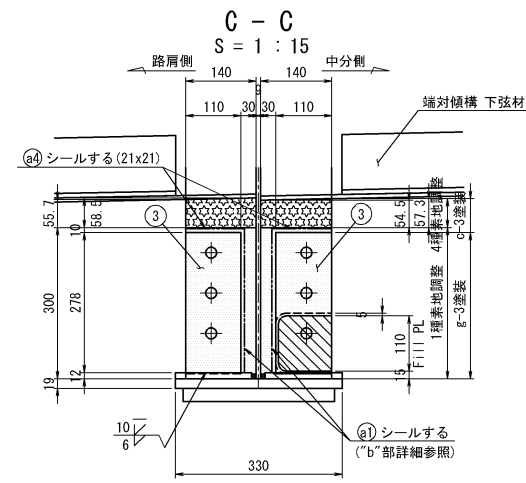
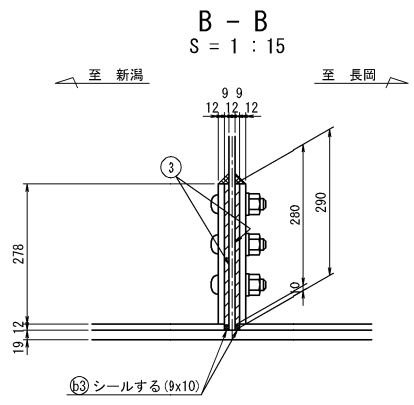
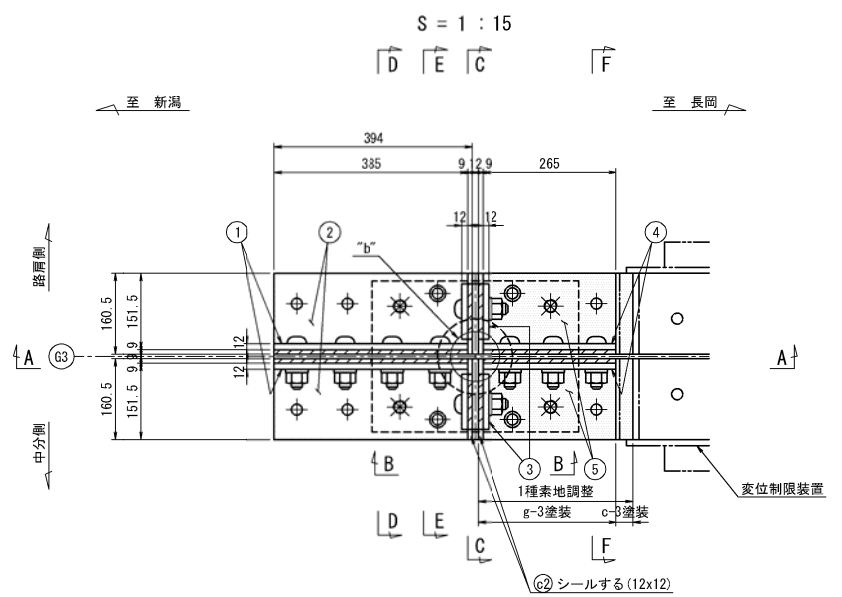
鋼材撤去 (kg)	ボルト撤去 (本)	鋼部材重量 (kg) (ボルト含む)	ボルトキャップ (組)	ガス切断長 (m) 10 < t ≤ 15	当て板 (cm2)	
					工場塗装 J (当て板 接触面)	現場塗装 塗替塗装 (特殊部) g-3-(1)
1.0	4	122.0	33	0.3	16557.2	9763.2
当て板 曲面加工 (m)	グラインダー 仕上げ (m)	シリコン樹脂 シール (L)	エポキシ樹脂接 着剤 (L)			
8.2	1.2	1.1	1.6			

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	荒井川橋 鋼部材補修工 (3) 上り線 A 1		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

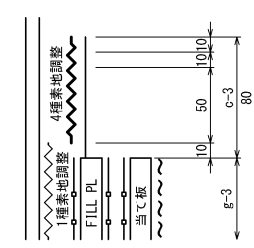
荒井川橋 鋼部材補修工（４）

上り線 A 1

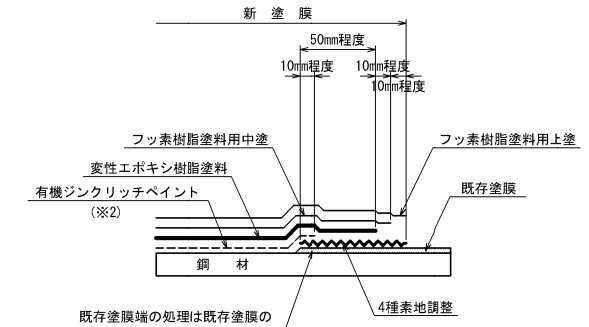
G3桁 損傷番号 No. 1-3



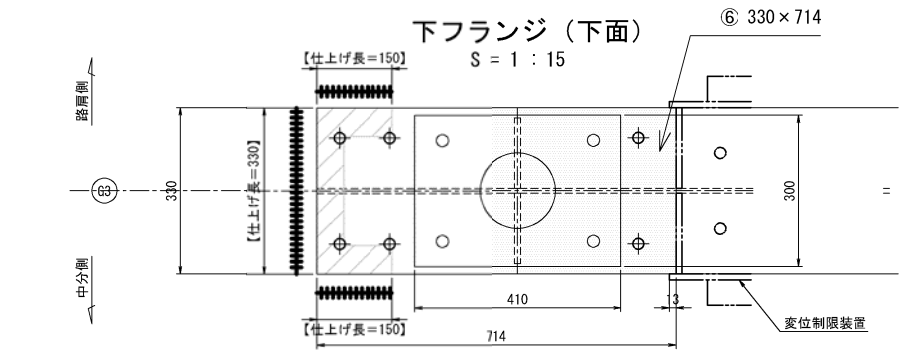
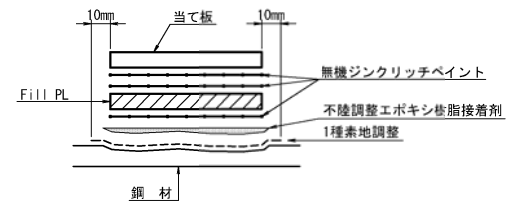
“c”部詳細 S = 1 : 5



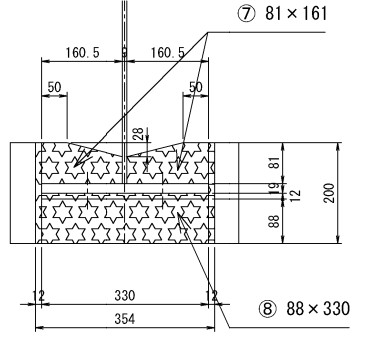
既存塗膜との境界部の処理



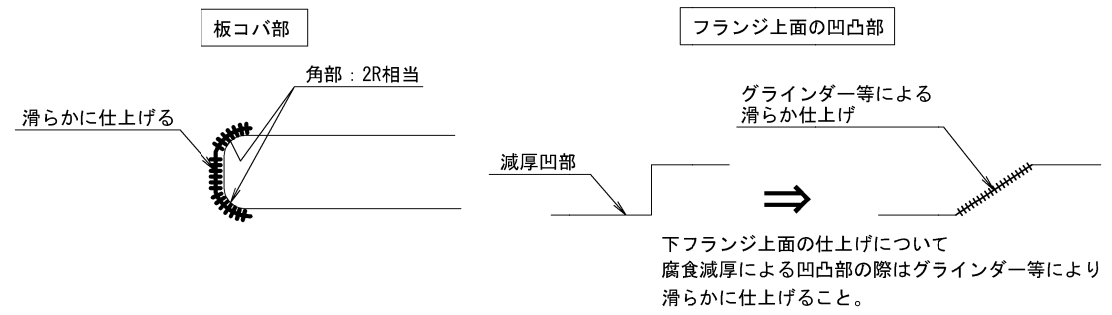
補修断面図



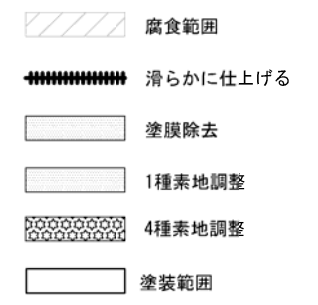
変位制限装置詳細 S = 1 : 15



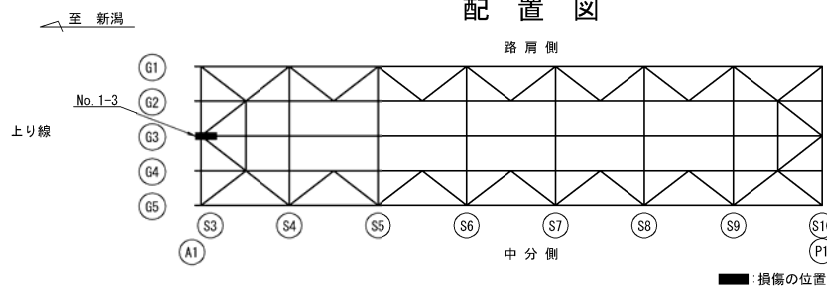
仕上げ要領



凡 例



配置図



- 注記
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 - φ印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
◎印は、普通ボルト M22 (SS400) を示す。
※印は、普通ボルト M24 (SS400) を示す。
 - 高力ボルトの削孔径は既設 24.5φ、当て板材は拡大孔の26.5φとする。
 - 外気に面する高力ボルトの頭及びナット部分はそれぞれボルトキャップを取り付けること。
 - 実際の製作・施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。

既設部材(cm2)						
ウェブ+下フランジ上面+垂直補剛材			下フランジ下面+変位制限装置		増し塗り塗装 c-3	塗膜除去
1種素地調整	塗替塗装 (一般部) c-3-(1)	塗替塗装 (一般部) c-3-(4)	塗替塗装 (一般部) c-3-(1)	塗替塗装 (一般部) c-3-(4)		
6848.0	1160.5	1905.4	1126.2	604.6	4796.7	9134.7

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	荒井川橋 鋼部材補修工（４） 上り線 A 1		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

荒井川橋 伸縮装置補修工
上り線 A1

S = 1:50

10 / 66

伸縮装置補修工 A

箇所	数量(箇所)
A1 上り線	1.0

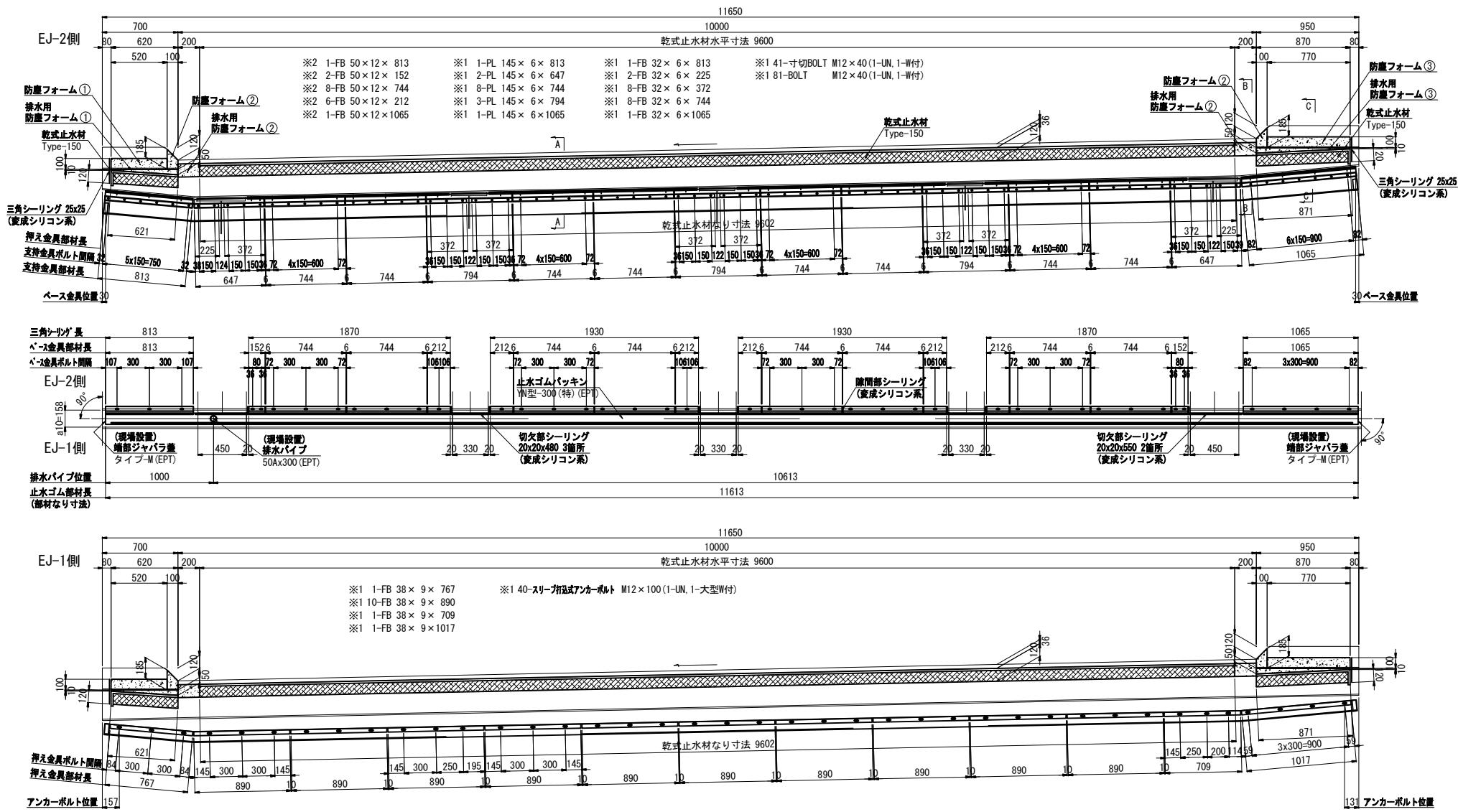
標準ウエブ間隔	+10℃時	158mm
最大ウエブ間隔	-20℃時	176mm
最小ウエブ間隔	+40℃時	140mm

- 1-乾式止水材 Type-150×9602
1-乾式止水材 Type-150× 621
1-乾式止水材 Type-150× 871

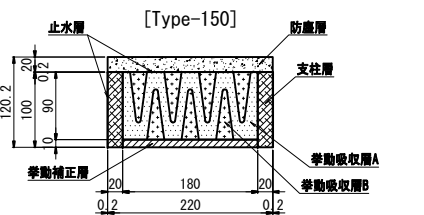
[排水用] ① 1-防塵フォーム 186×50×620
[排水用] ② 2-防塵フォーム 186×120×200
[排水用] ③ 1-防塵フォーム 186× 50×870
④ 1-防塵フォーム 86×100×520
⑤ 2-防塵フォーム 86×185×100
⑥ 1-防塵フォーム 86×100×770
- 1-漏水防止材 50×10× 813
2-漏水防止材 50×10× 152
8-漏水防止材 50×10× 744
6-漏水防止材 50×10× 212
1-漏水防止材 50×10×1065

※2 1-FB 50×12× 813
※2 2-FB 50×12× 152
※2 8-FB 50×12× 744
※2 6-FB 50×12× 212
※2 1-FB 50×12×1065
- 1-止水ゴムパッキン YN型-300(特)×11613(EPT)
2-端部ジャバラ蓋 タイプ-M(EPT)
1-排水パイプ 50A× 300(EPT) [止水ゴム付]
1-排水パイプカフ 50A用(EPTM)
1-排水パイプ継手管 50A用(SUS304)
2-排水パイプ継手バンド 50A用(SUS304)
3-排水パイプ固定金具 50A用(SUS304)

※1 1-PL 145× 6× 813
※1 2-PL 145× 6× 647
※1 8-PL 145× 6× 744
※1 3-PL 145× 6× 794
※1 1-PL 145× 6×1065
※1 1-FB 32× 6× 813
※1 2-FB 32× 6× 225
※1 8-FB 32× 6× 372
※1 8-FB 32× 6× 744
※1 1-FB 32× 6×1065

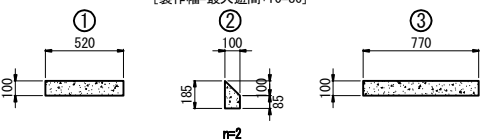


乾式止水材詳細図 S=1:10



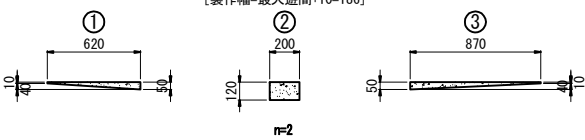
防塵フォーム詳細図

(ポリエチレンフォーム)
[製作幅=最大道間+10=86]

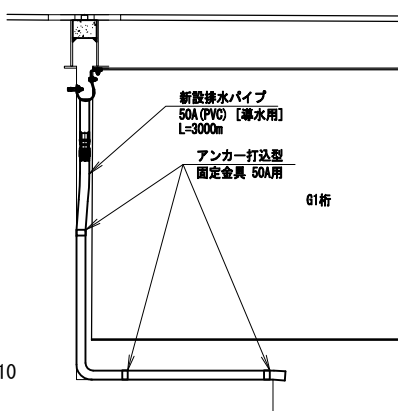


排水用防塵フォーム詳細図

(ポリウレタンフォーム)
[製作幅=最大道間+10=186]



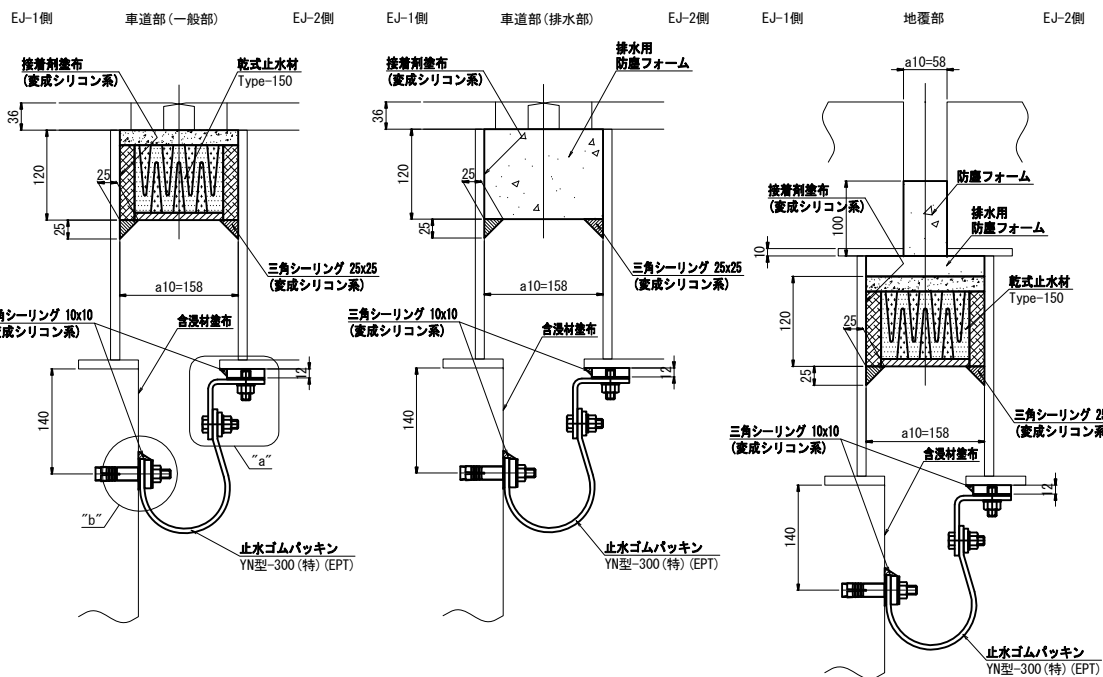
排水パイプ
流末処理詳細図 S=1:50



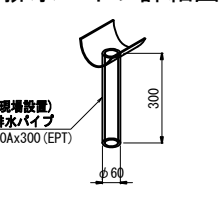
A - A S=1:10

B - B S=1:10

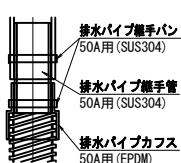
C - C S=1:10



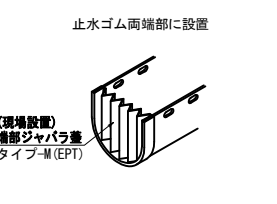
排水パイプ詳細図



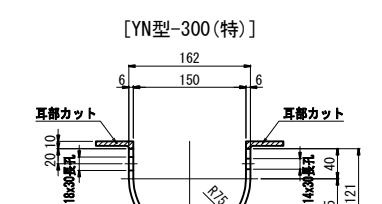
排水パイプ
継手部詳細図 S=1:10



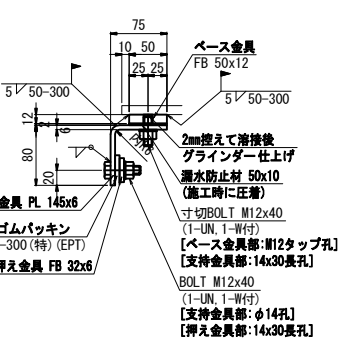
端部ジャバラ蓋詳細図



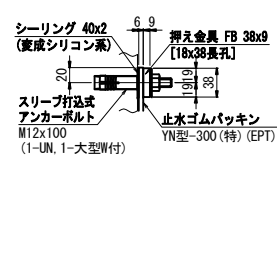
止水ゴムパッキン詳細図 S=1:10



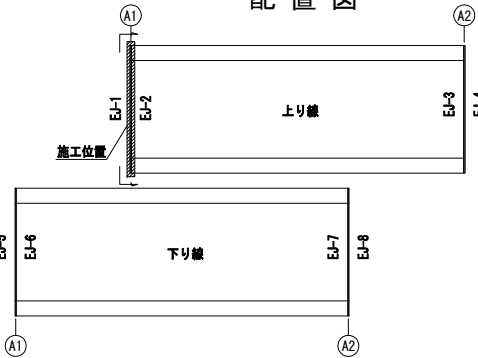
“a”部詳細図 S=1:10



“b”部詳細図 S=1:10



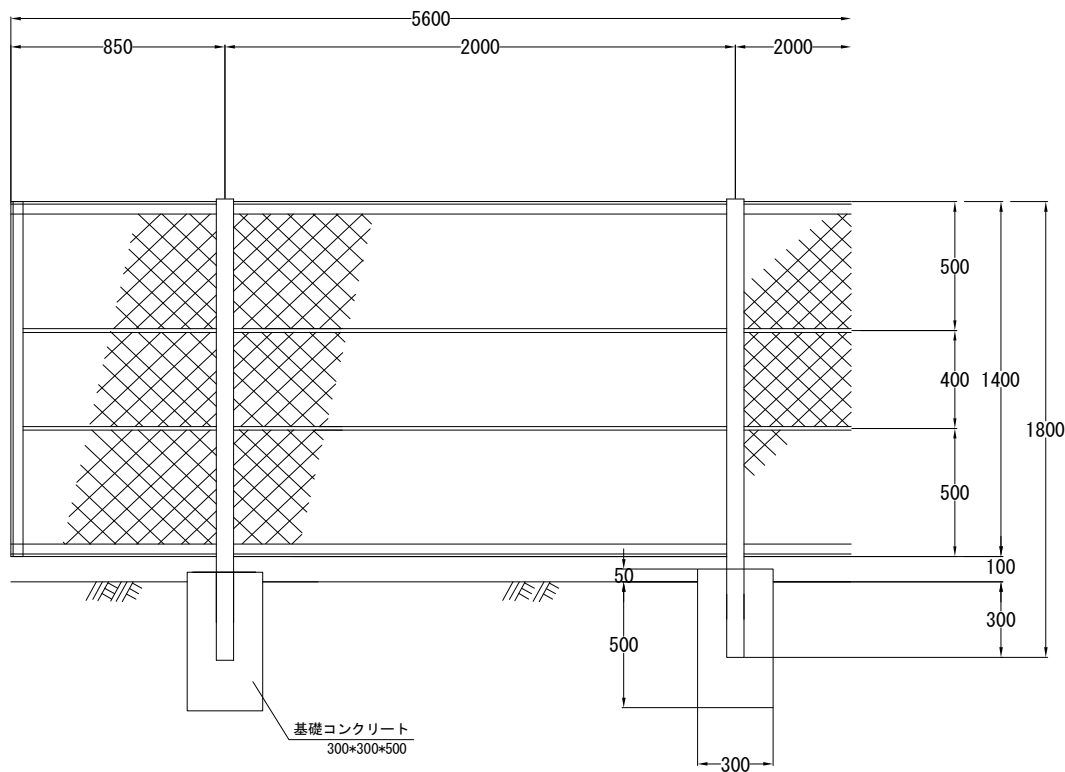
配置図



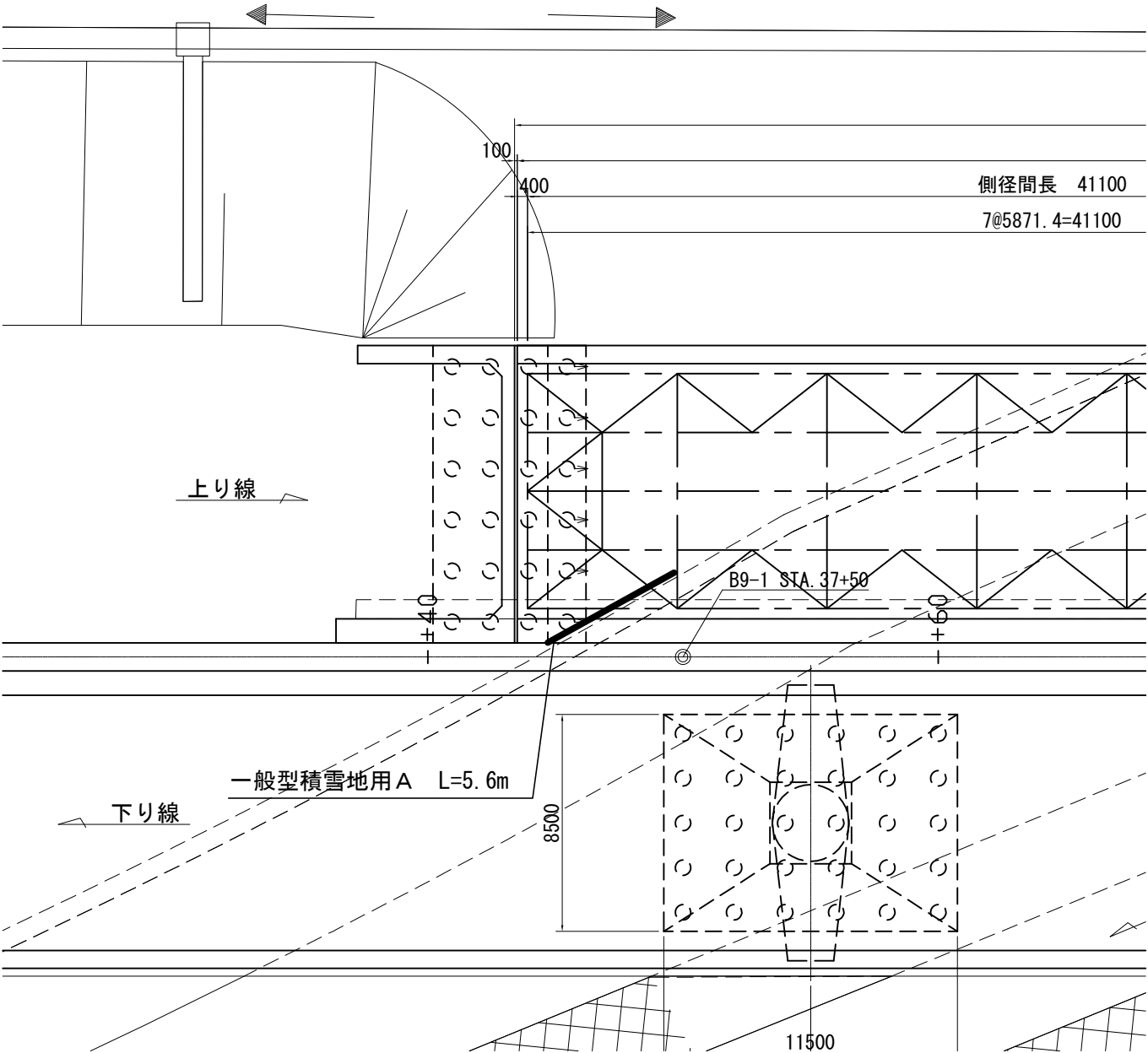
- 注記
- 特記なき鋼材の材質は全てS400とする。
 - ※1印部材は溶融亜鉛メッキ処理を施す。膜厚はJIS H 8641 HDZ77とする。ただしボルト類はHDZ749とする。
 - ※2印部材は現場溶接であるので熱影響部の底設塗装の剥離を行なって溶接し、溶接後はタッチアップ塗装を行なうこと。
 - 金具に溶接されたボルトは工出出荷時にビニールパイプ等で養生すること。
 - 各種止水材を設置する際、伸縮装置本体の止水材接着面の下地処理を確実にすること。
 - 接着剤(※3)に接する両部材面及び各種シーリングに接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー(0.1kg/m²)を塗布すること。
 - 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。

北陸自動車道 R8新湯管内橋梁補修工事			
荒井川橋 伸縮装置補修工 上り線 A1			
図面の種類	図示	図面番号	—
縮尺	図示	図面番号	—
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	新潟支社 新潟管理事務所		
事務所名	新潟支社 新潟管理事務所		

一般型積雪地用A 標準図 S=1:30



平面図 S=1:250



一般型積雪地用A

箇所	数量(m)
A1 上り線	5.6

施工範囲	工種
—	一般型積雪地用A

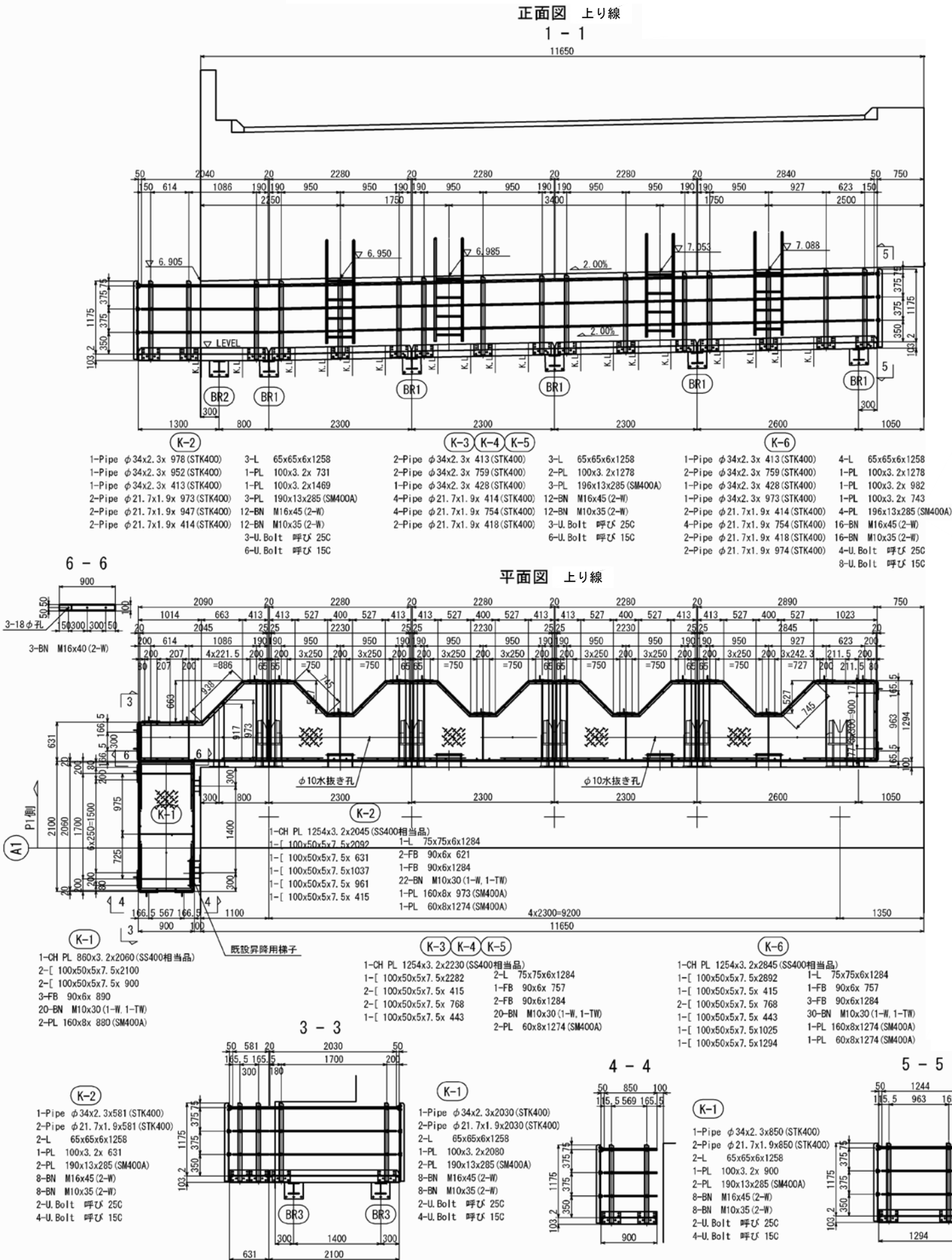
北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	荒井川橋 立入防止柵撤去設置工 上り線 A 1		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

荒井川橋 検査路撤去再設置工（１）
上り線 A 1

検査路撤去再設置工 A

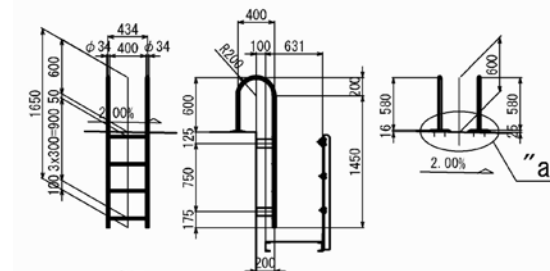
箇所	数量(箇所)
上り線	1.0

名称	数量(kg)	箇所数	合計数量(kg)
K-1(手摺端部)	33.9	1.0	33.9
K-1(手摺)	41.2	1.0	41.2
K-1(歩廊)	133.7	1.0	133.7
K-2(手摺)	56.6	1.0	56.6
K-2(歩廊)	152.1	1.0	152.1
K-2(手摺端部)	32.2	1.0	32.2
K-3(手摺)	59.5	1.0	59.5
K-3(歩廊)	165.0	1.0	165.0
K-4(手摺)	59.5	1.0	59.5
K-4(歩廊)	165.0	1.0	165.0
K-5(手摺)	59.5	1.0	59.5
K-5(歩廊)	165.0	1.0	165.0
K-6(手摺)	60.1	1.0	60.1
K-6(歩廊)	214.4	1.0	214.4
K-6(手摺端部)	36.3	1.0	36.3
BR-1	67.2	5.0	336.0
BR-2	55.7	1.0	55.7
BR-3	51.3	2.0	102.6
計			1928.3



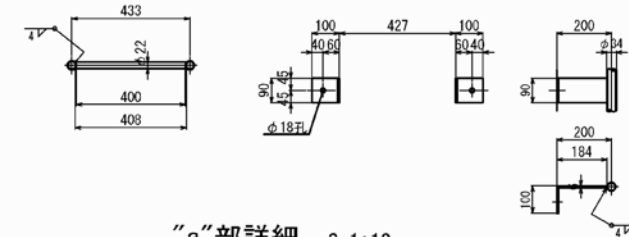
北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	荒井川橋 検査路撤去再設置工（１） 上り線 A 1		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

製作数 : 16

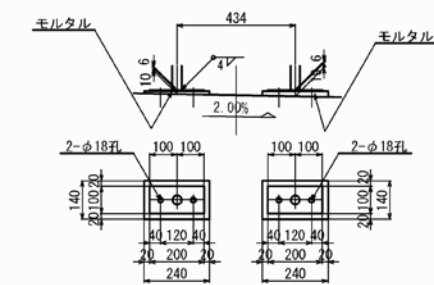


梯子
2-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 2458$ (STK400)
4-RB $\phi 22 \times 408$
梯子支持金具
4-FB 90x6x284
4-打込み式アンカー M16x125

支持金具 S=1:10



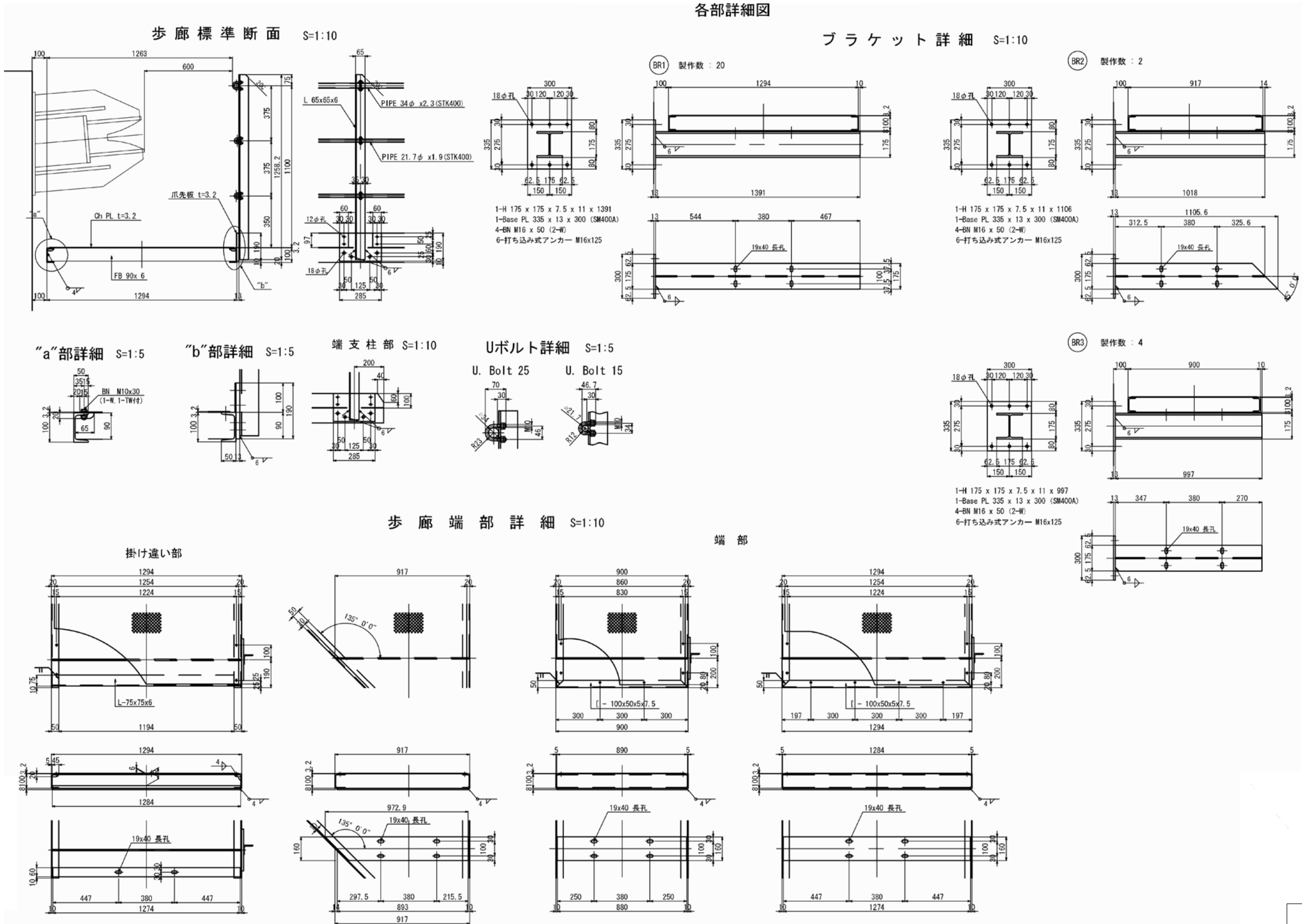
S=1:10



2-PL 100x6x200 (SM400A)
4-打込み式アンカー M16x125

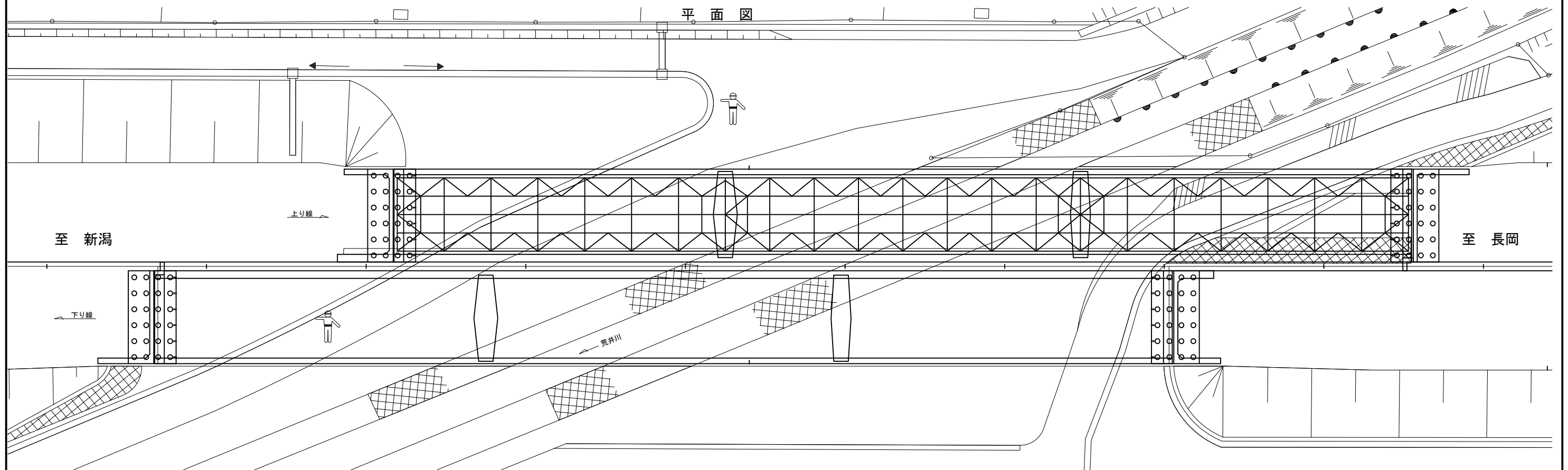
北 陸 自 動 車 道			
R8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	荒井川橋 検査路撤去再設工（２） 上り線 A1		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

各部詳細図



北陸自動車道 R8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	荒井川橋 検査路撤去再設置工（3） 上り線 A1		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

荒井川橋 交通保安要員
上り線 下り線 A 1—P 1



凡例

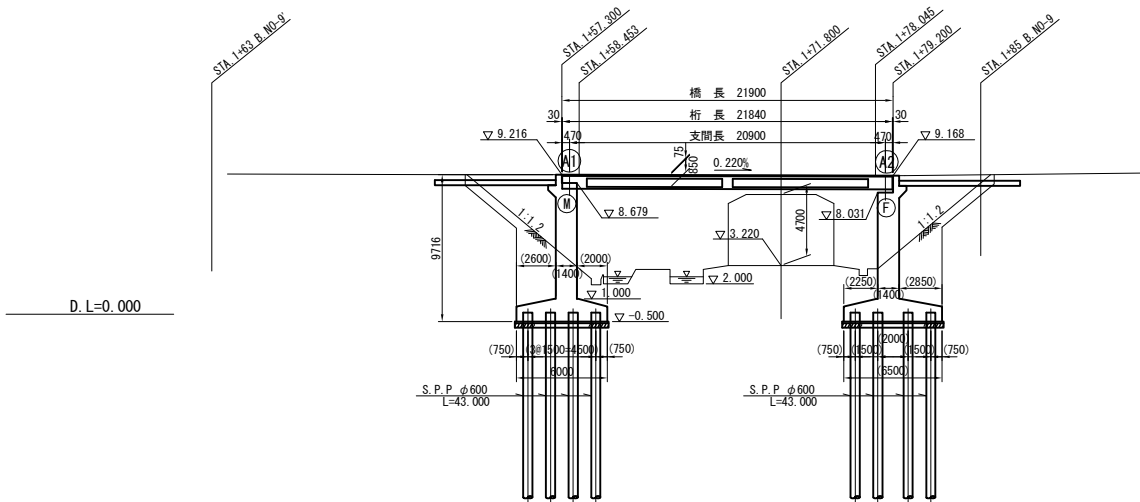
	交通保安要員
--	--------

単価表の項目	数量(人・日)
交通誘導警備員B1	122
交代要員	61

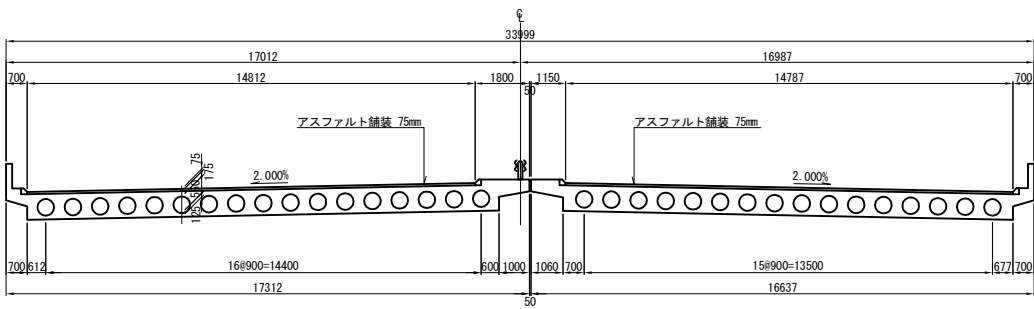
※1 交通保安要員の配置期間は、施工期間中とする。
※2 交通誘導警備員B 1の休憩時の交代要員は1名とする。
※3 交通誘導警備員B 1の数量を検測数量として扱うものとする。

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	荒井川橋 交通保安要員 上り線 下り線 A 1—P 1		
縮 尺	1:500	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

側 面 図 縮尺 1:200

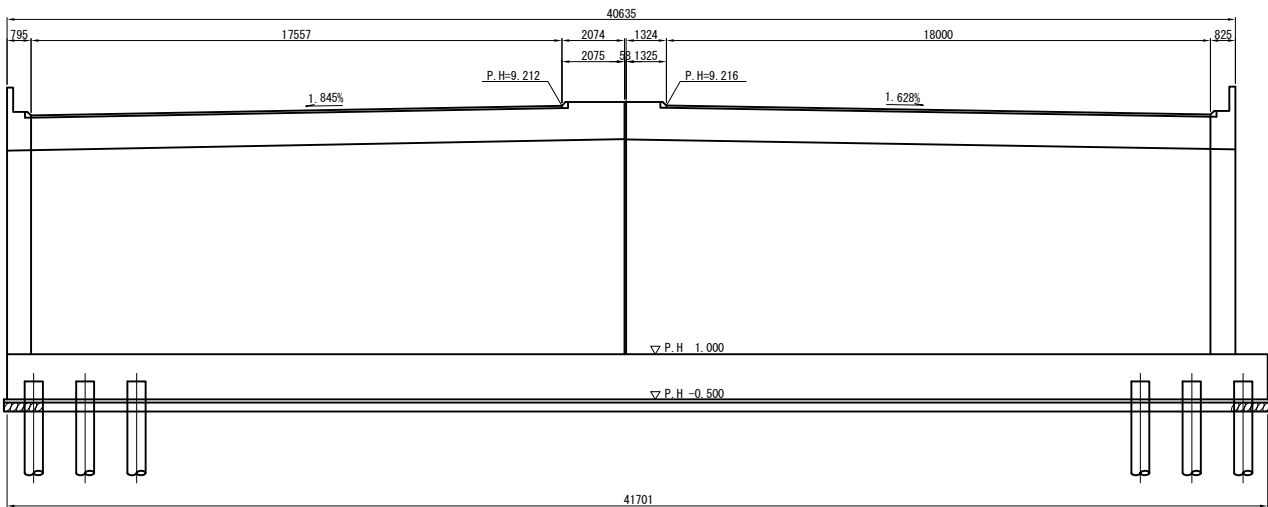


標準断面図 縮尺 1:100



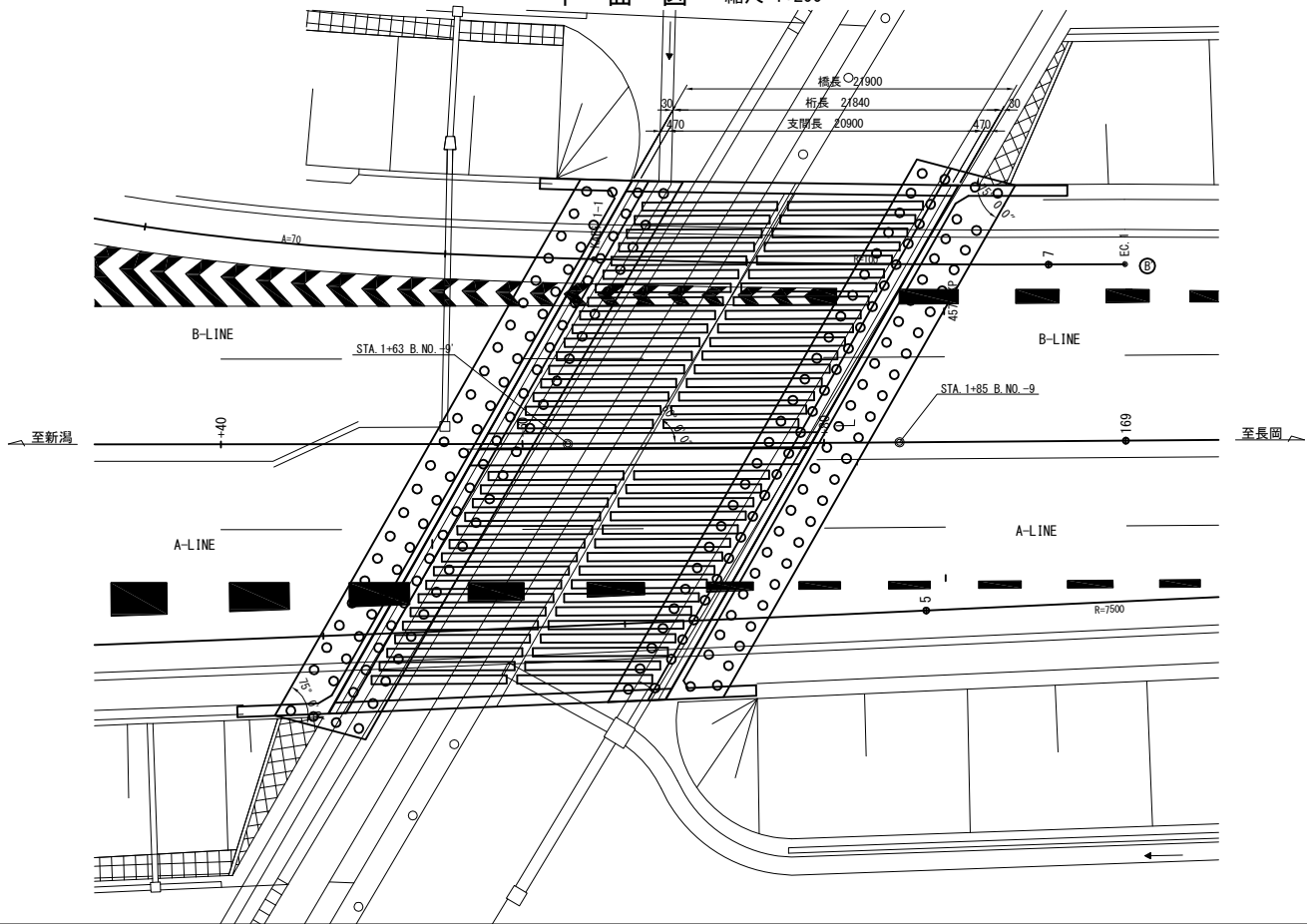
横 断 図 縮尺 1:100

A1橋台

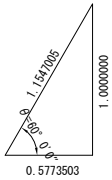


勾配	0.220%				
計画高	9.230	9.214	9.208	9.186	9.164
地盤高			2.60		2.61
追加距離	150.000	157.265	160.000	170.000	179.235
単距離	10.00	7.265	10.00	1.800	7.000
測点	1+50	1+57.265	1+60	1+71.800	1+79.235
平面曲線	R=7500 L=2094.938				

平 面 図 縮尺 1:200



斜 角

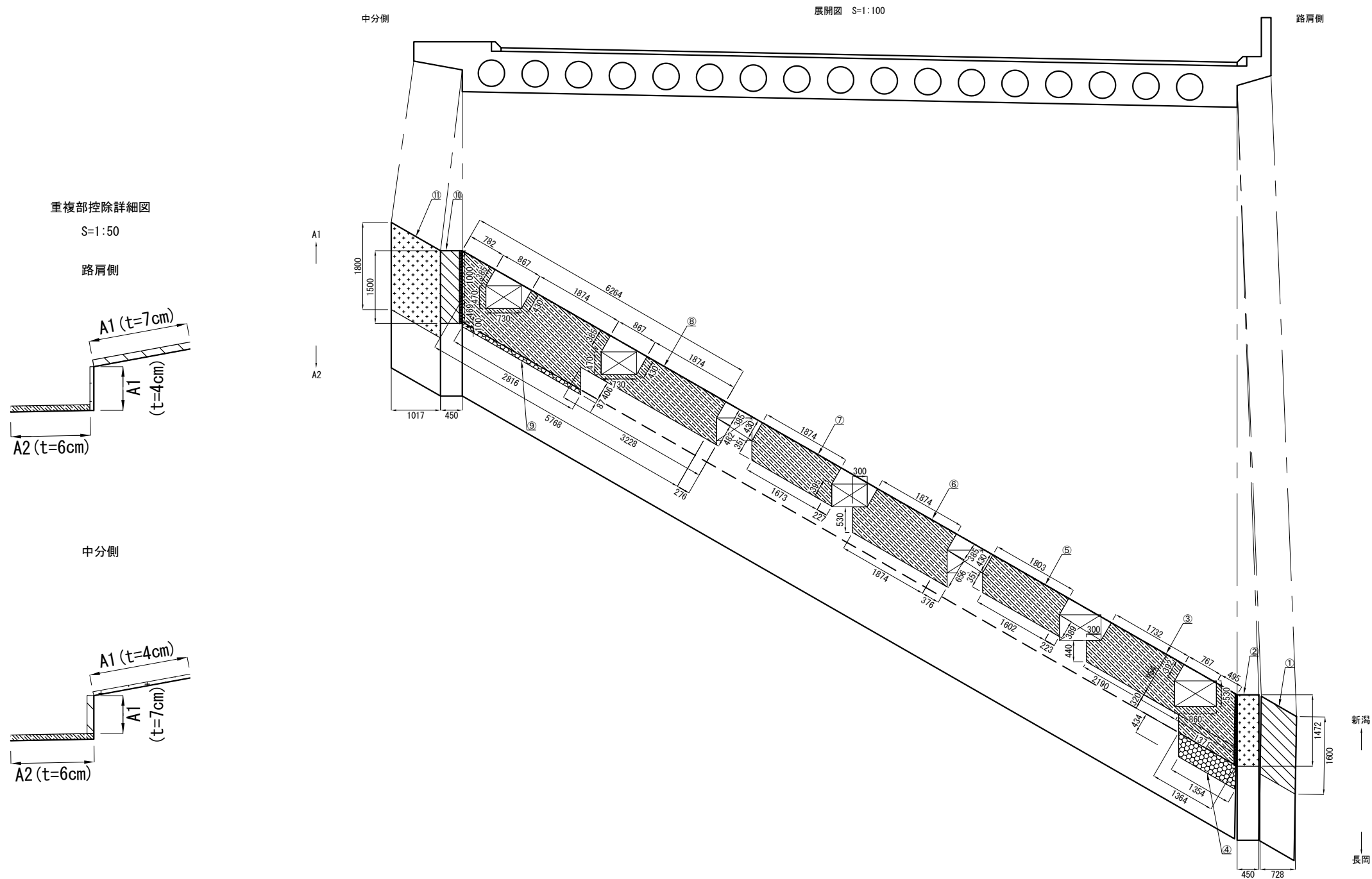


設 計 条 件

橋 長	21m900
桁 長	21m840
支 間 長	20m900
有 効 幅 員	A-LINE(14m787~15m581) B-LINE(14m812~15m177)
活 荷 重	TT-43
衝撃係数	i=10/(25+L) i=20/(50+L)
震度係数	KH=0.2
特殊荷重	—
斜 角	60° 00' 00"
平面曲線	R=7m500
縦断勾配	i=0.22%

北 陸 自 動 車 道 R 8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 一般図		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 コンクリートはつりエ、断面修復工
上り線 A 1



コンクリートはつりエ A1 (t=4cm)

断面修復工 A1a (t=4cm)

番号	箇所	数量(m ²)
②	床版側面	0.7
⑪	張出下面	1.8
	計	2.5

コンクリートはつりエ A1 (t=6cm)

断面修復工 A1a (t=6cm)

番号	箇所	数量(m ²)
④	床版下面	0.6
⑨	床版下面	0.2
	計	0.8

コンクリートはつりエ A1 (t=7cm)

断面修復工 A1a (t=7cm)

番号	箇所	数量(m ²)
①	張出下面	1.2
⑩	床版側面	0.6
	計	1.8

コンクリートはつりエ A2 (t=6cm)

断面修復工 A2a (t=6cm)

番号	箇所	数量(m ²)
③	床版下面	3.0
⑤	床版下面	1.4
⑥	床版下面	2.2
⑦	床版下面	1.5
⑧	床版下面	5.4
	計	13.5

狭小部高さ

路肩側	220 mm
中分側	230 mm

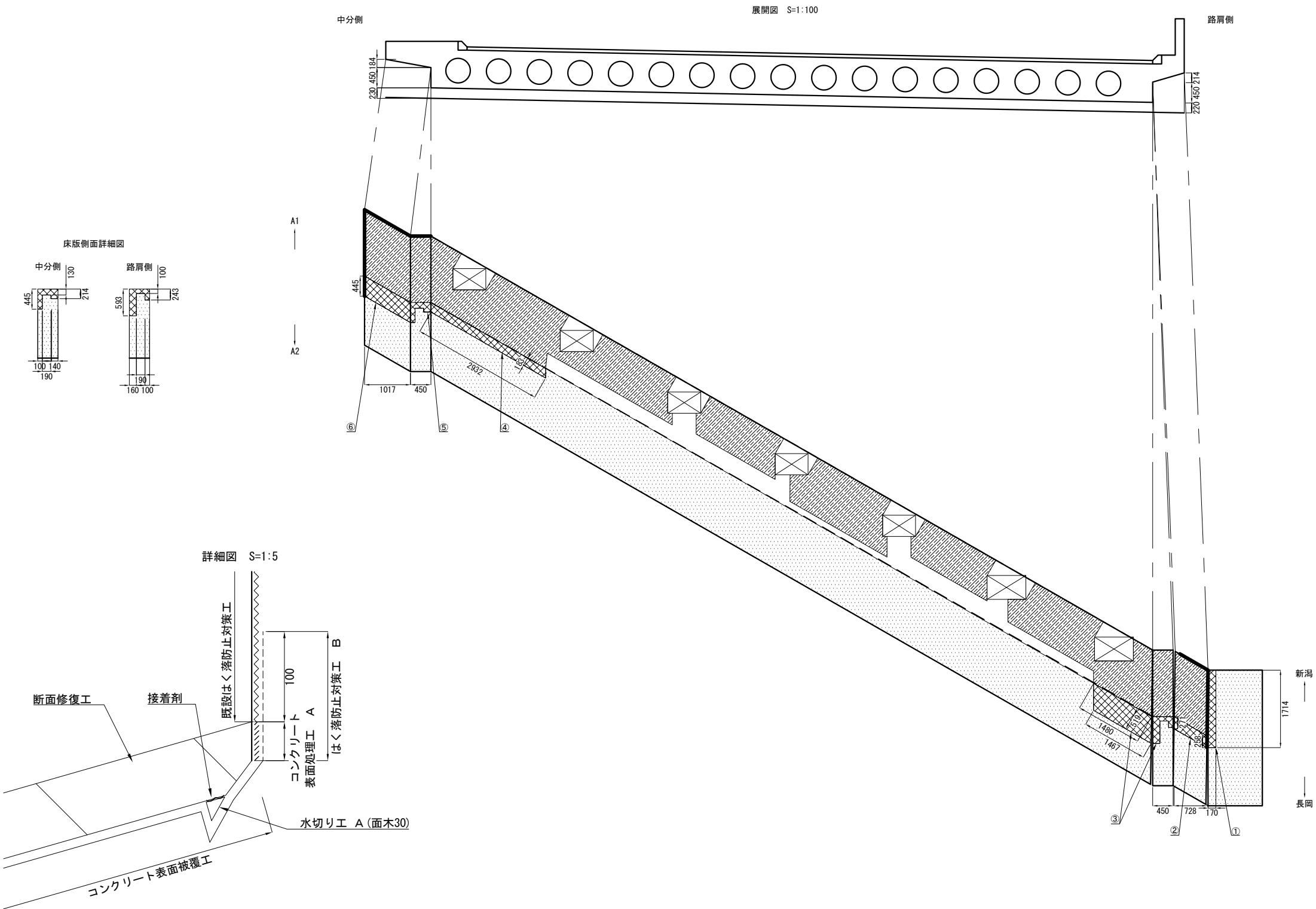
施工範囲	コンクリートはつりエ	断面修復工
	A1 (t=4cm)	A1a (t=4cm)
	A1 (t=6cm)	A1a (t=6cm)
	A1 (t=7cm)	A1a (t=7cm)
	A2 (t=6cm)	A2a (t=6cm)
	重複部	

□ □ □ 狭小部範囲

型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 コンクリートはつりエ、断面修復工 上り線 A 1		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 コンクリート表面処理工、はく落防止対策工
上り線 A 1



コンクリート表面処理工 A		
番号	箇所	数量(m ²)
①	高欄側面	0.1
②	張出下面	0.1
③	床版	0.6
④	床版下面	0.2
⑤	床版側面	0.0
⑥	張出下面	0.3
計		1.3

はく落防止対策工 B		
番号	箇所	数量(m ²)
①	高欄側面	0.3
②	張出下面	0.2
③	床版	0.9
④	床版下面	0.5
⑤	床版側面	0.1
⑥	張出下面	0.5
計		2.5

狭小部高さ		
路肩側	220	mm
中分側	230	mm

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	はく落防止対策工 B
	水切り工 A
	既設はく落防止対策工

□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 コンクリート表面処理工、はく落防止対策工 上り線 A 1		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

中分側

路肩側

A2

コンクリート表面被覆工

路肩側	220 mm
中分側	230 mm

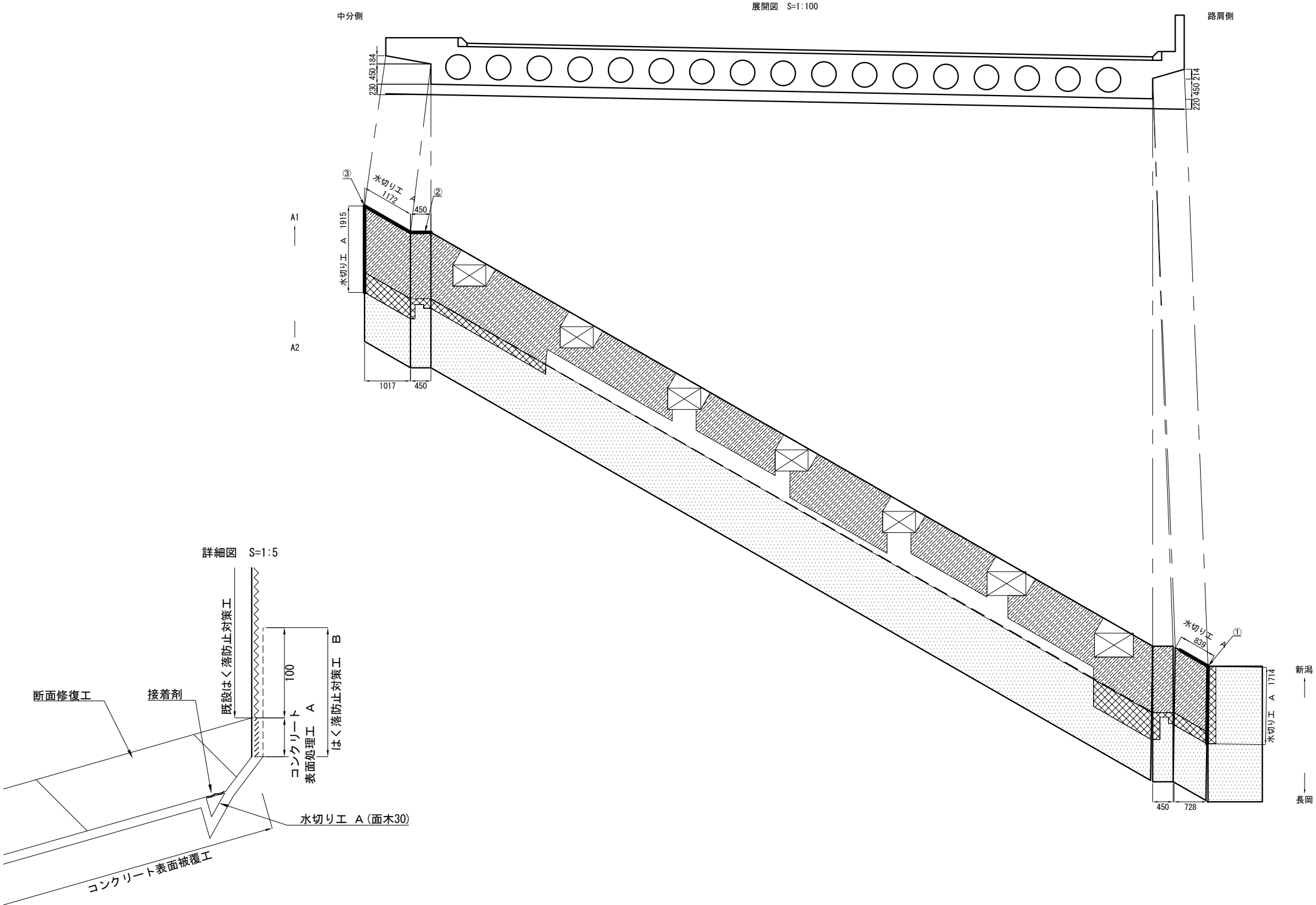
番号	箇所	数量(m ²)
①	張出下面	1.1
②	床版側面	0.7
③	床版下面	3.4
④	床版下面	1.6
⑤	床版下面	2.5
⑥	床版下面	1.7
⑦	床版下面	5.8
⑧	床版側面	0.7
⑨	張出下面	1.5
	計	19.0

1

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	はく落防止対策工 B
	水切り工 A
	既設はく落防止対策工

北 陸 自 動 車 道			
R 8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 表面保護工 上り線 A 1		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 水切り工
上り線 A 1



水切り工 A		
番号	箇所	数量(m)
①	張出下面	2.6
②	床版側面	0.5
③	張出下面	3.1
	計	6.2

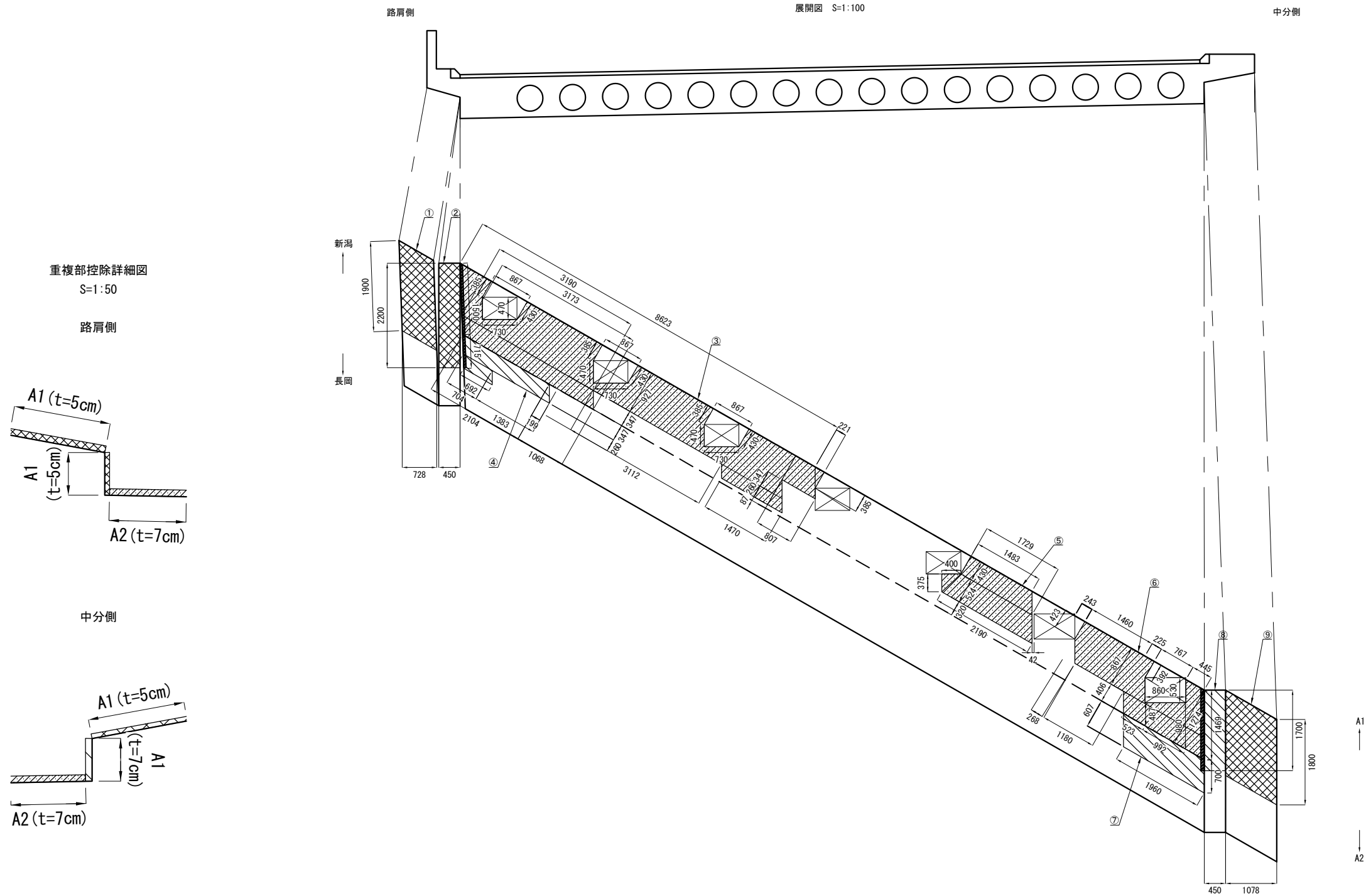
狭小部高さ	
路肩側	220 mm
中分側	230 mm

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	はく落防止対策工 B
	水切り工 A
	既設はく落防止対策工

□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 水切り工 上り線 A 1		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 コンクリートはつりエ、断面修復工
下り線 A 1



コンクリートはつりエ A1 (t=5cm)

断面修復工 A1a (t=5cm)

番号	箇所	数量(m ²)
①	張出下面	1.4
②	床版側面	1.0
⑨	張出下面	1.9
	計	4.3

コンクリートはつりエ A1 (t=7cm)

断面修復工 A1a (t=7cm)

番号	箇所	数量(m ²)
④	床版下面	0.9
⑦	床版下面	1.2
⑧	床版側面	0.8
	計	2.9

コンクリートはつりエ A2 (t=7cm)

断面修復工 A2a (t=7cm)

番号	箇所	数量(m ²)
③	床版下面	7.6
⑤	床版下面	1.8
⑥	床版下面	2.8
	計	12.2

狭小部高さ

路肩側	190 mm
中分側	200 mm

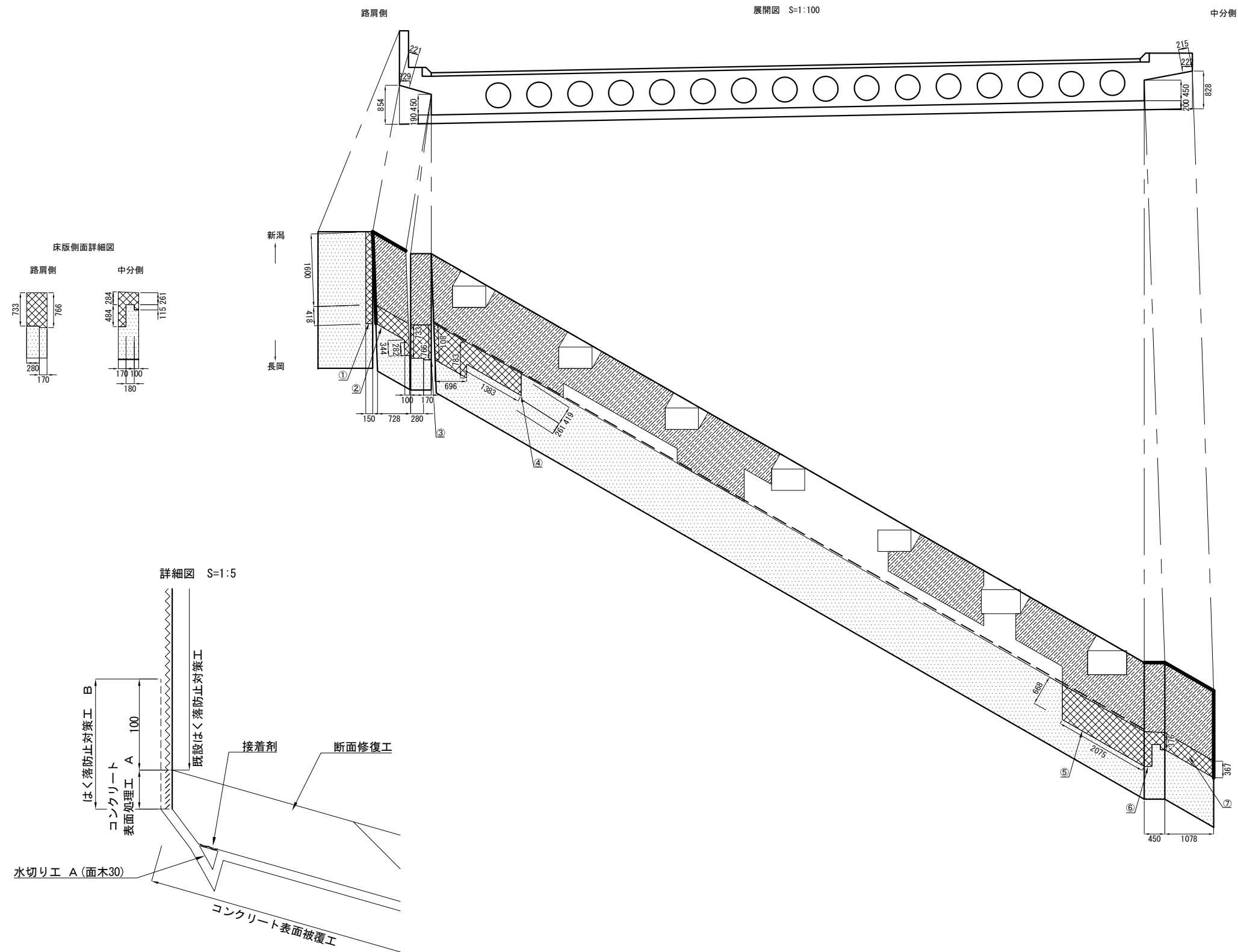
施工範囲	コンクリートはつりエ	断面修復工
	A1 (t=5cm)	A1a (t=5cm)
	A1 (t=7cm)	A1a (t=7cm)
	A2 (t=7cm)	A2a (t=7cm)
	重複部	

□ □ □ 狭小部範囲

型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 コンクリートはつりエ、断面修復工 下り線 A 1		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 コンクリート表面処理工、はく落防止対策工
下り線 A 1



コンクリート表面処理工 A

番号	箇所	数量(m ²)
①	高欄側面	0.1
②	張出	0.2
③	床版下面	0.3
④	床版下面	0.9
⑤	床版下面	1.1
⑥	床版側面	0.1
⑦	張出下面	0.3
	計	3.0

はく落防止対策工 B

番号	箇所	数量(m ²)
①	高欄側面	0.3
②	張出下面	0.3
③	床版側面	0.3
④	床版下面	1.1
⑤	床版下面	1.4
⑥	床版側面	0.2
⑦	張出下面	0.4
	計	4.0

□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純RC中空床版

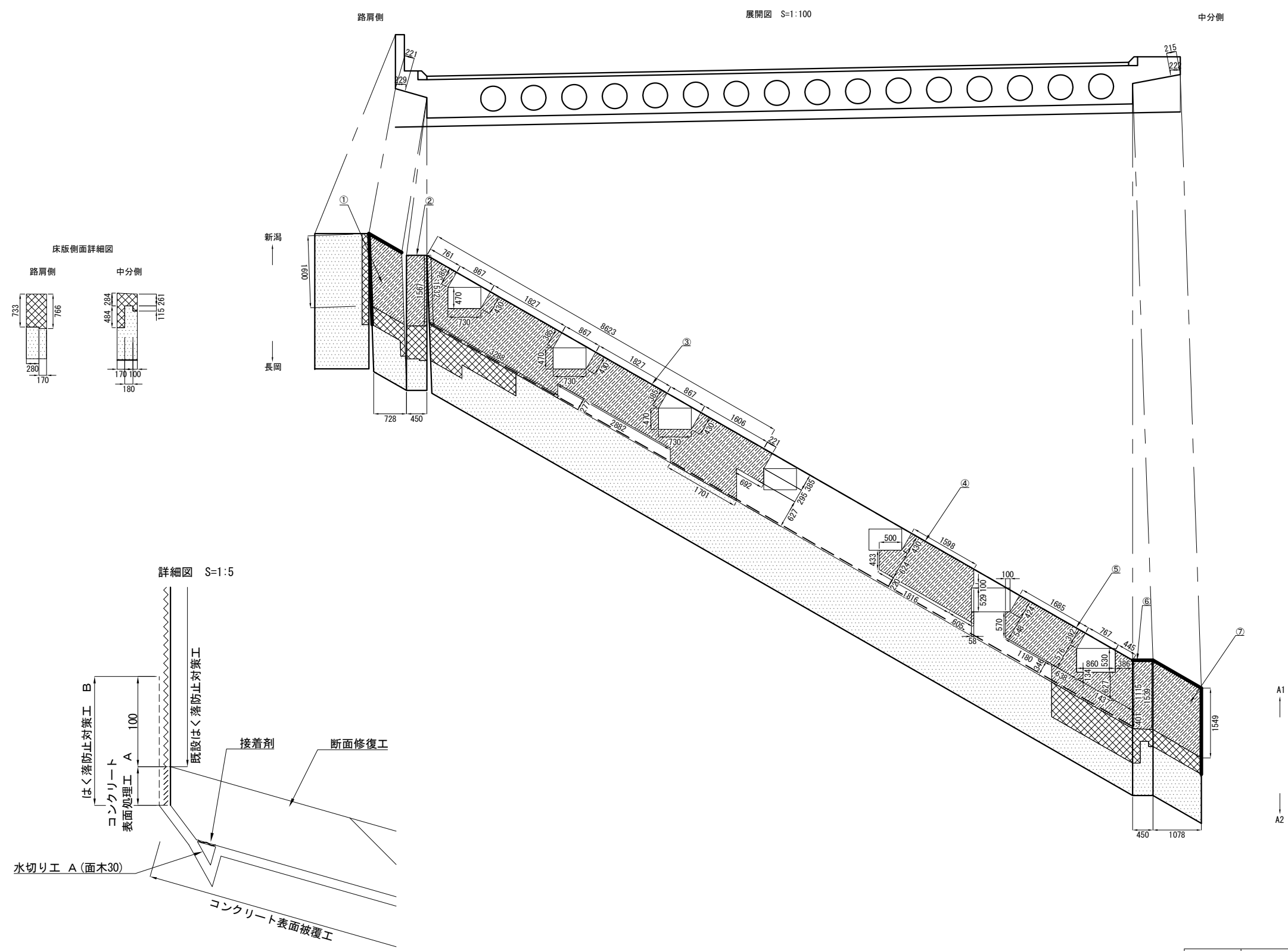
狭小部高さ

路肩側	190 mm
中分側	200 mm

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	はく落防止対策工 B
	水切り工 A
	既設はく落防止対策工

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 コンクリート表面処理工、はく落防止対策工 下り線 A 1		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 表面保護工
下り線 A 1



コンクリート表面被覆工		
番号	箇所	数量(m ²)
①	張出下面	1.2
②	床版側面	0.7
③	床版下面	8.5
④	床版下面	2.1
⑤	床版下面	3.2
⑥	床版側面	0.7
⑦	張出下面	1.7
	計	18.1

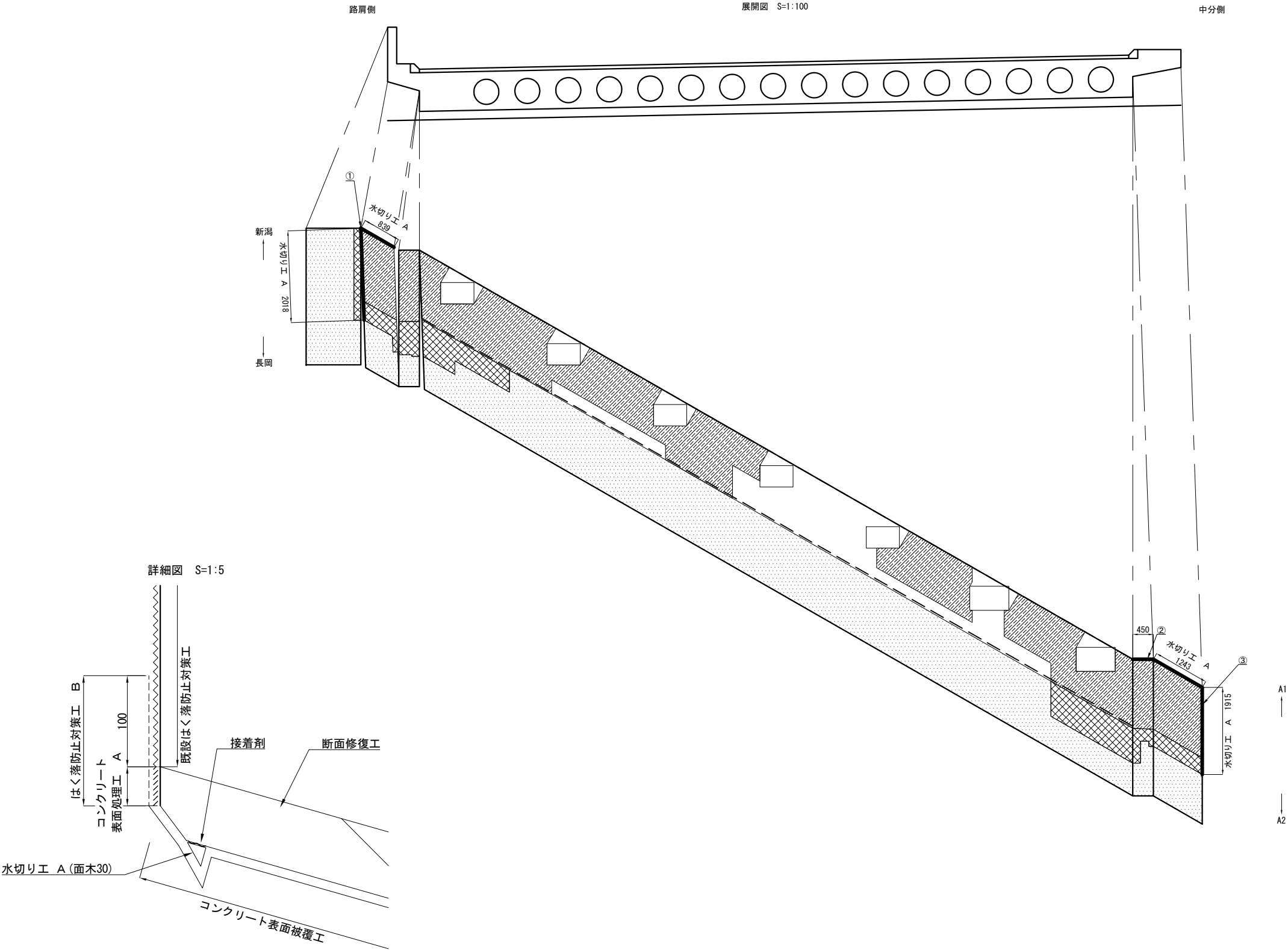
狭小部高さ	
路肩側	190 mm
中分側	200 mm

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	はく落防止対策工 B
	水切り工 A
	既設はく落防止対策工

□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 表面保護工 下り線 A 1		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 水切り工
下り線 A 1



水切り工 A		
番号	箇所	数量(m)
①	張出下面	2.9
②	床版側面	0.5
③	張出下面	3.2
	計	6.6

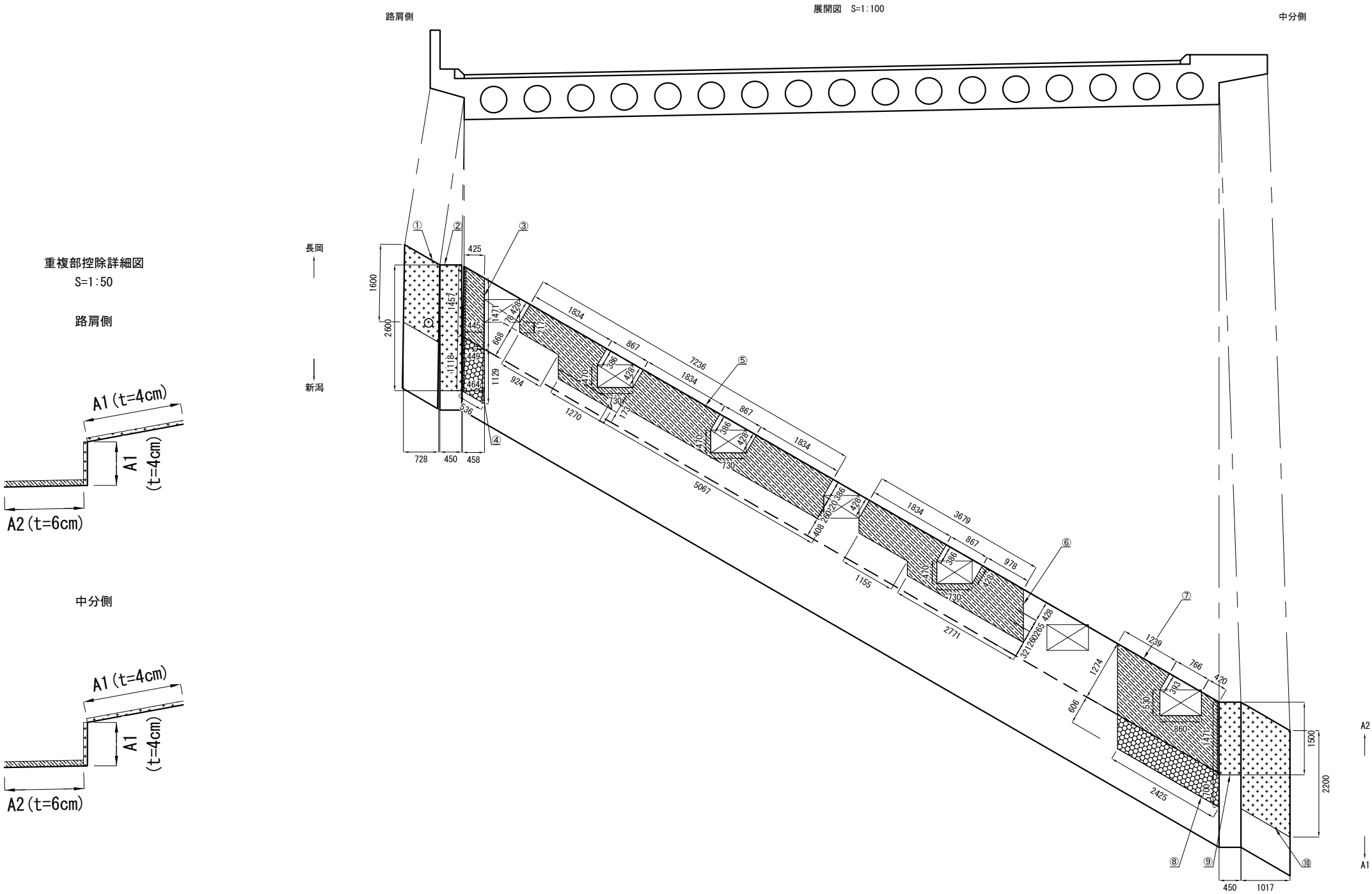
狭小部高さ	
路肩側	190 mm
中分側	200 mm

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	はく落防止対策工 B
	水切り工 A
	既設はく落防止対策工

□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 水切り工 下り線 A 1		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 コンクリートはつリエ、断面修復工
上り線 A 2



コンクリートはつリエ A1 (t=4cm)

断面修復工 A1a(t=4cm)

番号	箇所	数量(m ²)
①	張出下面	1.2
②	床版側面	1.2
⑨	床版側面	0.7
⑩	張出下面	2.2
	計	5.3

コンクリートはつリエ A1 (t=6cm)

断面修復工 A1a(t=6cm)

番号	箇所	数量(m ²)
④	床版下面	0.5
⑧	床版下面	1.5
	計	2.0

コンクリートはつリエ A2 (t=6cm)

断面修復工 A2a(t=6cm)

番号	箇所	数量(m ²)
③	床版下面	0.6
⑤	床版下面	5.2
⑥	床版下面	2.9
⑦	床版下面	2.4
	計	11.1

狭小部高さ

路肩側	210 mm
中分側	185 mm

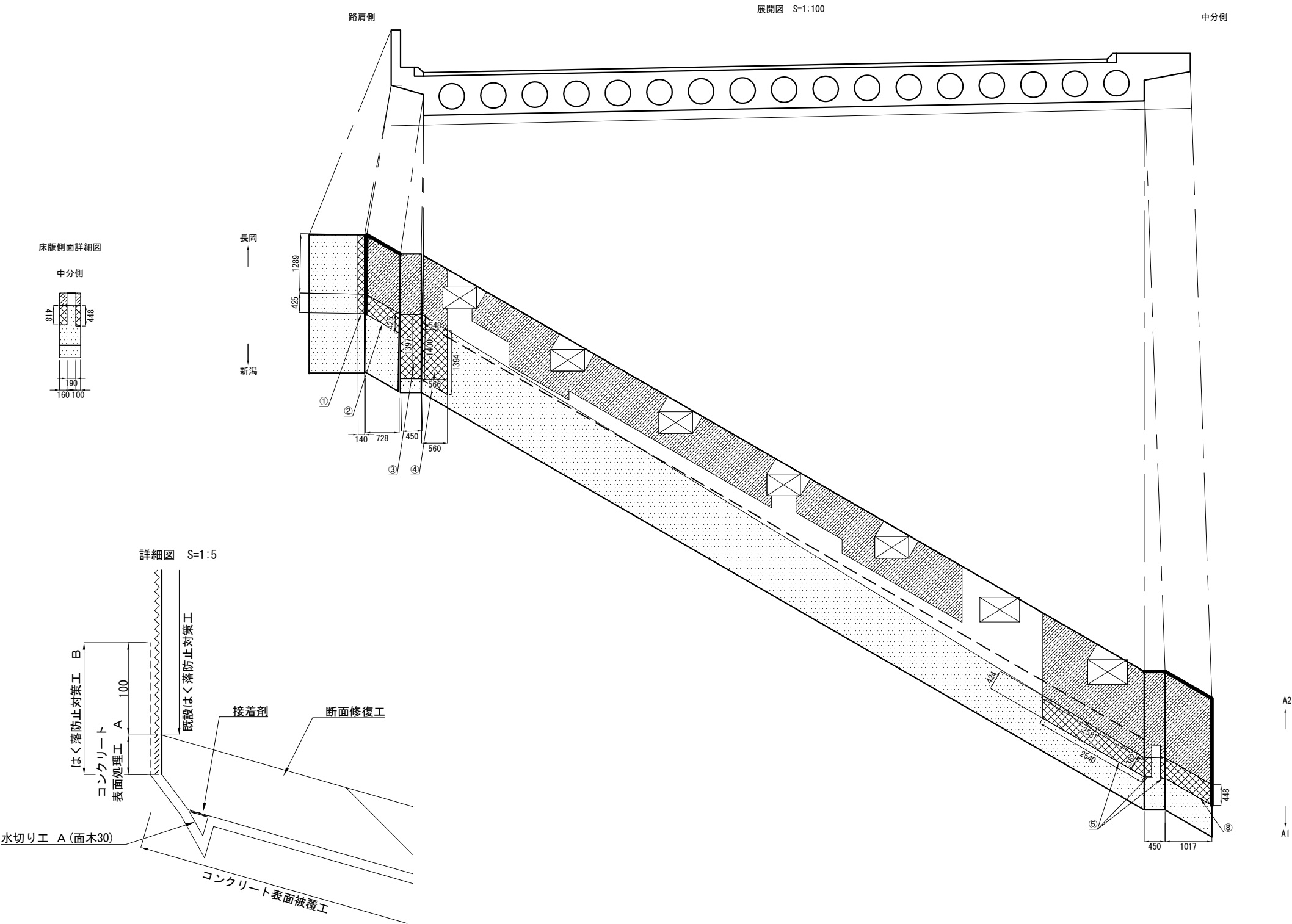
施工範囲	コンクリートはつリエ	断面修復工
	A1 (t=4cm)	A1a(t=4cm)
	A1 (t=6cm)	A1a(t=6cm)
	A2 (t=6cm)	A2a(t=6cm)
	重複部	

□ □ □ 狭小部範囲

型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 コンクリートはつリエ、断面修復工 上り線 A 2		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 コンクリート表面処理工、はく落防止対策工
上り線 A 2



コンクリート表面処理工 A		
番号	箇所	数量(m ²)
①	高欄側面	0.1
②	張出下面	0.2
③	床版側面	0.2
④	床版下面	0.6
⑤	床版下面	0.7
⑥	張出下面	0.3
計		2.1

はく落防止対策工 B		
番号	箇所	数量(m ²)
①	高欄側面	0.2
②	張出下面	0.3
③	床版側面	0.6
④	床版下面	0.8
⑤	床版下面	1.1
⑥	張出下面	0.5
計		3.5

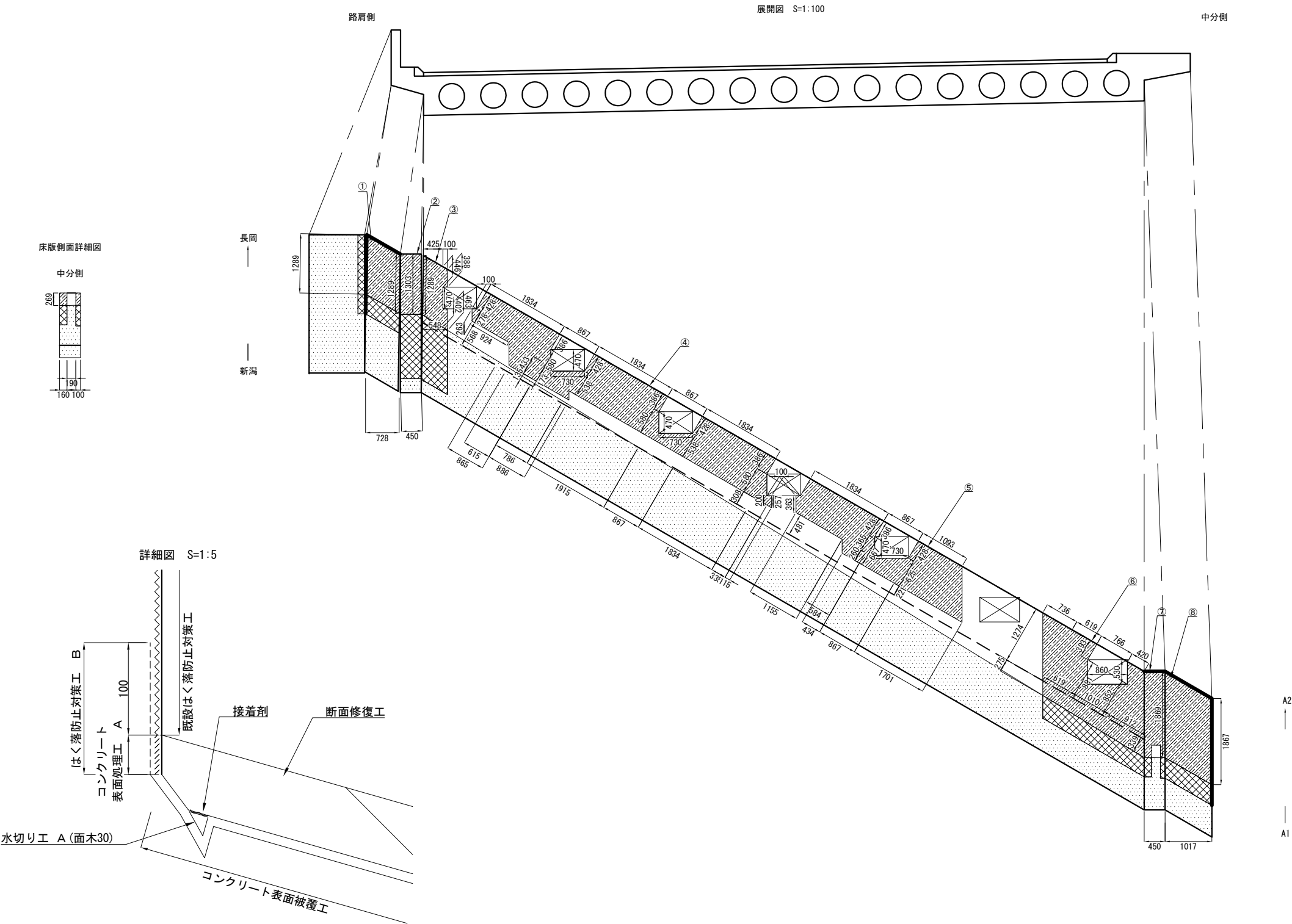
狭小部高さ	
路肩側	210 mm
中分側	185 mm

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	はく落防止対策工 B
	水切り工 A
	既設はく落防止対策工

□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 コンクリート表面処理工、はく落防止対策工 上り線 A 2		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 表面保護工
上り線 A 2



コンクリート表面被覆工		
番号	箇所	数量(m ²)
①	張出下面	0.9
②	床版側面	0.6
③	床版下面	0.6
④	床版下面	6.1
⑤	床版下面	3.4
⑥	床版下面	3.4
⑦	床版側面	0.8
⑧	張出下面	1.9
	計	17.7

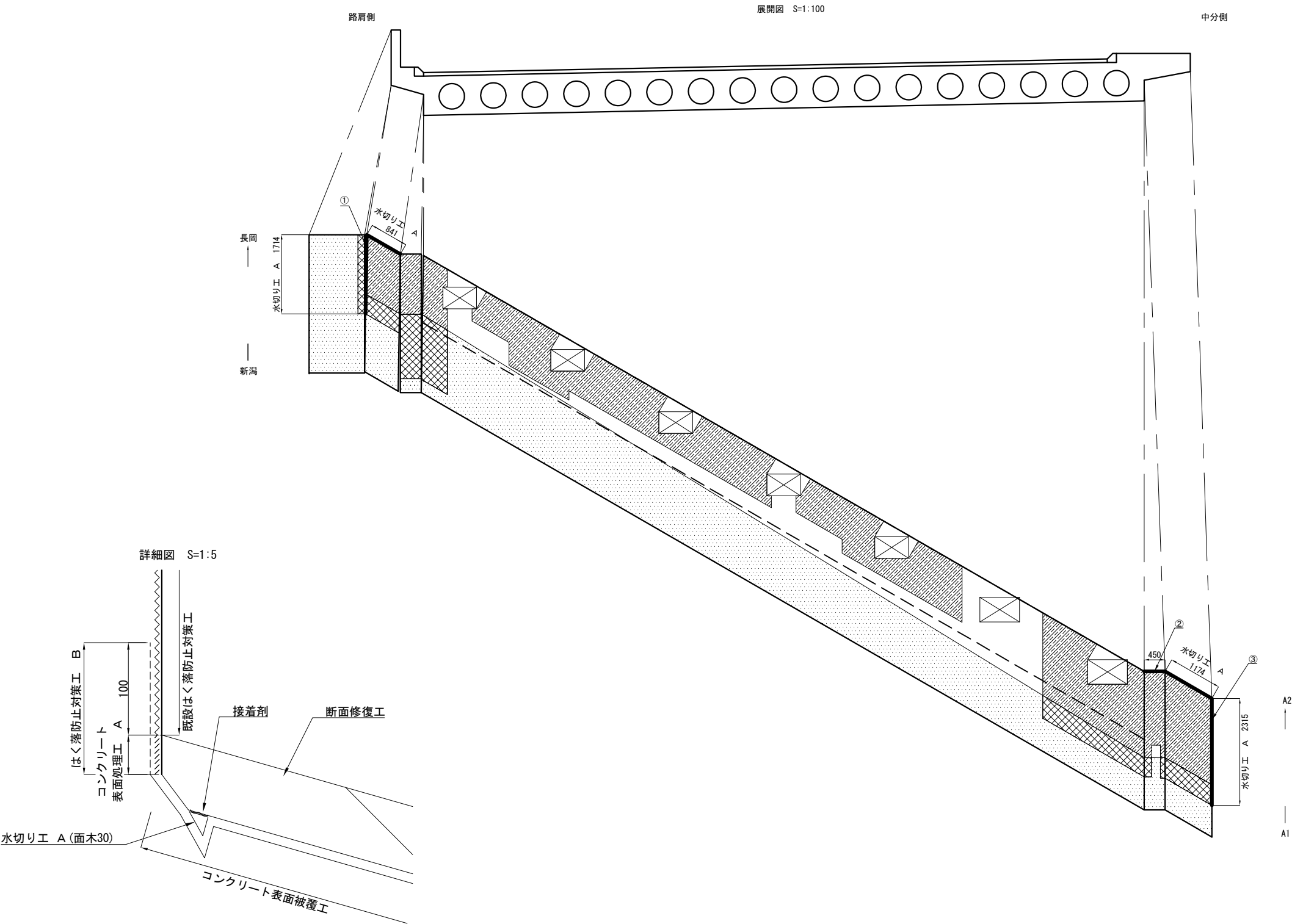
狭小部高さ	
路肩側	210 mm
中分側	185 mm

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	はく落防止対策工 B
	水切り工 A
	既設はく落防止対策工

□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 表面保護工 上り線 A 2		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 水切り工
上り線 A 2



水切り工 A		
番号	箇所	数量(m)
①	張出下面	2.6
②	床版側面	0.5
③	張出下面	3.5
	計	6.6

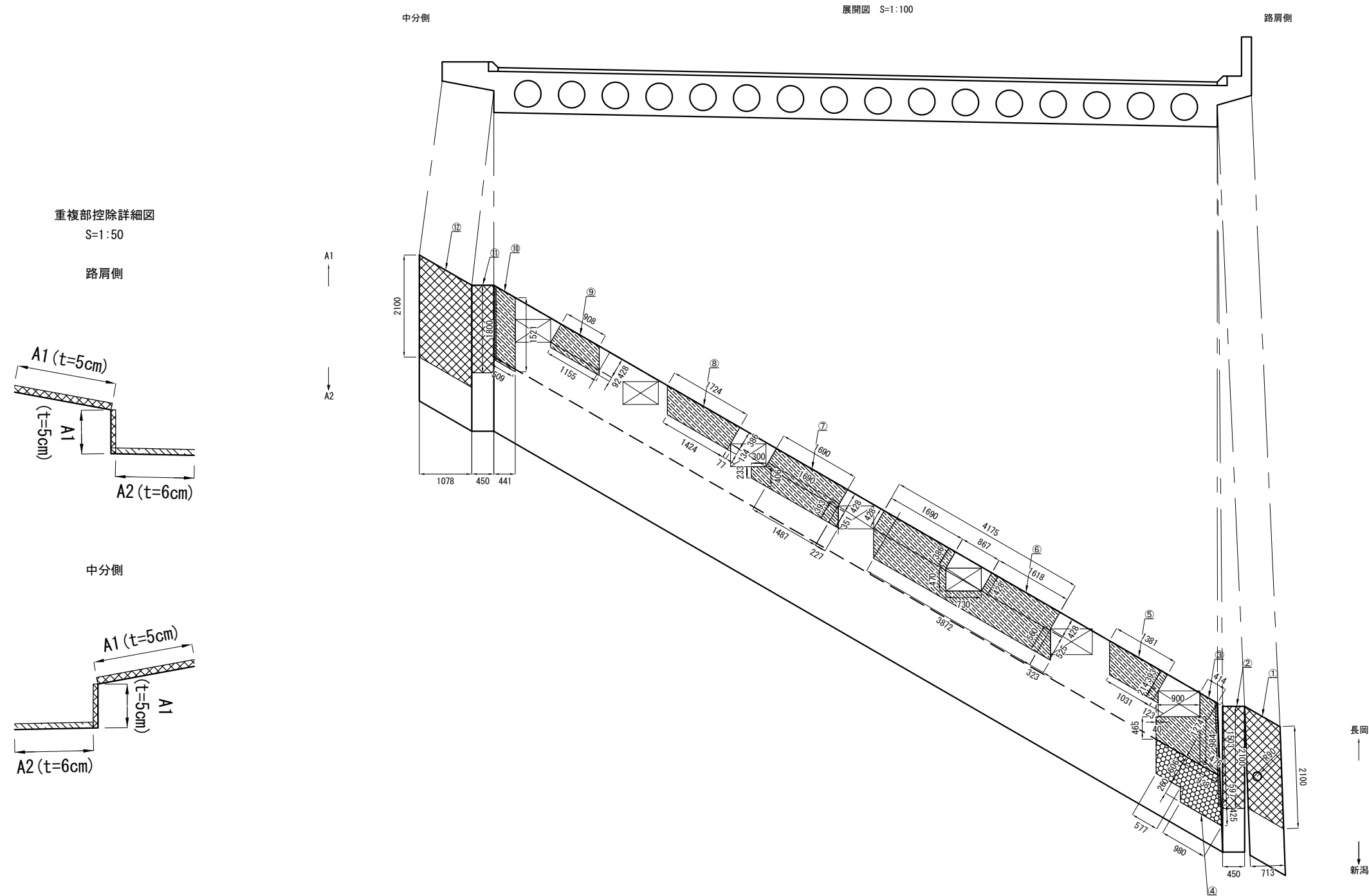
狭小部高さ	
路肩側	210 mm
中分側	185 mm

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	はく落防止対策工 B
	水切り工 A
	既設はく落防止対策工

□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 水切り工 上り線 A 2		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 コンクリートはつリエ、断面修復工
下り線 A 2



コンクリートはつリエ A1 (t=5cm)

断面修復工 A1a (t=5cm)

番号	箇所	数量(m ²)
①	張出下面	1.5
②	床版側面	0.9
⑪	床版側面	0.8
⑫	張出下面	2.3
	計	5.5

コンクリートはつリエ A1 (t=6cm)

断面修復工 A1a (t=6cm)

番号	箇所	数量(m ²)
④	床版下面	1.2

コンクリートはつリエ A2 (t=6cm)

断面修復工 A2a (t=6cm)

番号	箇所	数量(m ²)
③	床版下面	1.1
⑤	床版下面	0.7
⑥	床版下面	3.5
⑦	床版下面	1.4
⑧	床版下面	0.8
⑨	床版下面	0.5
⑩	床版下面	0.6
	計	8.6

狭小部高さ

路肩側	210 mm
中分側	235 mm

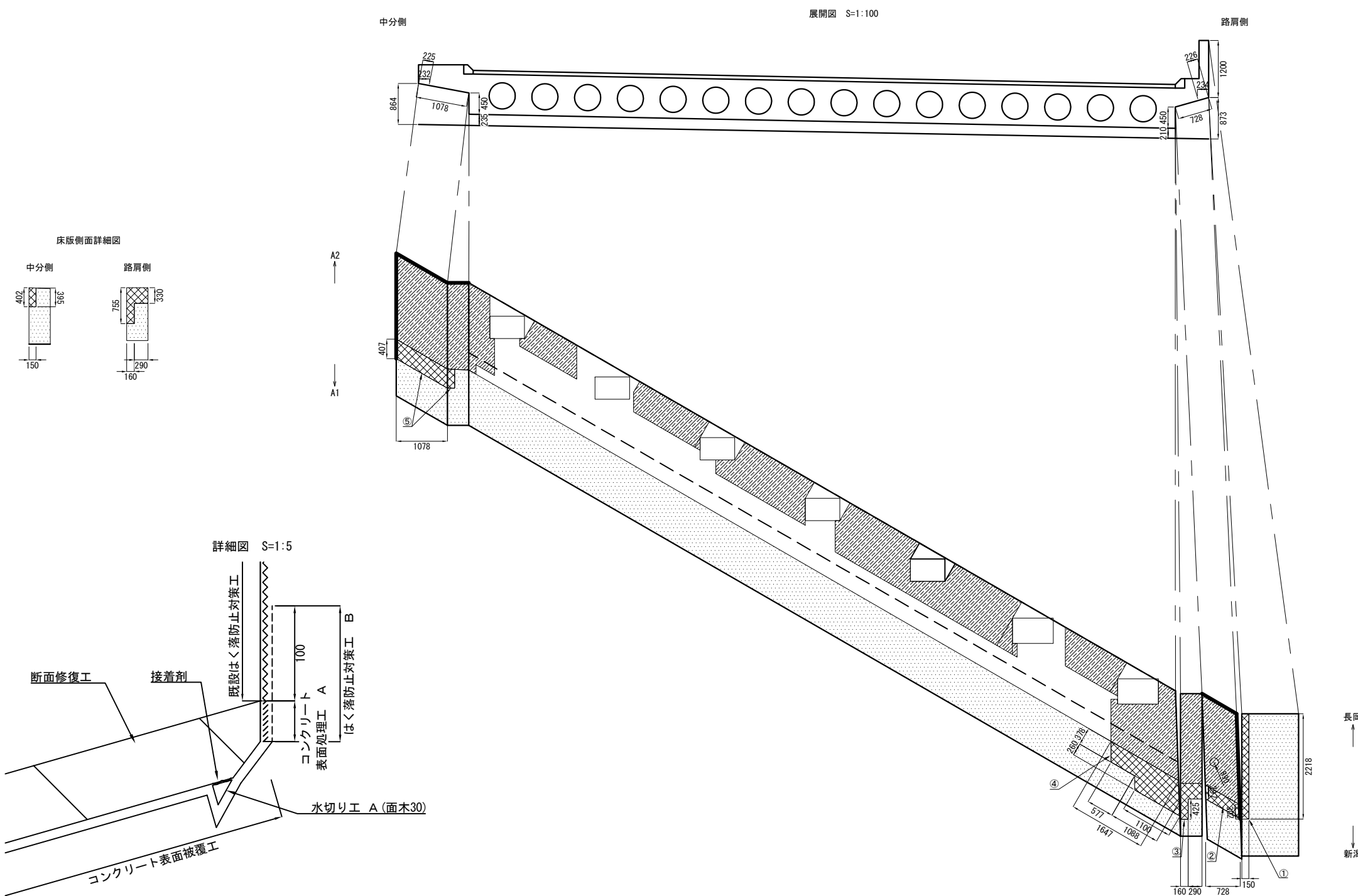
施工範囲	コンクリートはつリエ	断面修復工
	A1 (t=5cm)	A1a (t=5cm)
	A1 (t=6cm)	A1a (t=6cm)
	A2 (t=6cm)	A2a (t=6cm)
	重複部	

□ □ □ 狭小部範囲

型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 コンクリートはつリエ、断面修復工 下り線 A 2		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 コンクリート表面処理工、はく落防止対策工
下り線 A 2



コンクリート表面処理工 A

番号	箇所	数量(m ²)
①	高欄側面	0.1
②	張出下面	0.1
③	床版側面	0.1
④	床版下面	0.7
⑤	張出	0.3
	計	1.3

はく落防止対策工 B

番号	箇所	数量(m ²)
①	高欄側面	0.3
②	張出下面	0.2
③	床版側面	0.2
④	床版下面	0.9
⑤	張出	0.5
	計	2.1

□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純RC中空床版

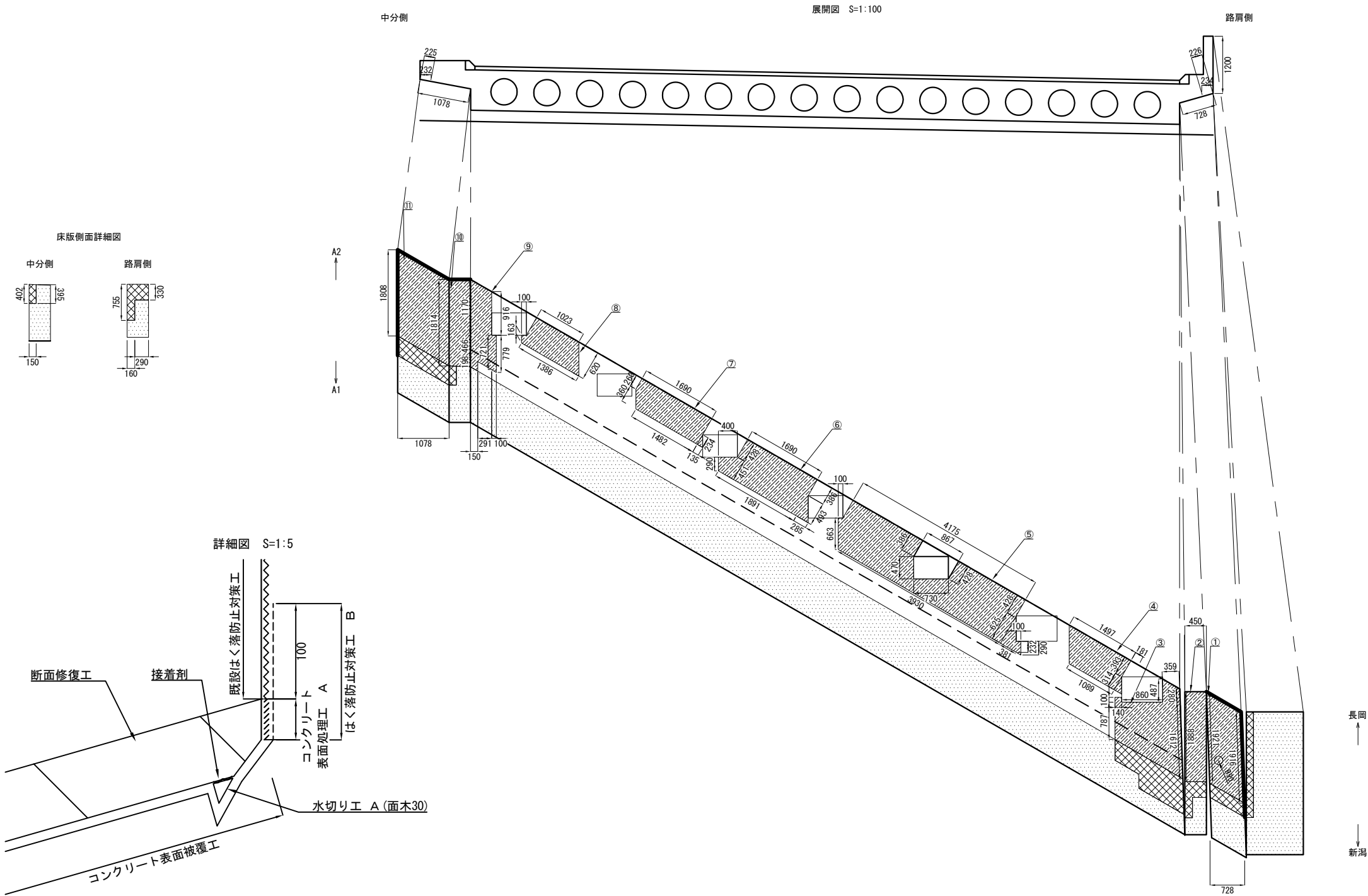
狭小部高さ

路肩側	210 mm
中分側	235 mm

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	はく落防止対策工 B
	水切りエ A
	既設はく落防止対策工

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 コンクリート表面処理工、はく落防止対策工 下り線 A 2		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 表面保護工
下り線 A 2



コンクリート表面被覆工		
番号	箇所	数量(m ²)
①	張出下面	1.4
②	床版側面	0.8
③	床版下面	1.8
④	床版下面	0.9
⑤	床版下面	4.0
⑥	床版下面	1.7
⑦	床版下面	1.0
⑧	床版下面	0.8
⑨	床版下面	0.8
⑩	床版側面	0.8
⑪	張出下面	2.0
計		16.0

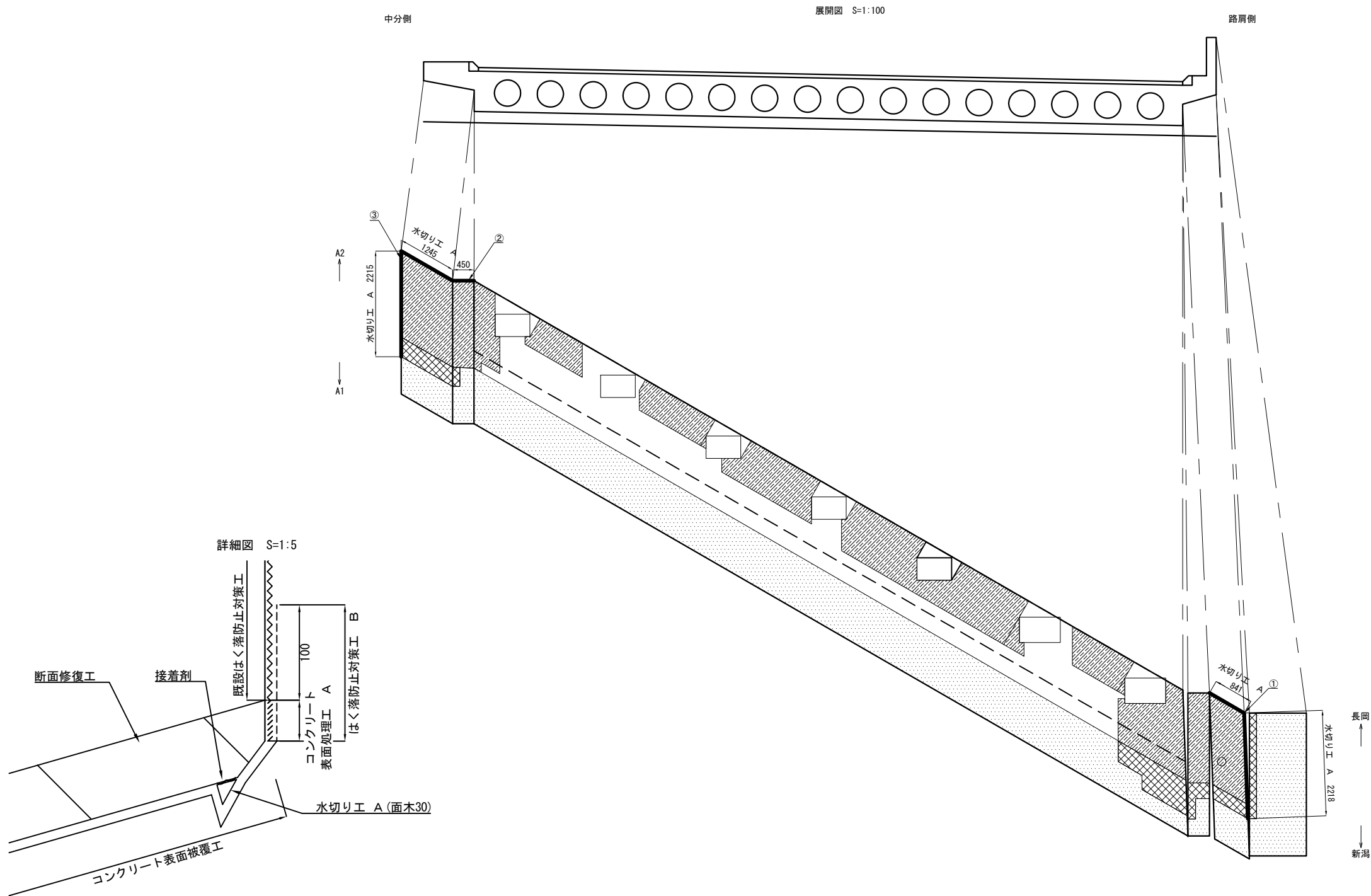
狭小部高さ	
路肩側	210 mm
中分側	235 mm

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	はく落防止対策工 B
	水切りエ A
	既設はく落防止対策工

□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 表面保護工 下り線 A 2		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 水切り工
下り線 A 2



水切り工 A		
番号	箇所	数量(m)
①	張出下面	3.1
②	床版側面	0.5
③	張出下面	3.5
	計	7.1

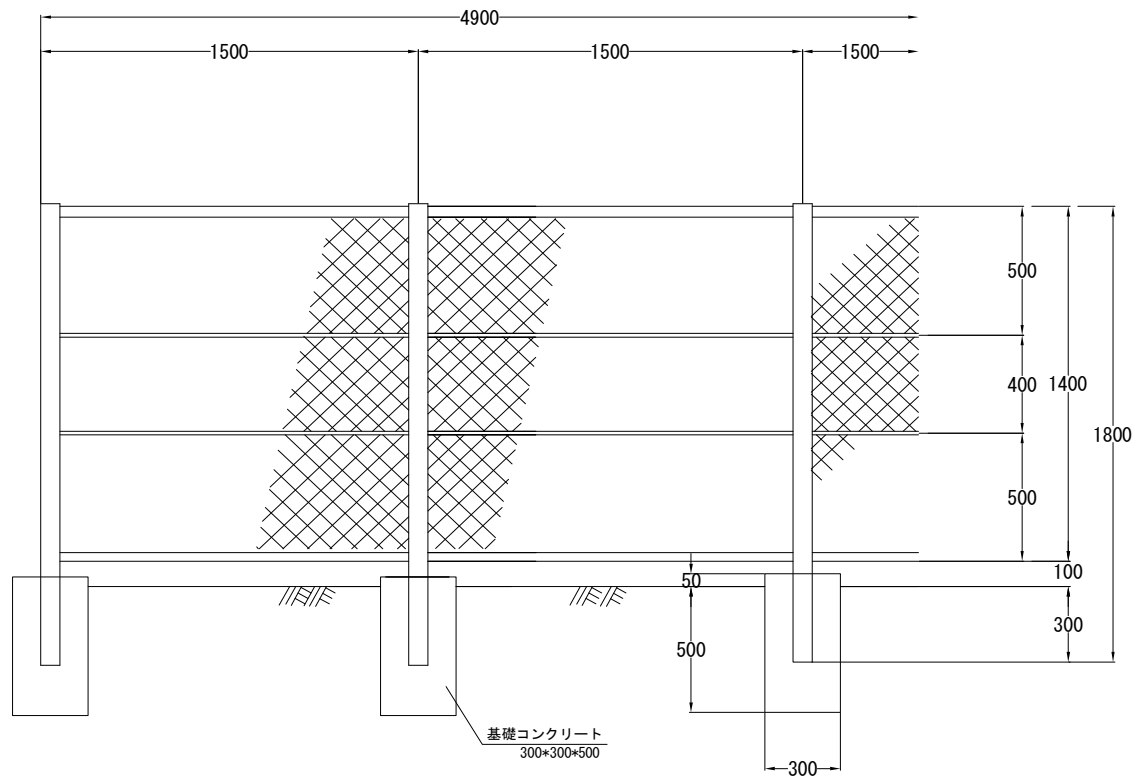
狭小部高さ	
路肩側	210 mm
中分側	235 mm

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	はく落防止対策工 B
	水切り工 A
	既設はく落防止対策工

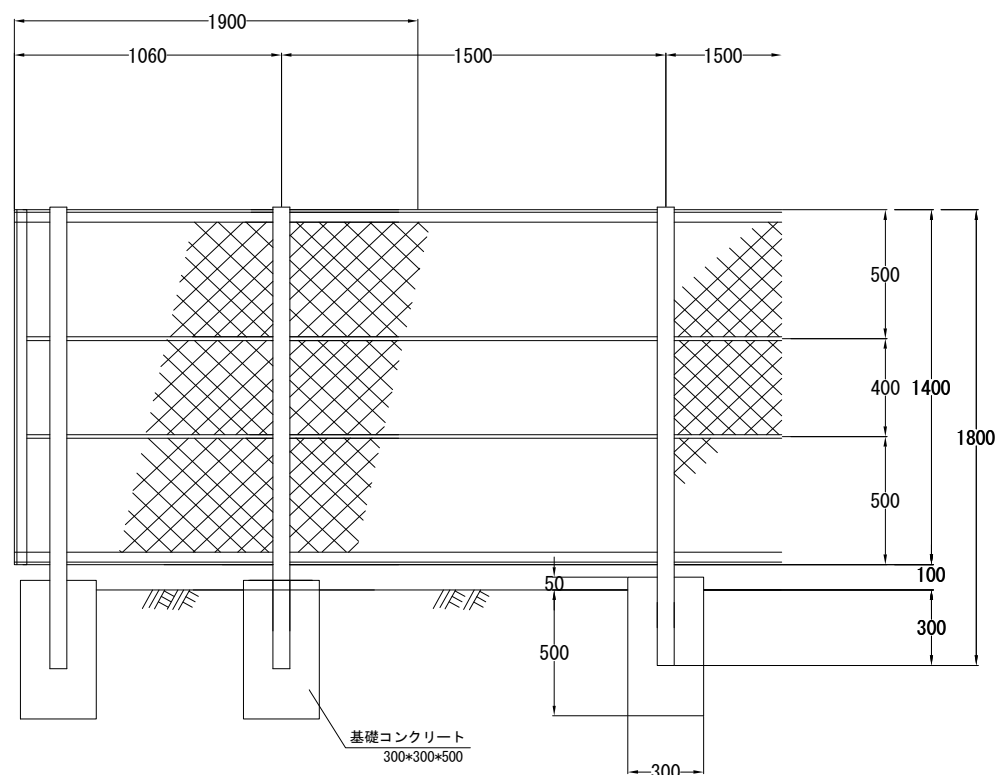
□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 水切り工 下り線 A 2		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

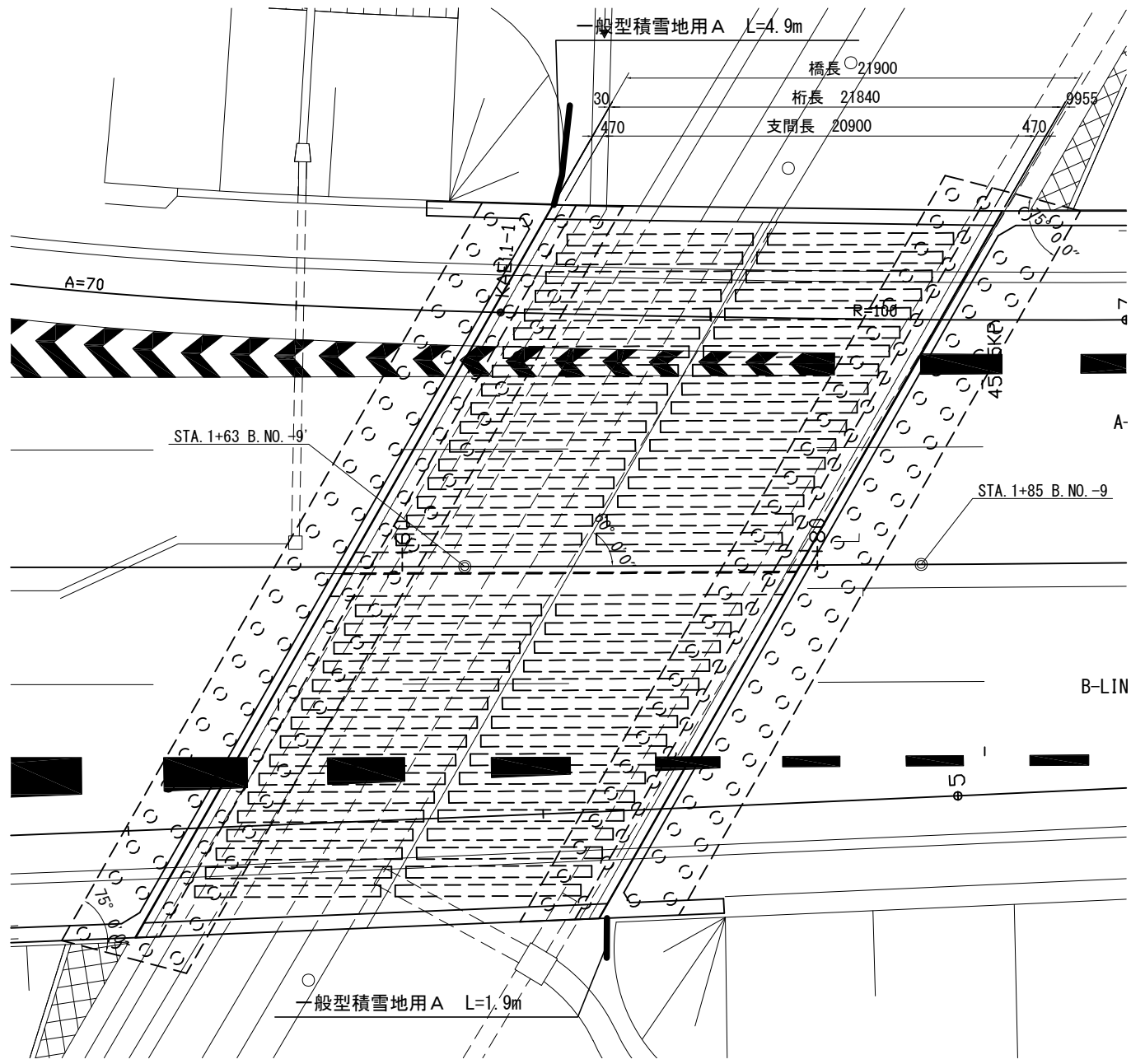
一般型積雪地用A 標準図（上り線 A 1） S=1:30



一般型積雪地用A 標準図（下り線 A 2） S=1:30



平面図 S=1:300



一般型積雪地用A	
箇所	数量(m)
A1 上り線	4.9
A2 下り線	1.9
計	6.8

施工範囲	工種
—	一般型積雪地用A

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 立入防止柵撤去設置工 上り線 A 1、下り線 A 2		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

検査路撤去再設置工 B

正面図 上り線

1 - 1

20605

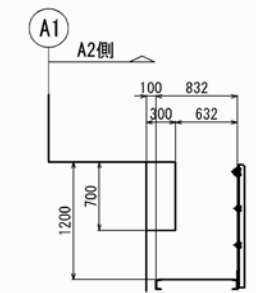
検査路撤去再設置工 B

箇所	数量(箇所)
上り線 A1	1.0

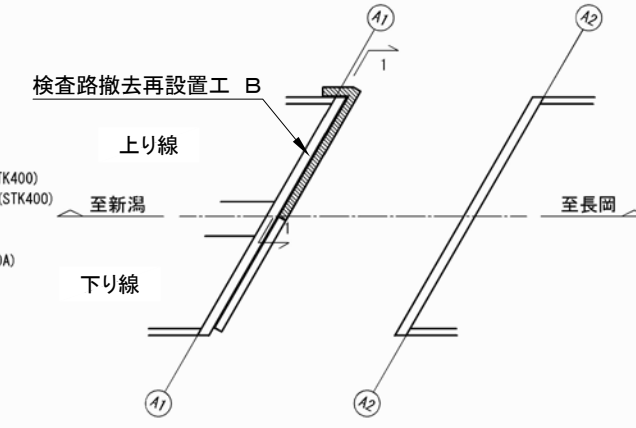
名称	数量(kg)	箇所数	合計数量(kg)
K-1(手摺端部)	33.0	1.0	33.0
K-1(手摺)	60.8	1.0	60.8
K-1(床板)	126.3	1.0	126.3
K-2(手摺端部)	32.6	1.0	32.6
K-2(手摺)	57.7	1.0	57.7
K-2(床板)	92.8	1.0	92.8
K-3(手摺)	84.0	1.0	84.0
K-3(床板)	144.4	1.0	144.4
K-4(手摺)	84.0	1.0	84.0
K-4(床板)	144.4	1.0	144.4
K-5(手摺)	84.0	1.0	84.0
K-5(床板)	144.4	1.0	144.4
K-6(手摺)	84.0	1.0	84.0
K-6(床板)	144.1	1.0	144.1
BR-1	49.2	6.0	295.2
BR-2	51.9	2.0	103.8
計			1715.5

検査路撤去再設置工 B 平面図 上り線

断面図



配置図



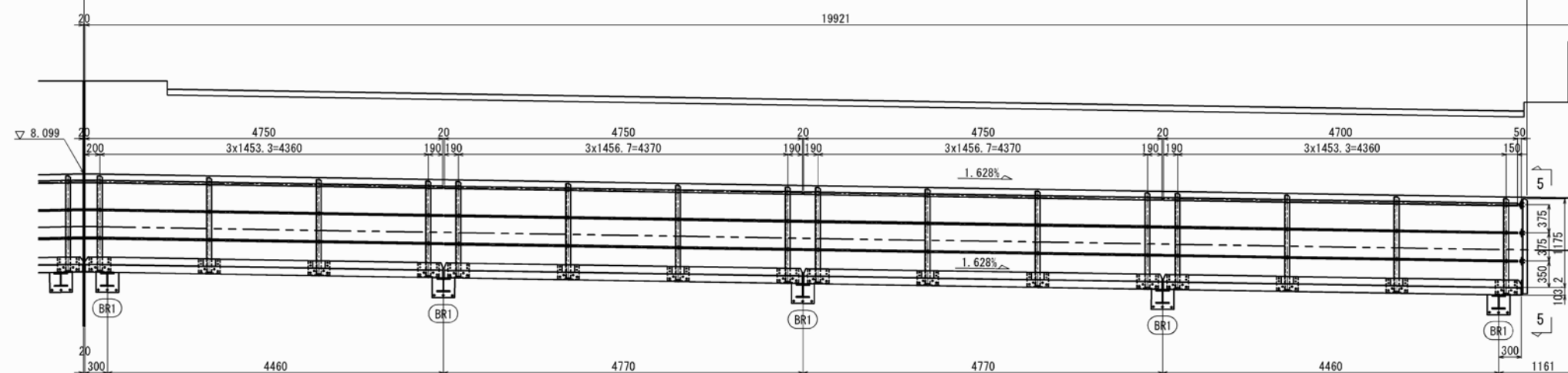
北陸自動車道 R8新潟管内橋梁修繕工事			
図面の種類	漆山橋 検査路撤去再設置工 上り線 A1		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 検査路撤去再設置工
下り線 A 1

検査路撤去再設置工 B

正面図 下り線

4 - 4



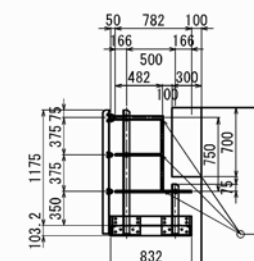
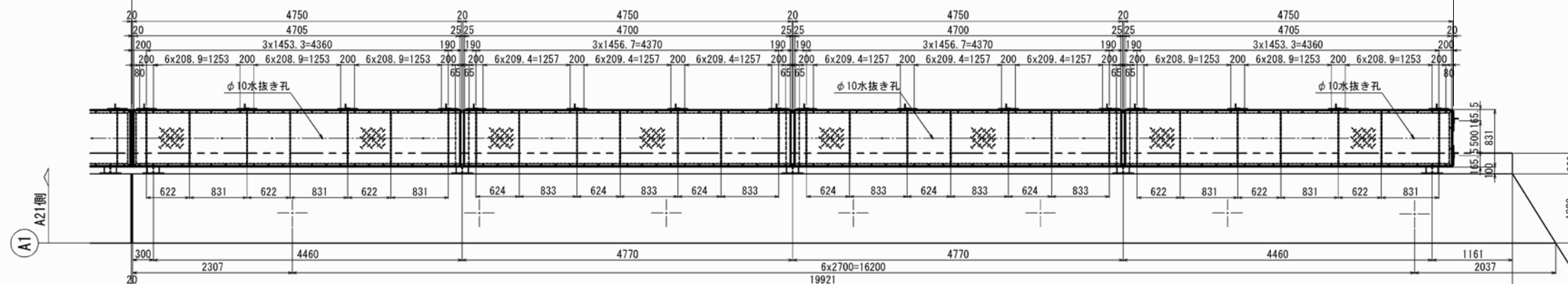
検査路撤去再設置工 B

箇所	数量(箇所)
下り線 A1	1.0

名称	数量(kg)	箇所数	合計数量(kg)
K-7(手摺)	84.0	1.0	84.0
K-7(床板)	138.6	1.0	138.6
K-8(手摺)	84.0	1.0	84.0
K-8(床板)	144.4	1.0	144.4
K-9(手摺)	84.0	1.0	84.0
K-9(床板)	144.4	1.0	144.4
K-10(手摺)	83.8	1.0	83.8
K-10(床板)	144.2	1.0	144.2
K-10(手摺端部)	27.7	1.0	27.7
BR-1	49.2	5.0	246.0
計			1181.1

検査路撤去再設置工 B

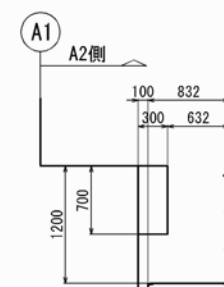
平面図 下り線



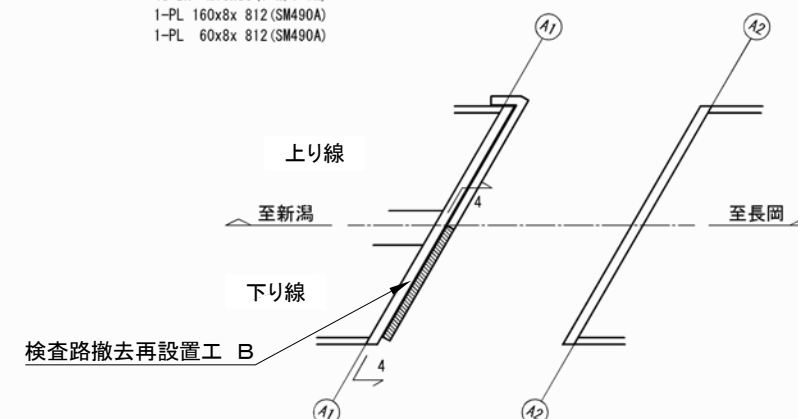
K-10

- 1-Pipe φ34x2.3x482 (STK400)
- 1-Pipe φ21.7x1.9x493 (STK40)
- 1-Pipe φ21.7x1.9x782 (STK40)
- 1-Pipe φ21.7x1.9x778 (STK40)
- 1-L 65x65x6x1258
- 1-L 65x65x6x508
- 1-PL 100x3.2x 832
- 2-PL 190x12x285 (SM490A)
- 8-BN M16x45 (2-W)
- 8-BN M10x35 (2-W)
- 1-U. Bolt 呼び 25C
- 3-U. Bolt 呼び 15C

断面図



配置図

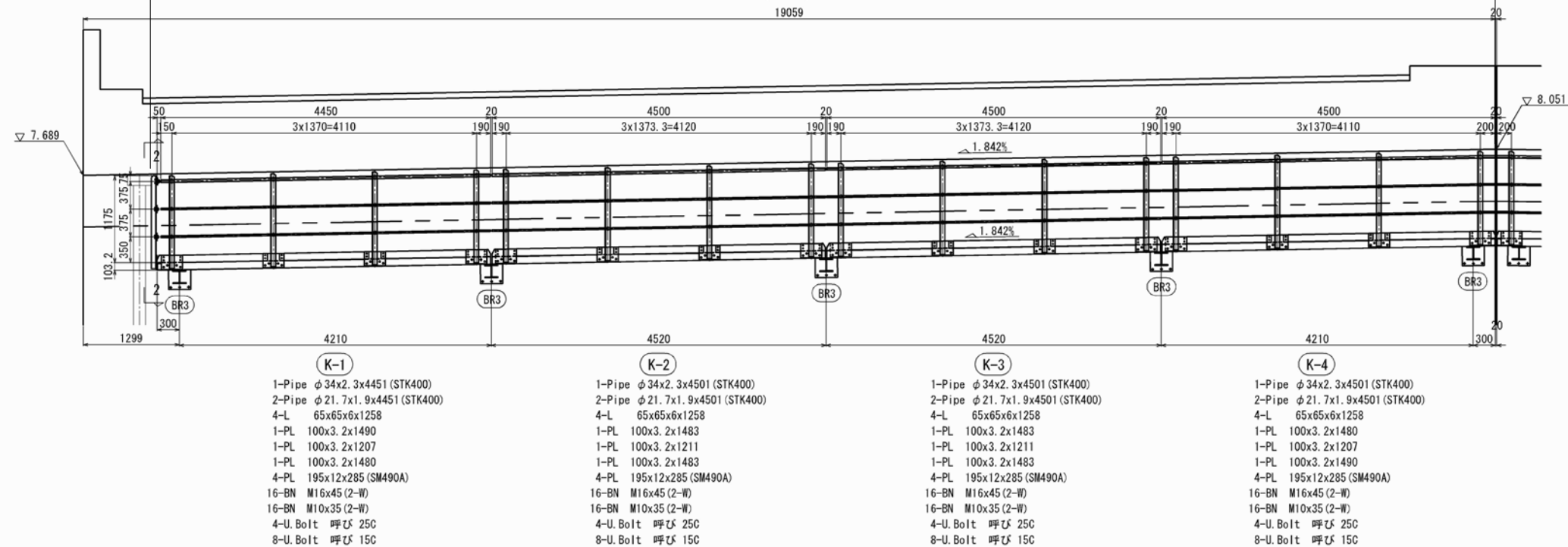


北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 検査路撤去再設置工 下り線 A 1		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

検査路撤去再設置工 B

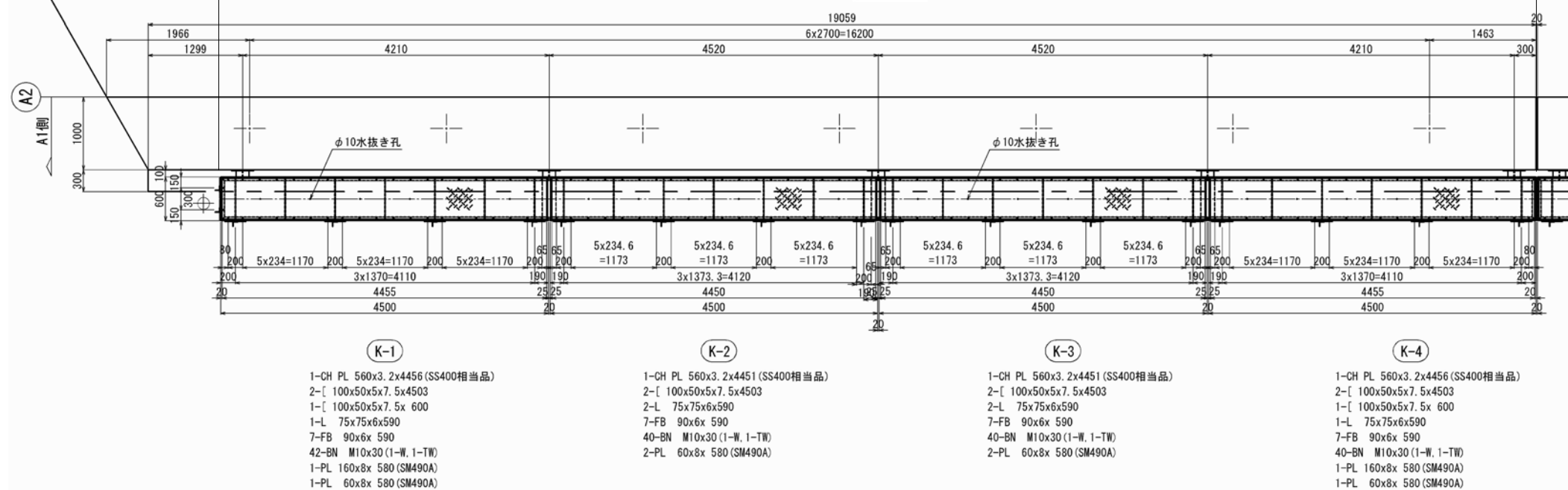
正面図 上り線

1 - 1

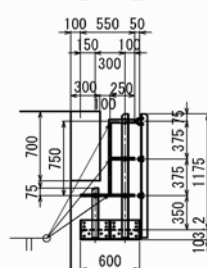


検査路撤去再設置工 B

平面図 上り線



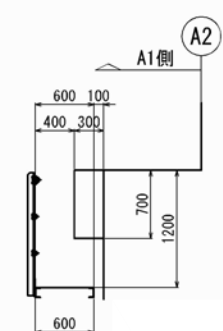
2 - 2



K-1

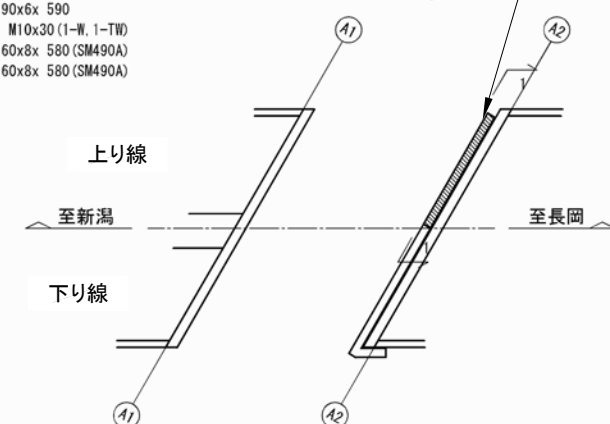
- 1-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 250$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 261$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 550$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 778$ (STK400)
1-L 65x65x6x1258
1-L 65x65x6x508
1-PL 100x3.2x 600
2-PL 190x12x285 (SM490A)
8-BN M16x45 (2-W)
8-BN M10x35 (2-W)
1-U.Bolt 呼び 25C
3-U.Bolt 呼び 15C

断面図



検査路撤去再設置工 B

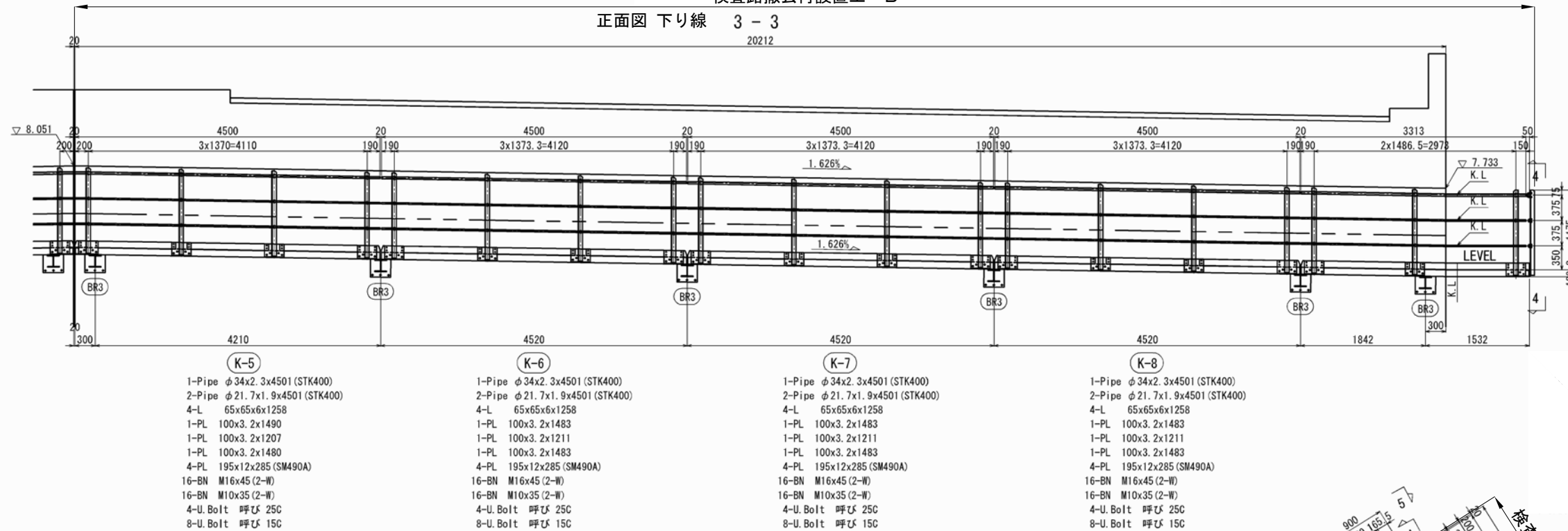
配置図



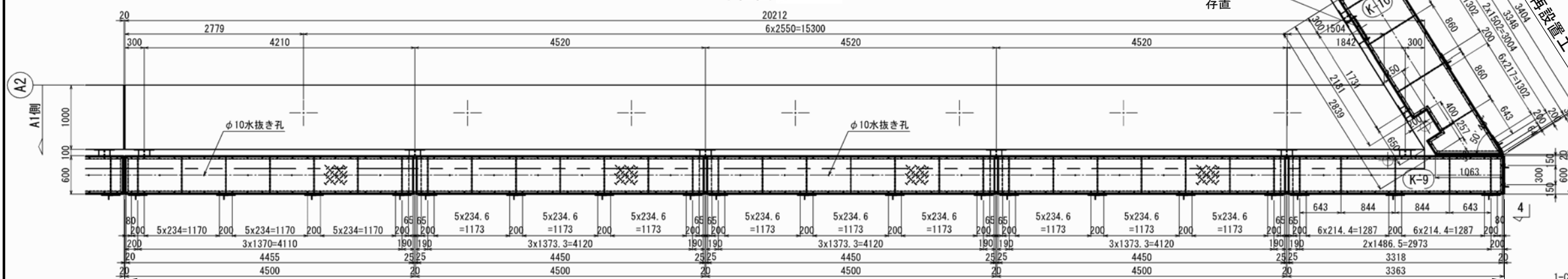
北陸自動車道 R 8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 検査路撤去再設置工 上り線 A2		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

漆山橋 検査路撤去再設置工
下り線 A2

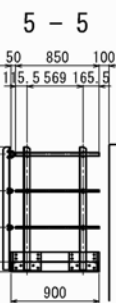
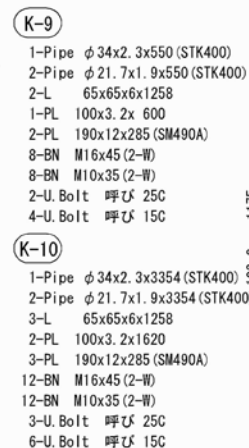
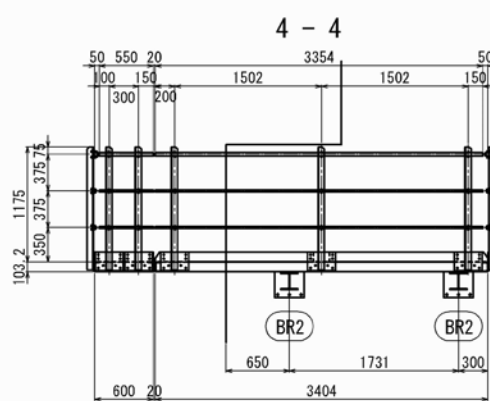
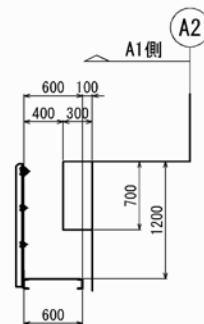
検査路撤去再設置工 B
正面図 下り線 3 - 3
20212



平面図 下り線



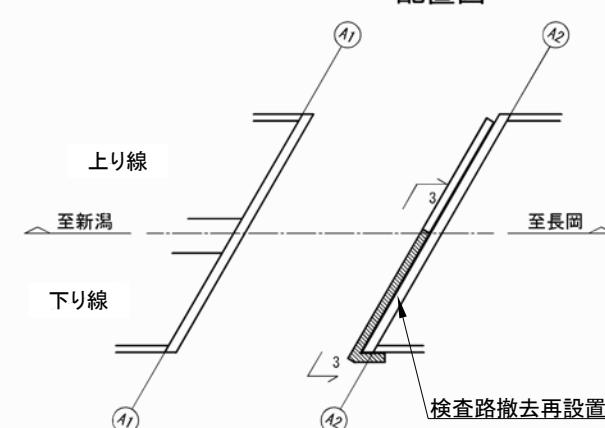
断面図



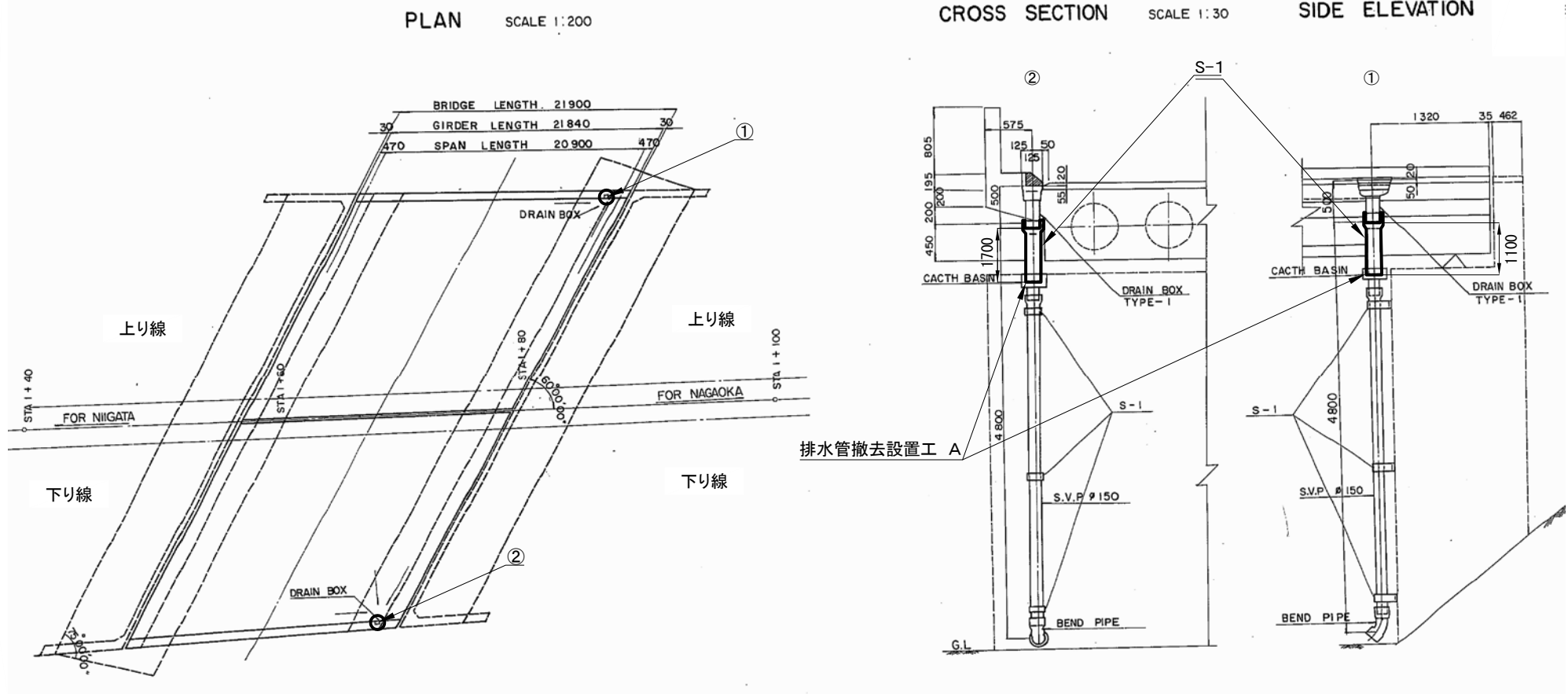
K-10

- 1-Pipe φ34x2.3x850 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x850 (STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 100x3.2x 900
2-PL 190x12x285 (SM490A)
8-BN M16x45 (2-W)
8-BN M10x35 (2-W)
2-U. Bolt 呼び 25C
4-U. Bolt 呼び 15C

配置図

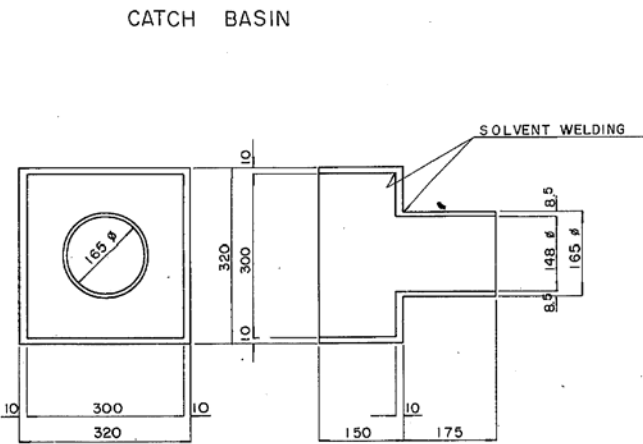
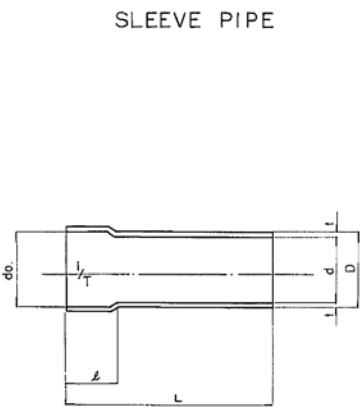
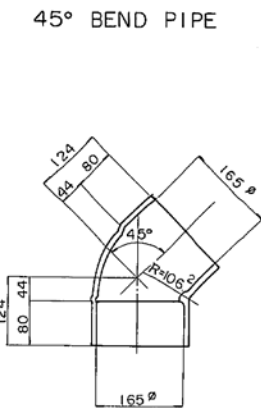
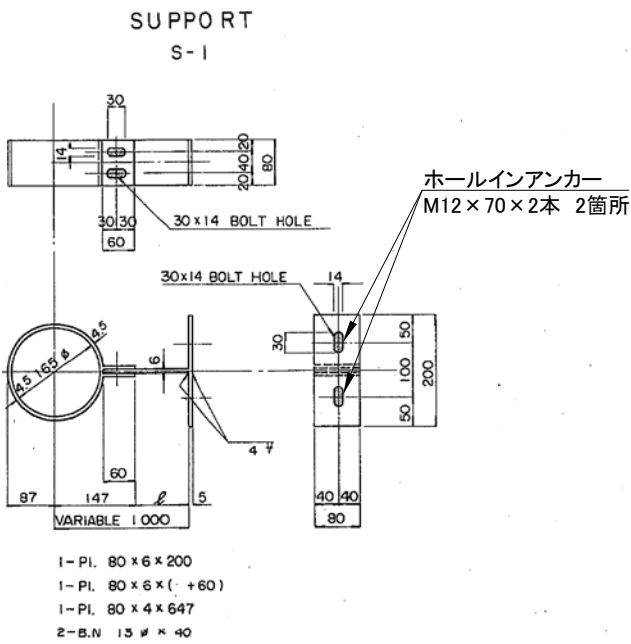


北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 検査路撤去再設置工 下り線 A2		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		



排水管撤去設置工 A

番号	箇所	数量(箇所)	数量(m)
①	上り線	1.0	1.1
②	下り線	1.0	1.7
	計	2.0	2.8



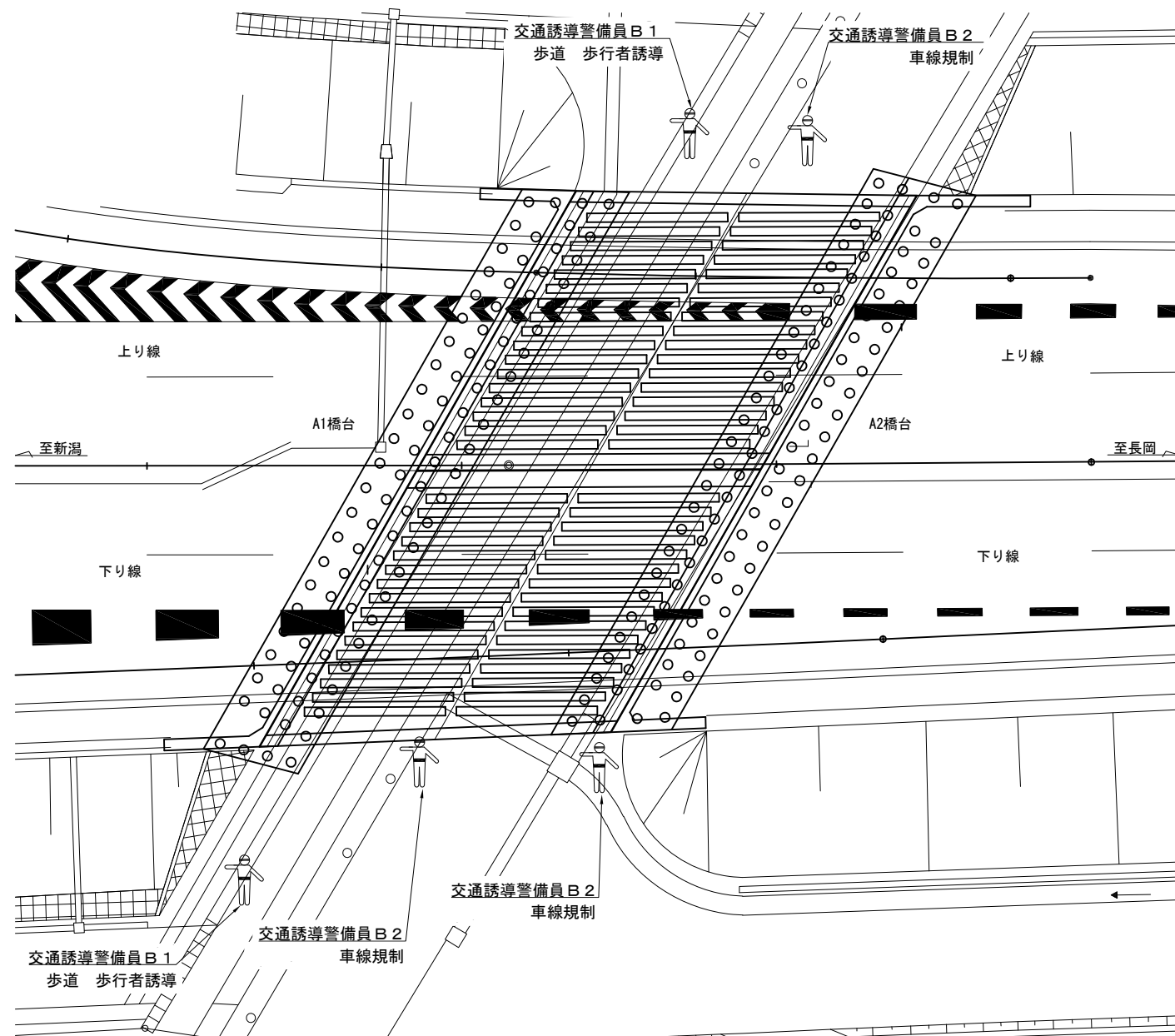
	PIPE				SLEEVE		
	D	t(MN)	d(alt)	L	do.	ℓ	1/7
V.P.150	165	96	145.8	4 000	166.40	140	1/46
P.200	216	100	196	4 000	217.25	215	1/69.3

注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ボルト、ナットは溶融亜鉛メッキを施す。
亜鉛の膜厚は、HDZT49とする。

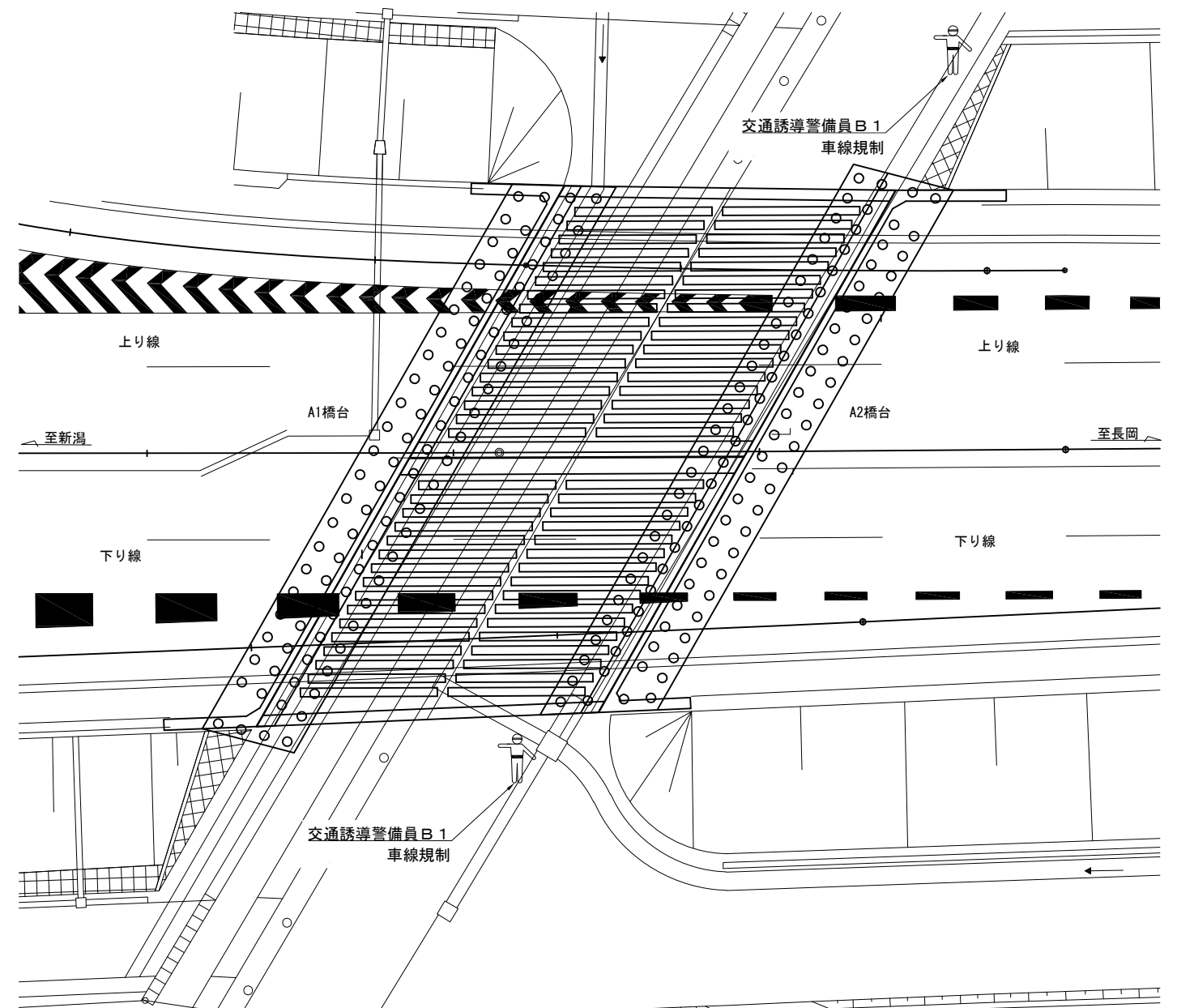
排水管撤去設置工

北 陸 自 動 車 道 R 8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 排水管撤去設置工 上り線 下り線 A 2		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

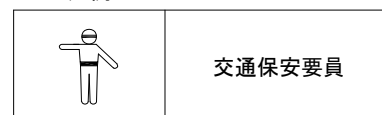
A1側 車線規制、歩道 片側交互通行



A2側 車線規制



凡例

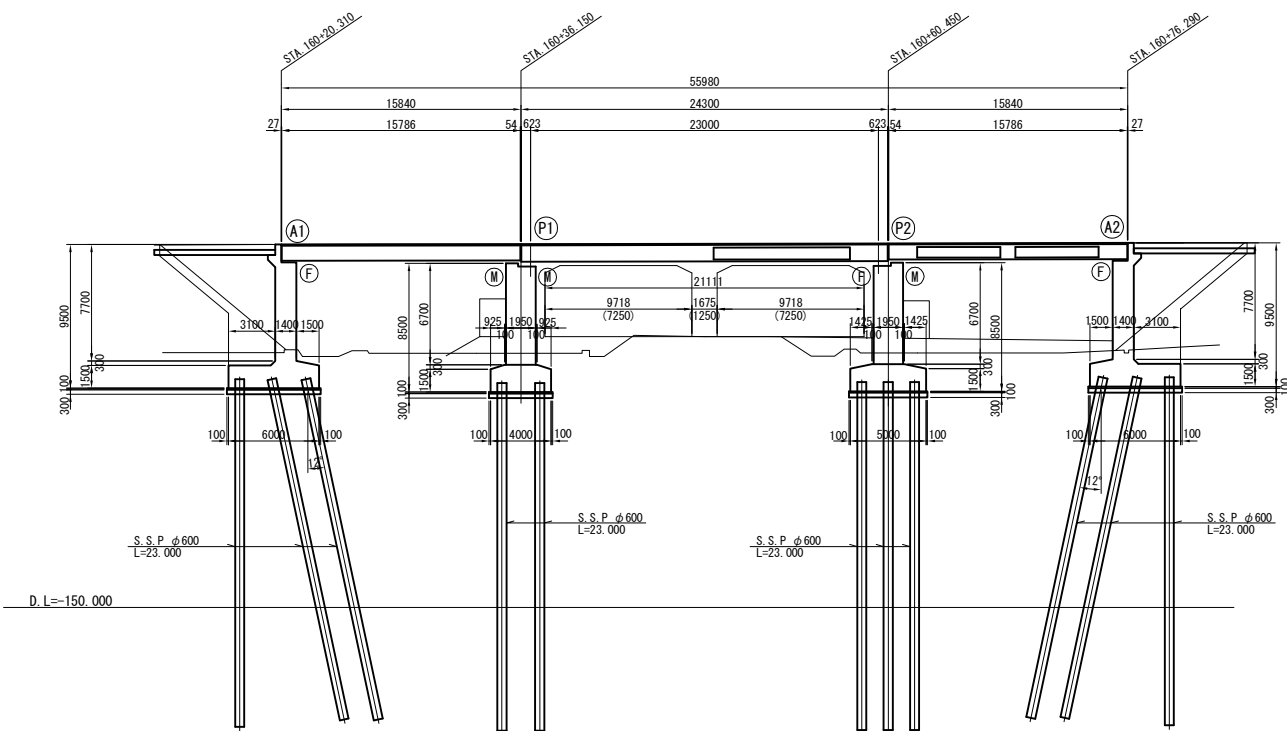


単価表の項目	A1側歩道(人・日)	A1側車道(人・日)	A2側車道(人・日)	合計(人・日)
交通誘導警備員B1	120		102	222
交通誘導警備員B2		39		39
交代要員	60	13	51	124

- ※1 A1側歩道規制の交通保安要員の配置期間は、施工期間中とする。
※2 A1側車線規制の交通保安要員の配置期間は、固定足場の設置撤去および検査路撤去再設置工の施工期間とする。
※3 A2側車線規制の交通保安要員の配置期間は、施工期間中とする。
※4 交通誘導警備員B1、B2の休憩時の交代要員は1名とする。
※5 交通誘導警備員B1、B2の数量を検測数量として扱うものとする。

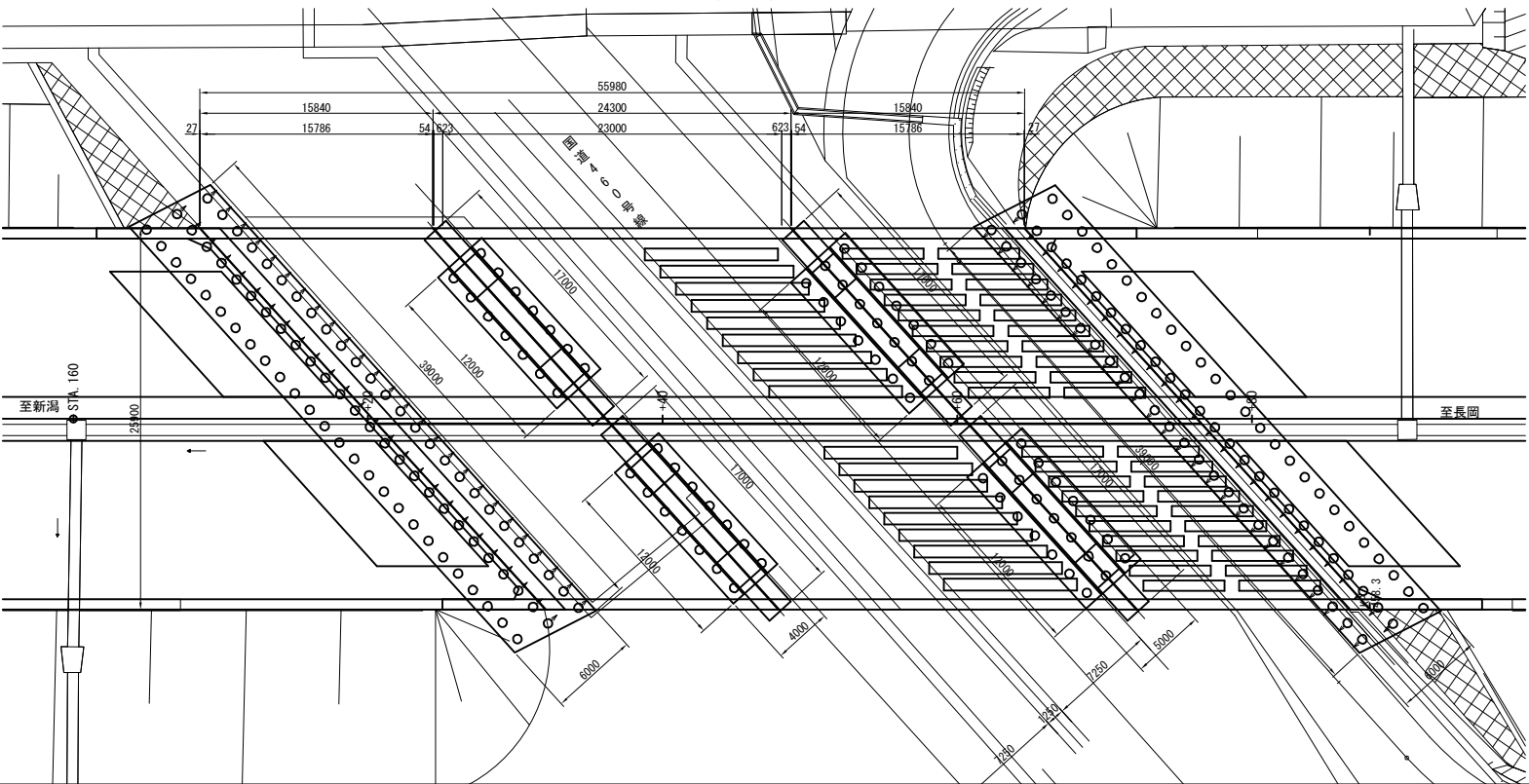
北陸自動車道 R8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	漆山橋 交通保安要員 上り線 下り線 A1—A2		
縮尺	1:400	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

側面図 縮尺 1:1000

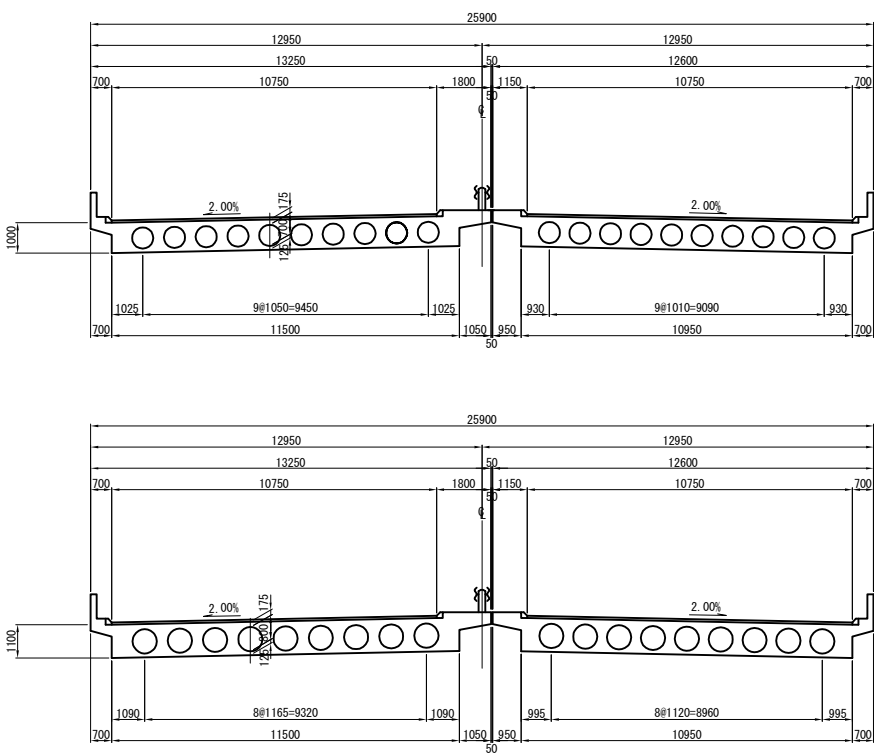


勾配	$i=0.200\%$									
計画高	8.998 8.999	9.024 9.030	9.038 9.045	9.055 9.061	9.781 9.820	9.848 9.848	9.118 9.118	9.848 9.848	9.118 9.118	9.848 9.848
地盤高	1.86 1.86	1.81 1.81	1.81 1.81	2.92 2.92	1.84 1.84	1.84 1.84	2.24 2.24	1.84 1.84	2.24 2.24	1.84 1.84
追加距離	+16020.000 +16020.310	+16032.221 +16032.371	+16040.000 +16040.000	+16046.300 +16046.300	+16060.000 +16060.400	+16062.300 +16062.300	+16076.200 +16076.200	+16080.000 +16080.000	+16080.000 +16080.000	+16080.000 +16080.000
測点	-160.20 +20.310	-43.221 +56.150	-40 +40	-48.300 +48.300	-60.450 +60.450	-62.300 +62.300	-76.200 +76.200	-80 +80	-80 +80	-80 +80
平面曲線	$R=\infty$									

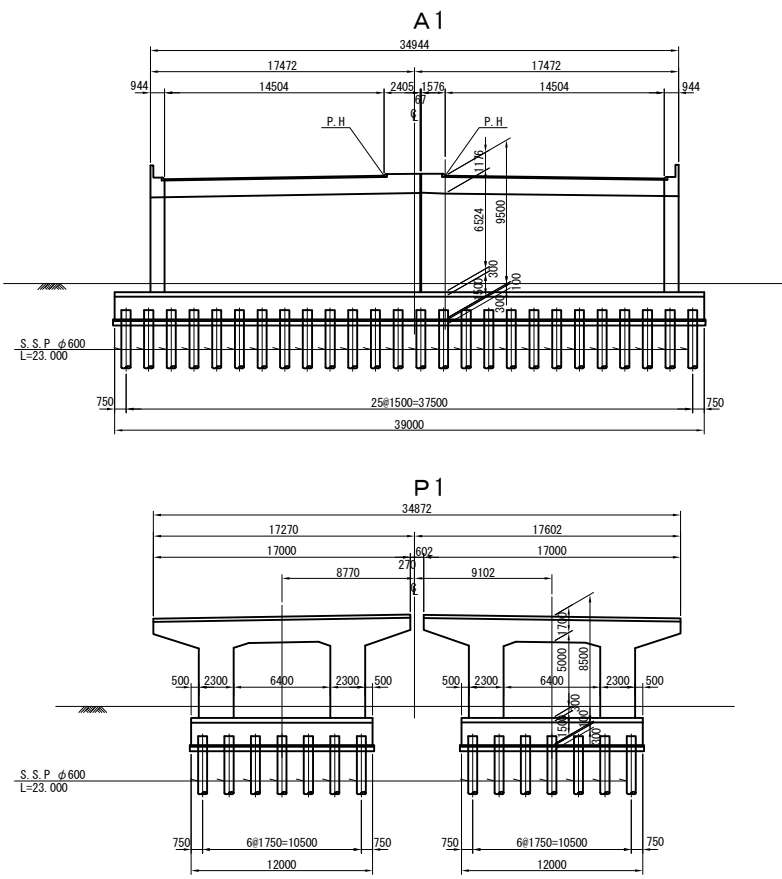
平面図 縮尺 1:1000



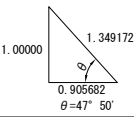
標準断面図 縮尺 1:500



横断面図 縮尺 1:1000



斜角



設計条件

橋長	55m980
桁間長	15m786 + 24m246 + 15m786
支間長	23m000
有効幅員	2 @ 10m750
活荷重	TT-43
衝撃係数	(RC) $i=7/10+L$ (PC) $i=10/25+L$
温度変化	$t=\pm 15^{\circ}\text{C}$
震度係数	$KH=0.2$
斜角	$47^{\circ} 50'$
平面曲線	$R=\infty$
縦断勾配	$i=0.200\%$

北陸自動車道 R 8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	国見橋 一般図		
縮尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

国見橋 コンクリートはつりエ、断面修復工
下り線 P 1

展開図 S=1:70

路肩側

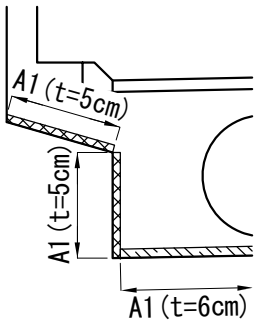
中分側

新潟

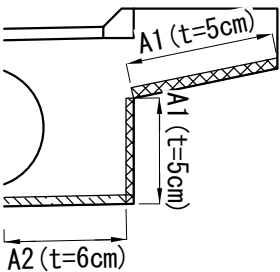
長岡

重複部控除詳細図
S=1:50

路肩側

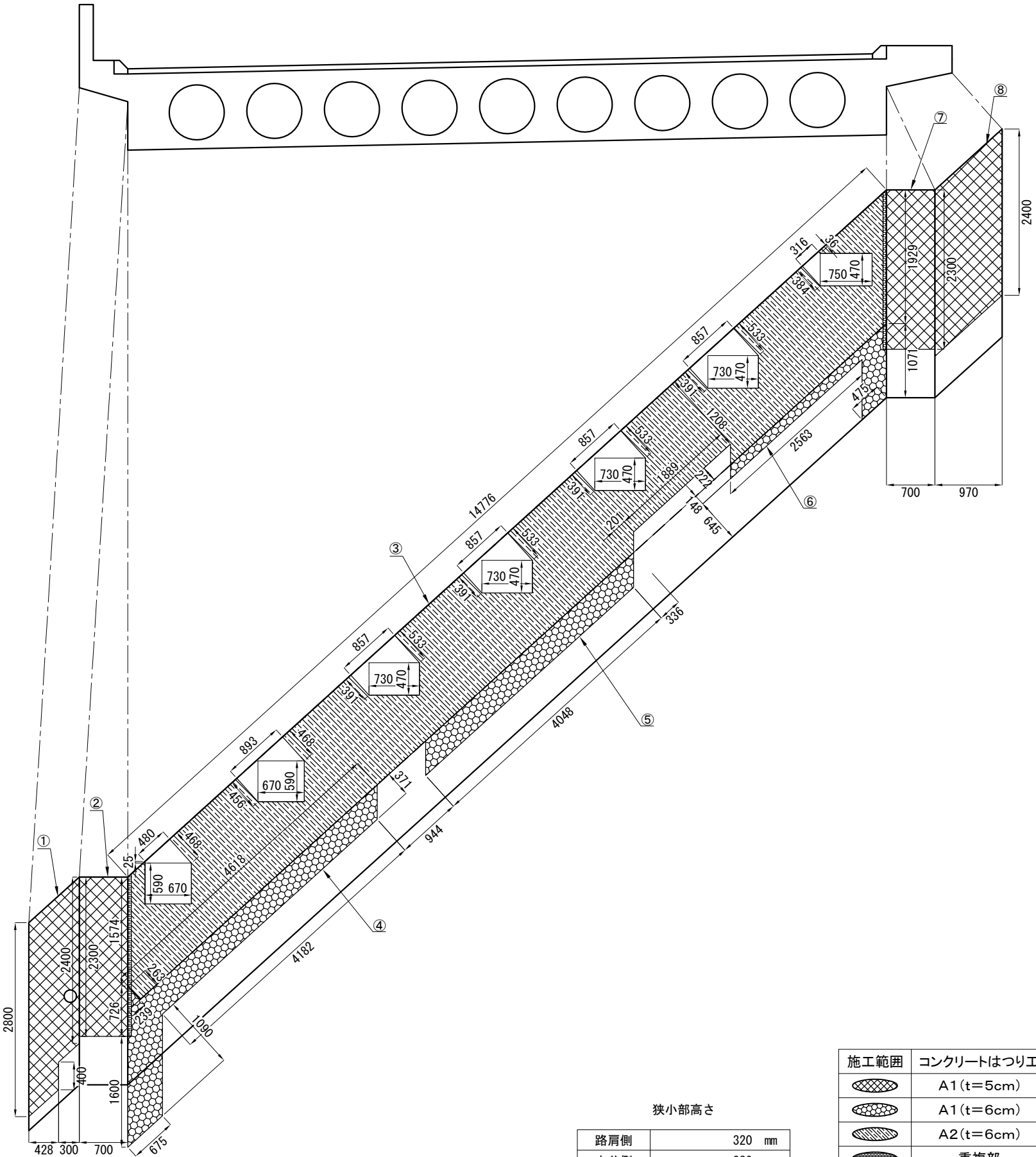


中分側



P1

P2



コンクリートはつりエ A1 (t=5cm)

断面修復工 A1a (t=5cm)

番号	箇所	数量(m ²)
①	張出下面	1.9
②	床版側面	1.6
⑦	床版側面	1.6
⑧	張出下面	2.3
	計	7.4

コンクリートはつりエ A1 (t=6cm)

断面修復工 A1a (t=6cm)

番号	箇所	数量(m ²)
④	床版下面	2.5
⑤	床版下面	1.5
⑥	床版下面	0.7
	計	4.7

コンクリートはつりエ A2 (t=6cm)

断面修復工 A2a (t=6cm)

番号	箇所	数量(m ²)
③	床版下面	16.7

□ □ □ 狭小部範囲

型式：単純RC中空床版

狭小部高さ

路肩側	320 mm
中分側	330 mm

施工範囲	コンクリートはつりエ	断面修復工
	A1 (t=5cm)	A1a (t=5cm)
	A1 (t=6cm)	A1a (t=6cm)
	A2 (t=6cm)	A2a (t=6cm)
	重複部	

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	国見橋 コンクリートはつりエ、断面修復工 下り線 P 1		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

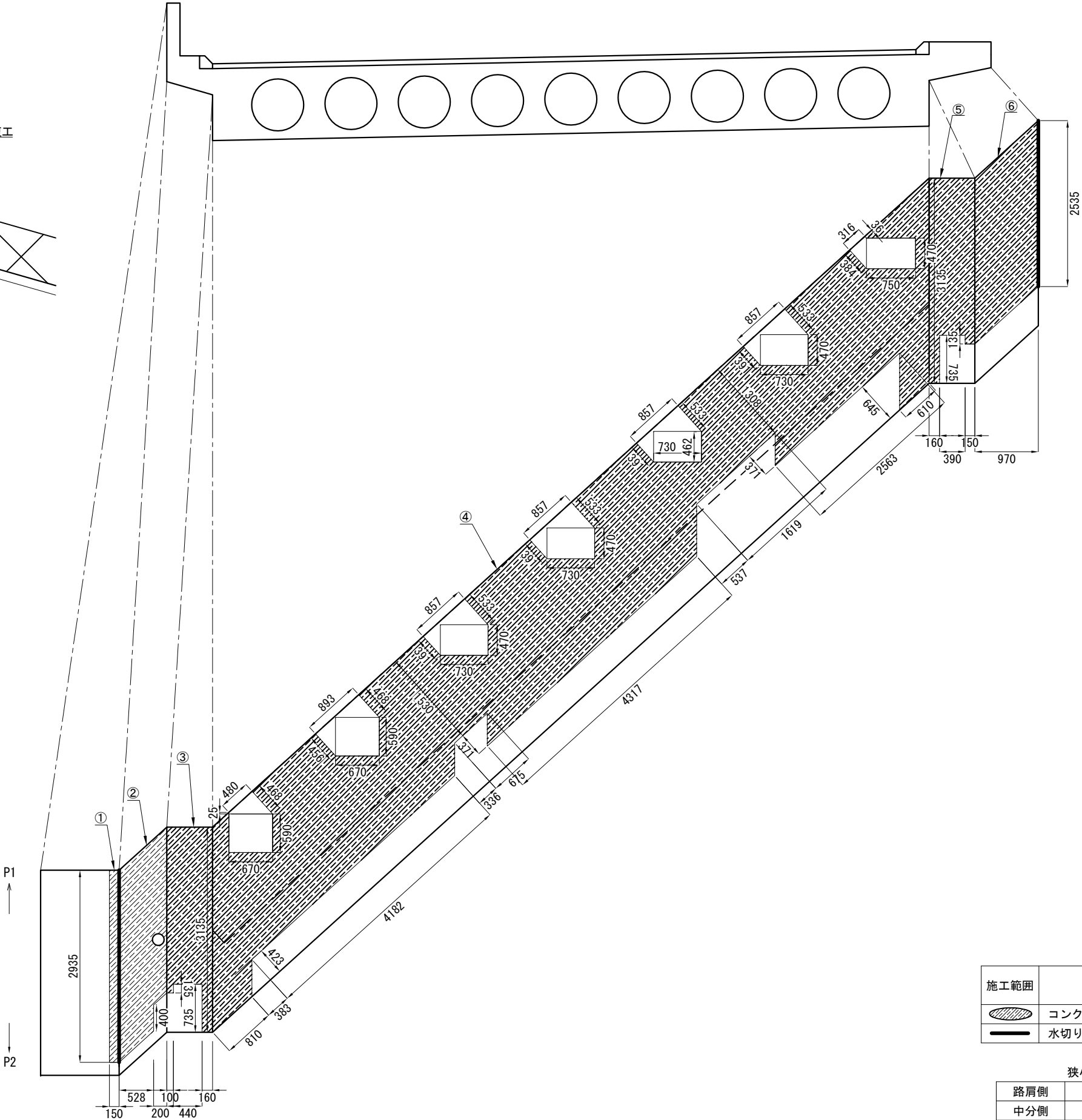
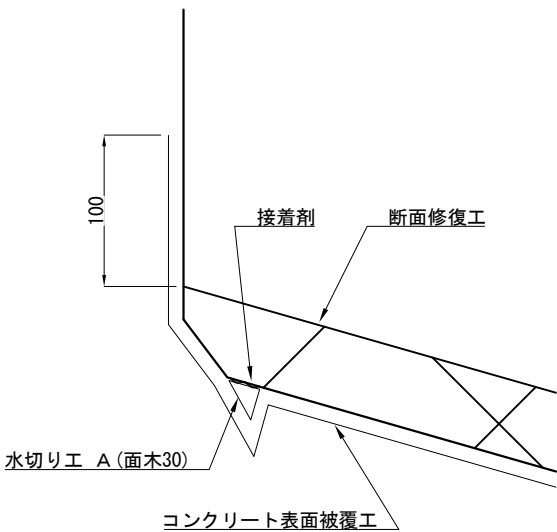
国見橋 表面保護工
下り線 P 1

展開図 S=1:70

路肩側

中分側

詳細図 S=1:5



新潟
↑
↓
長岡

コンクリート表面被覆工		
番号	箇所	数量(m ²)
①	高欄側面	0.4
②	張出下面	2.0
③	床版側面	1.8
④	床版下面	23.1
⑤	床版側面	1.8
⑥	張出下面	2.5
	計	31.6

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	水切りエ A

狭小部高さ	
路肩側	320 mm
中分側	330 mm

□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	国見橋 表面保護工 下り線 P 1		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

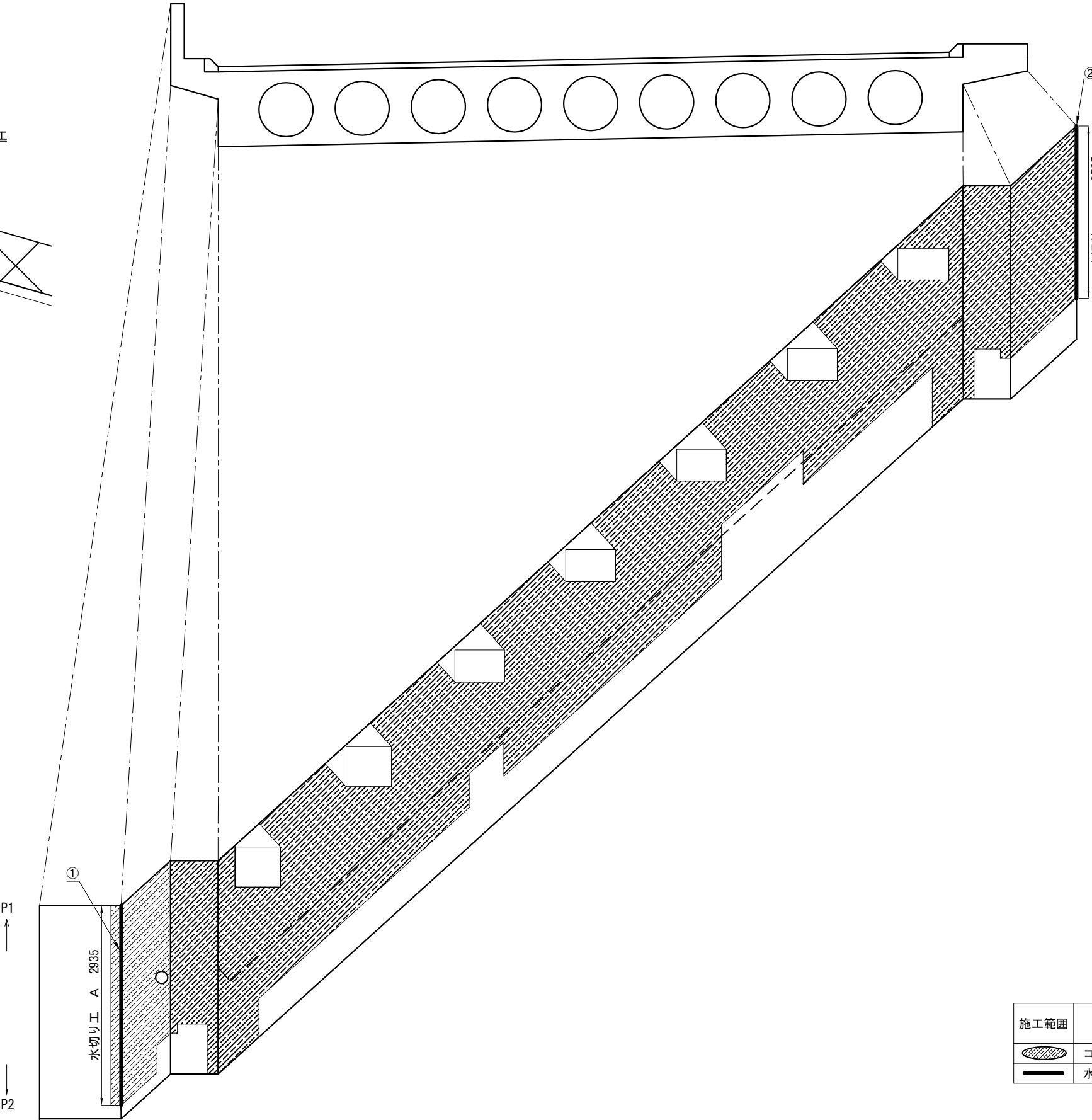
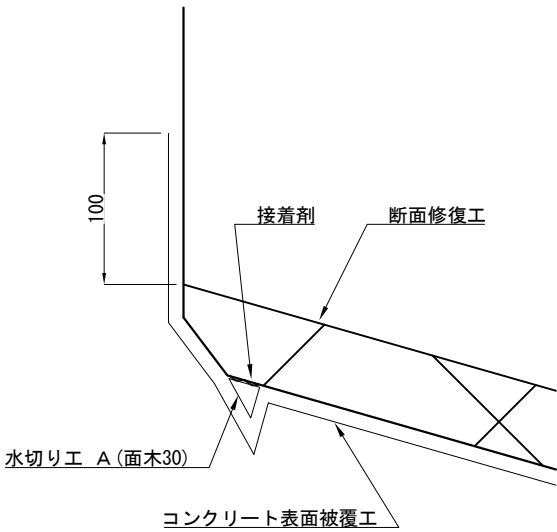
国見橋 水切り工
下り線 P 1

展開図 S=1:70

路肩側

中分側

詳細図 S=1:5



新潟
↓
長岡

水切り工 A		
番号	箇所	数量(m)
①	張出下面	2.9
②	張出下面	2.5
	計	5.4

P1
↑
↓
P2

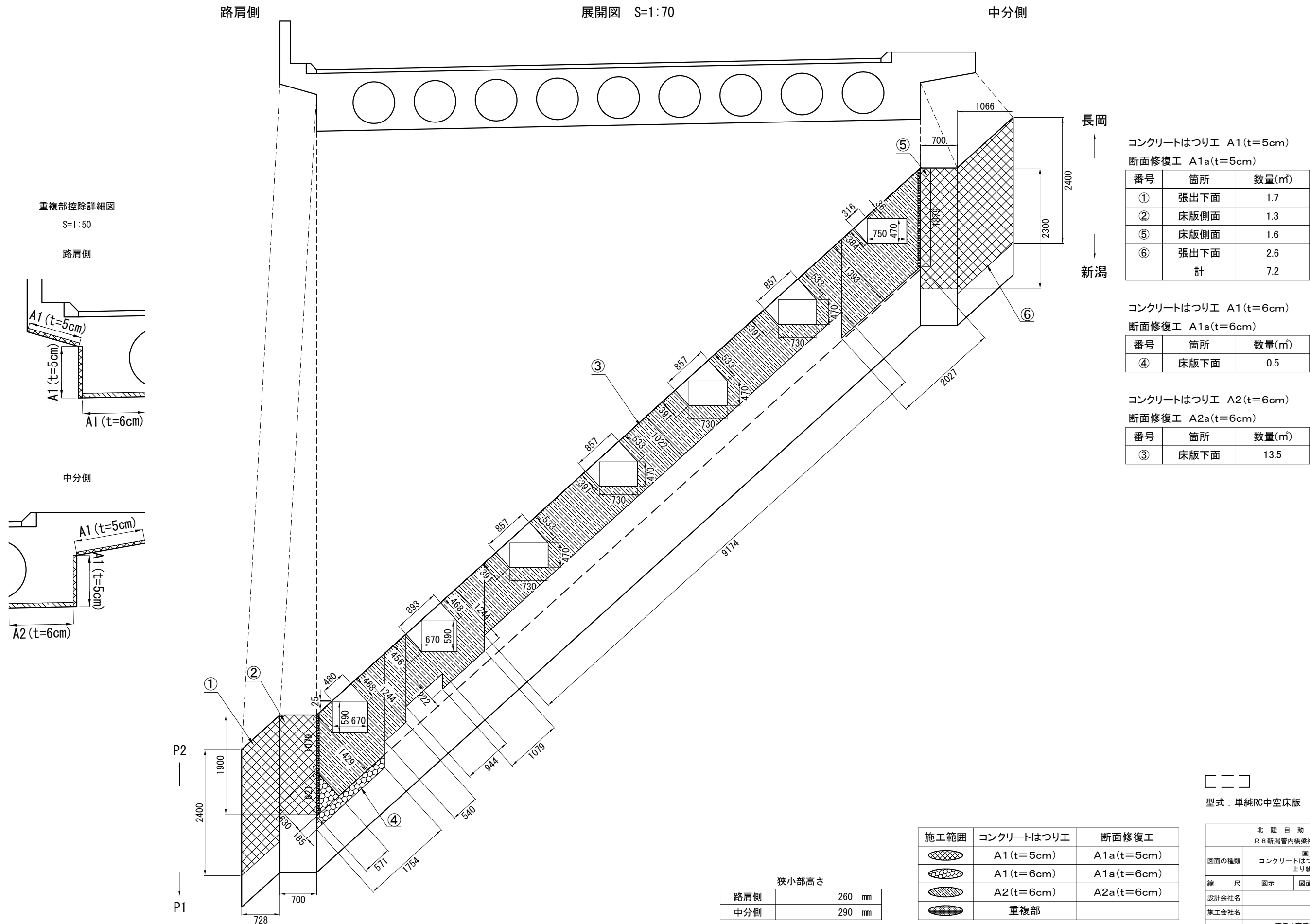
施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	水切り工 A

狭小部高さ	
路肩側	320 mm
中分側	330 mm

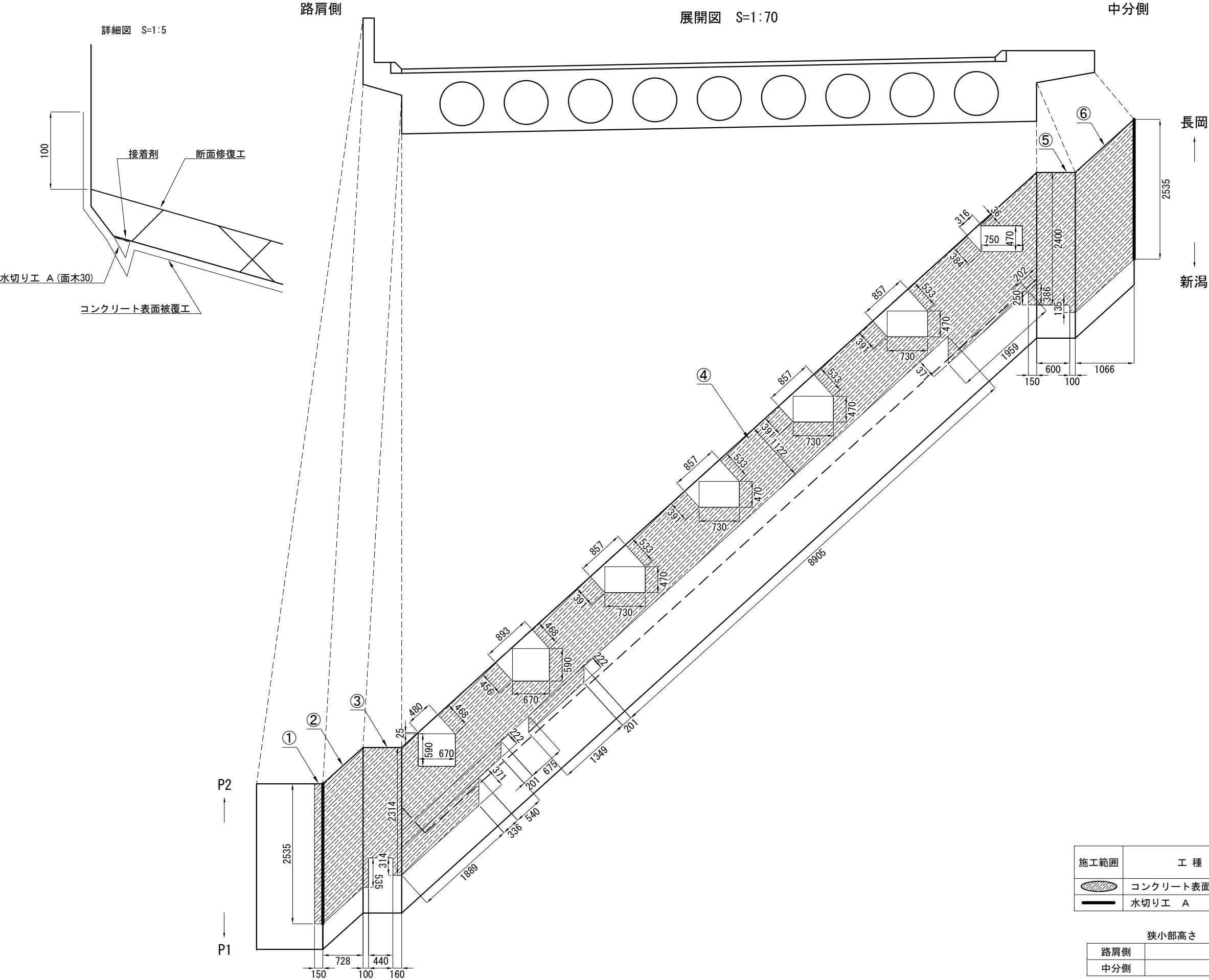
□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	国見橋 水切り工 下り線 P 1		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

国見橋 コンクリートはつりエ、断面修復工
上り線 P 2



国見橋 表面保護工
上り線 P 2



コンクリート表面被覆工		
番号	箇所	数量(m ²)
①	高欄側面	0.4
②	張出下面	1.8
③	床版側面	1.5
④	床版下面	16.0
⑤	床版下面	1.7
⑥	床版側面	2.7
	計	24.1

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	水切り工 A

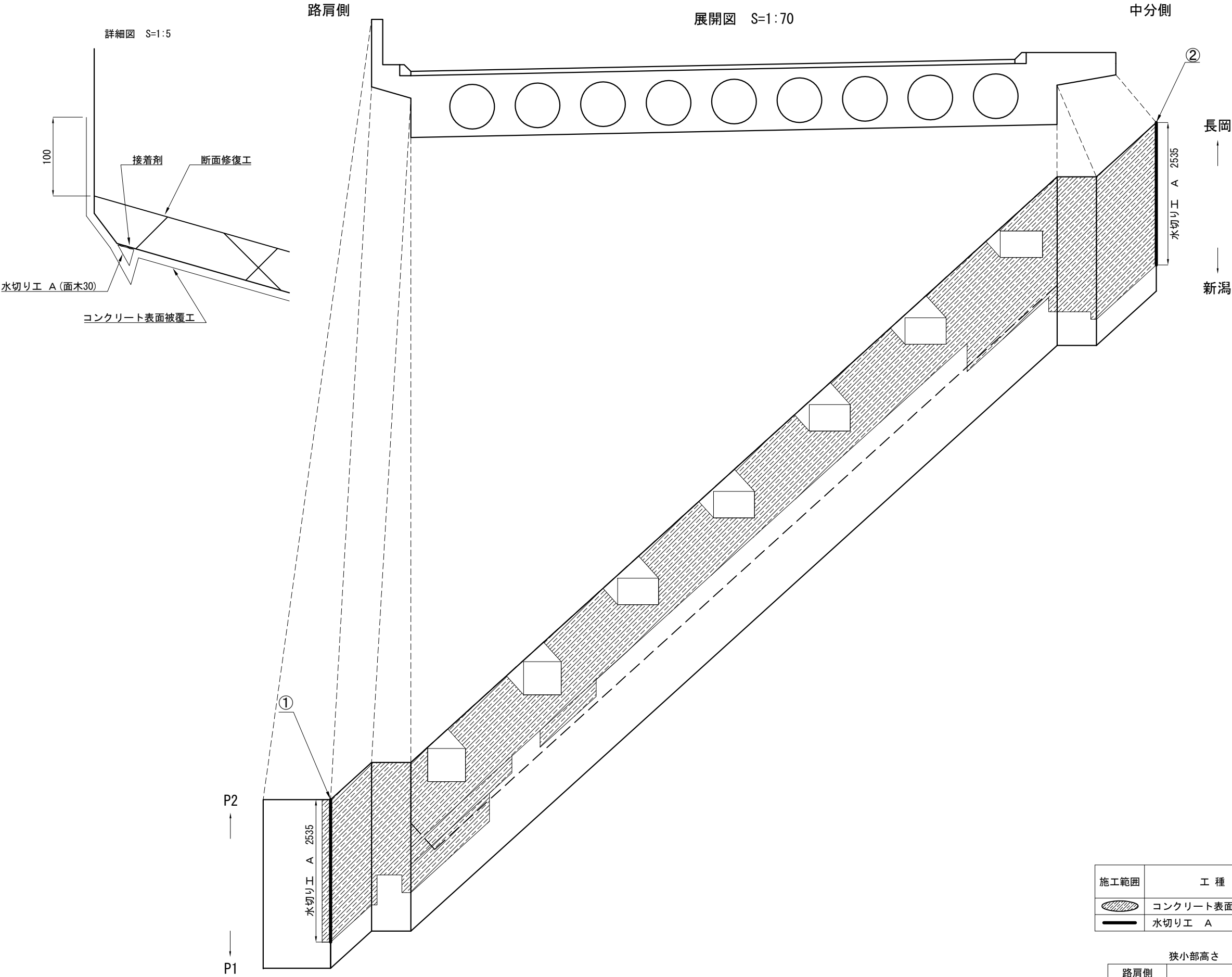
狭小部高さ	
路肩側	260 mm
中分側	290 mm

□ □ □ 狭小部範囲

型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	国見橋 表面保護工 上り線 P 2		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

国見橋 水切り工
上り線 P 2



水切り工 A		
番号	箇所	数量(m)
①	張出下面	2.5
②	張出下面	2.5
	計	5.0

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	水切り工 A

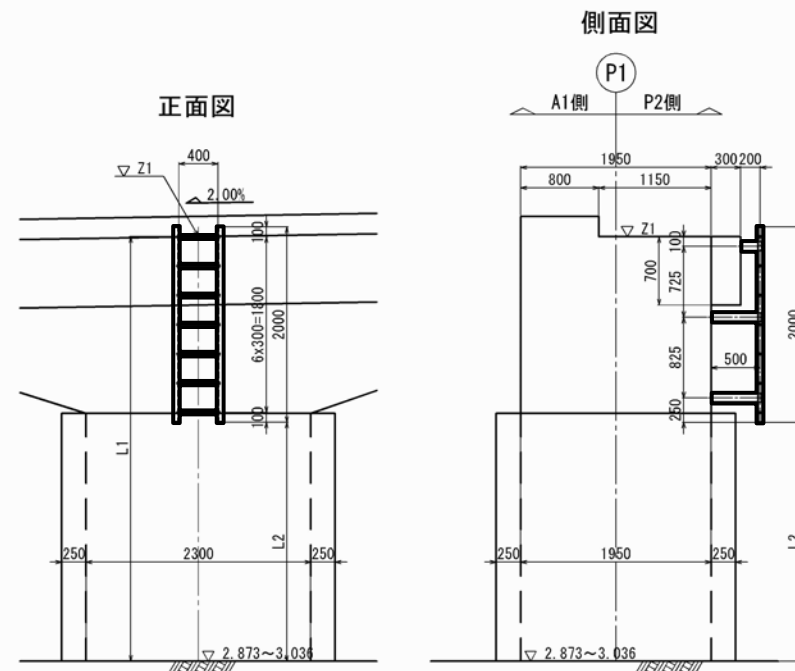
狭小部高さ	
路肩側	260 mm
中分側	290 mm

□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純RC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	国見橋 水切り工 上り線 P 2		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

国見橋 検査路撤去再設置工
上り線 P2 下り線 P1

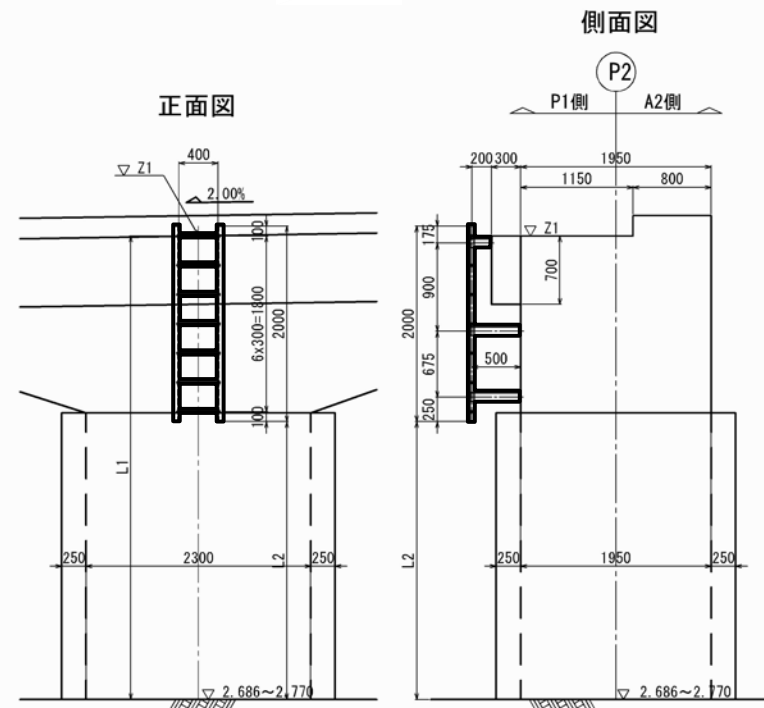
上下線 P1 橋脚 S=1:30



梯子
2-L 50x50x6x2000
7-RB φ22x430
梯子支持金具
4-FB 90x6x618
2-FB 90x6x318
6-打込み式アンカー M16x125

	P1L-B	P1R-B	P1L-A	P1R-A
Z1	7.471	7.611	7.610	7.488
L1	4435	4665	4710	4615
L2	2535	2765	2810	2715

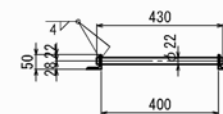
上下線 P2 橋脚 S=1:30



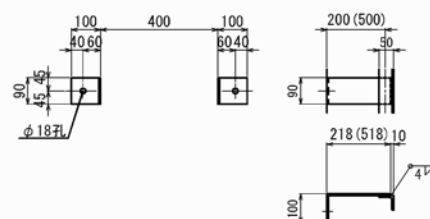
梯子
2-L 50x50x6x2000
7-RB φ22x430
梯子支持金具
4-FB 90x6x618
2-FB 90x6x318
6-打込み式アンカー M16x125

	P2L-B	P2R-B	P2L-A	P2R-A
Z1	7.521	7.661	7.658	7.540
L1	4835	4970	4905	4770
L2	2935	3070	3005	2870

梯子断面 S=1:10



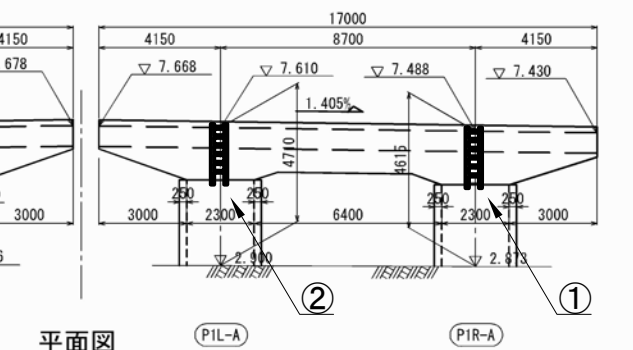
支持金具 S=1:10



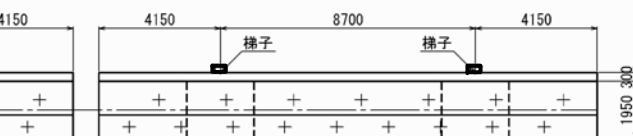
P1 橋脚 S=1:100

1 - 1

正面図



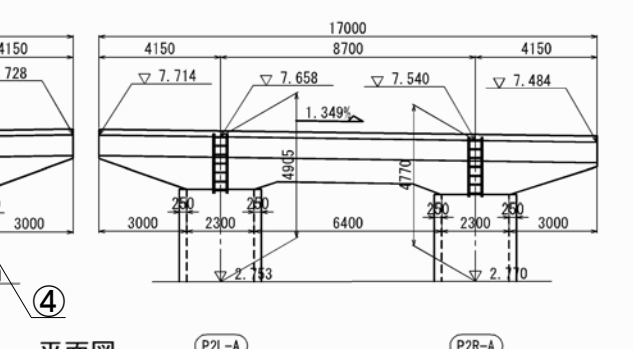
平面図



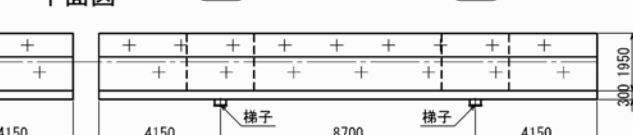
P2 橋脚 S=1:100

2 - 2

正面図



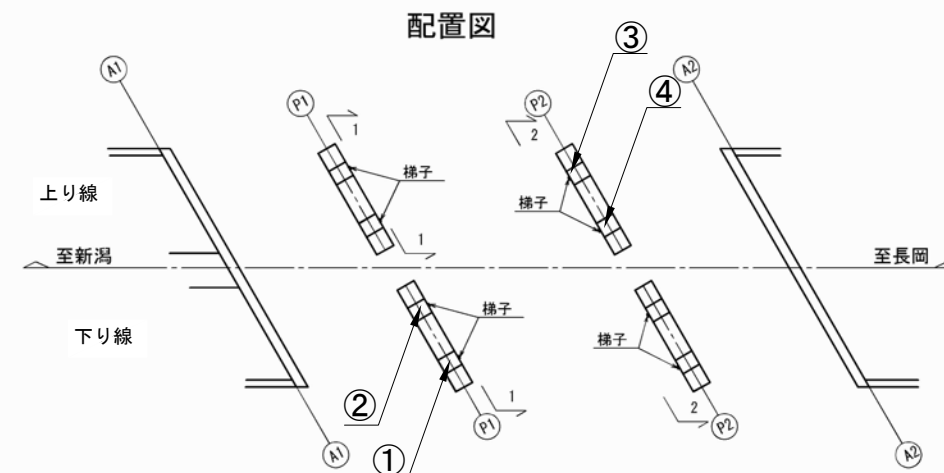
平面図



検査路撤去再設置工 C

番号	箇所	数量(箇所)	数量(kg)
①	橋脚	1.0	39.9
②	橋脚	1.0	39.9
③	橋脚	1.0	39.9
④	橋脚	1.0	39.9
	計	4.0	159.6

配置図



北陸自動車道 R8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	国見橋 検査路撤去再設置工 上り線 P2 下り線 P1		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

国見橋 排水管撤去設置工
下り線 P1ーP2

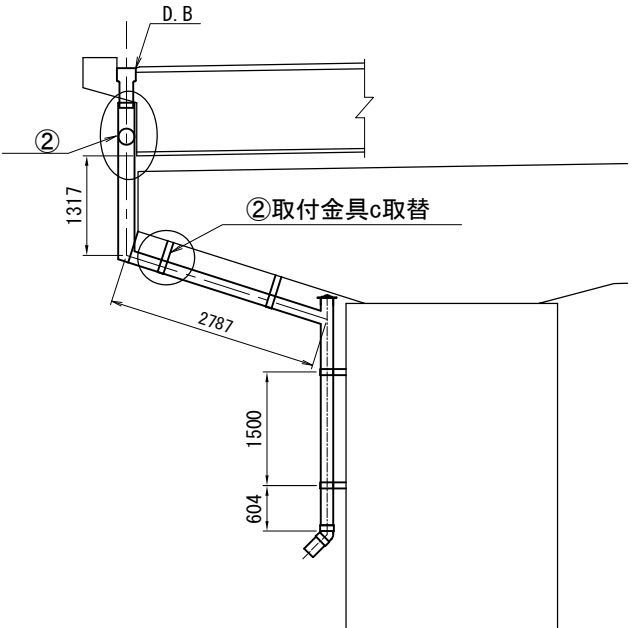
排水管撤去設置工 B

番号	箇所	数量(箇所)
①	張出下面	1.0
②	床版側面	1.0
	計	2.0

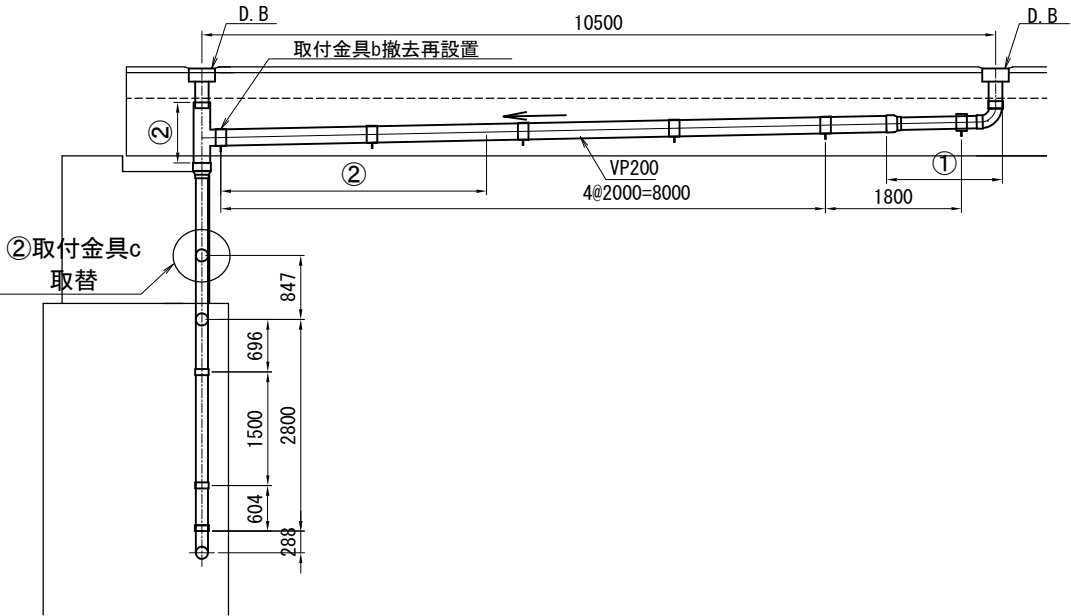
使用材料

番号	種別	規格	単位	数量	撤去	処分	設置材料	
							既設	新品
①	流水延長		m	1.3				
	チーズ管	VP200	個	1	○	○		
	直管	VP200	m	1.0	○	○		
	取付金具a	VP200	個	1	○	○		○
	ホールインアンカー	M12×70	本	2				○
	インクリーザー	200×150Φ	個	1				○
	エルボ管	VP150	個	1				○
	直管	VP150	m	1.0				○
②	流水延長		m	4.6				
	直管	VP200	m	3.5	○		○	
	取付金具b	VP200	個	1	○		○	
	ホールインアンカー	M12×70	本	2				○
	チーズ管	VP200	個	1	○	○		○
	取付金具c	VP150	個	1	○	○		○
	ホールインアンカー	M12×70	本	2				○

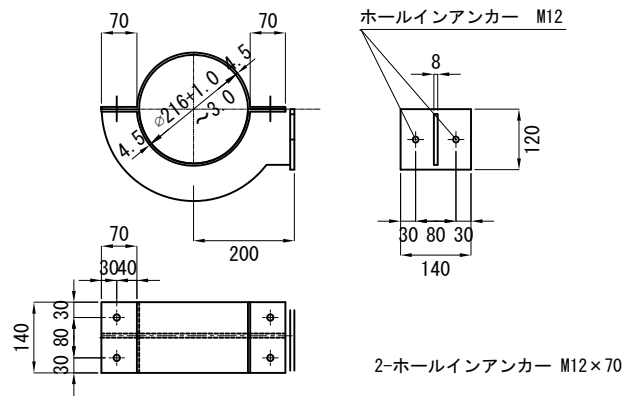
正面図 1:100



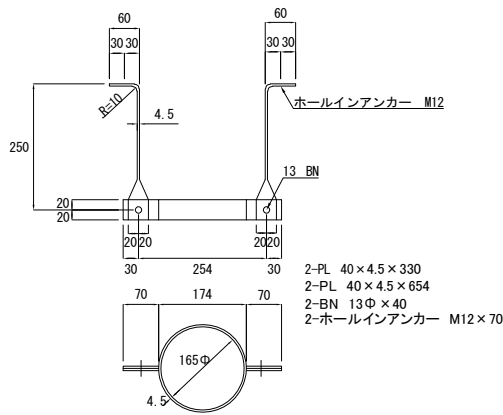
側面図 1:100



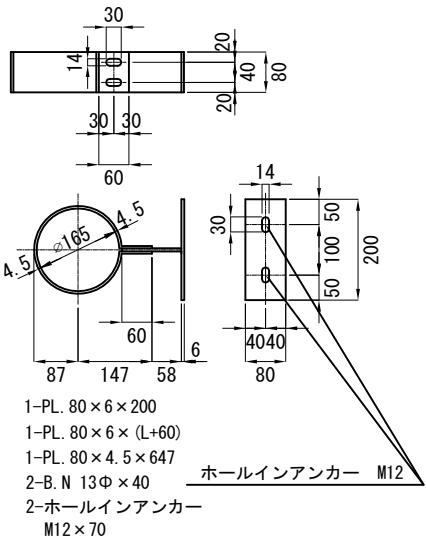
取付金具b S=1:15



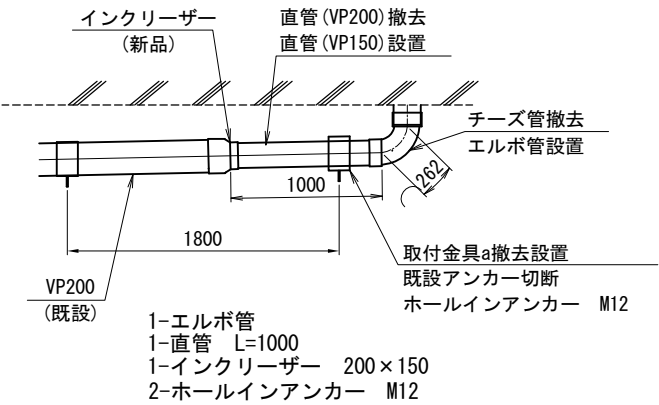
取付金具c S=1:15



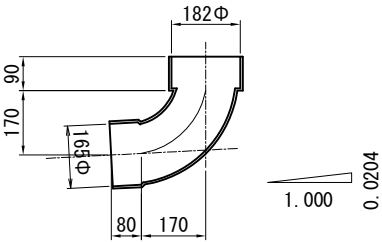
取付金具a S=1:15



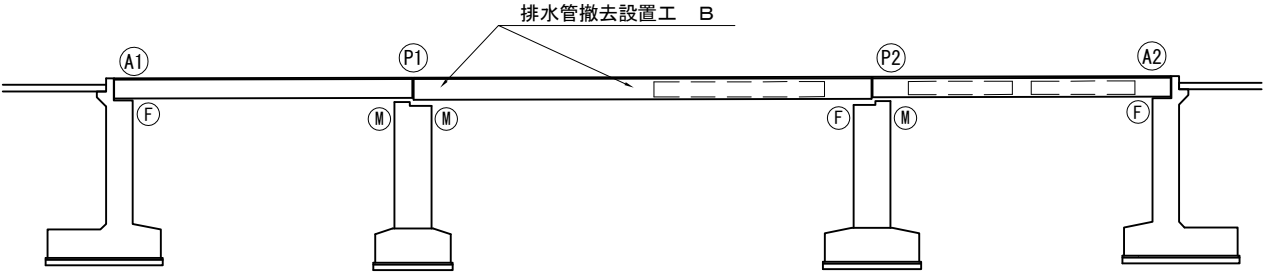
① S=1:50



エルボ管 S=1:20

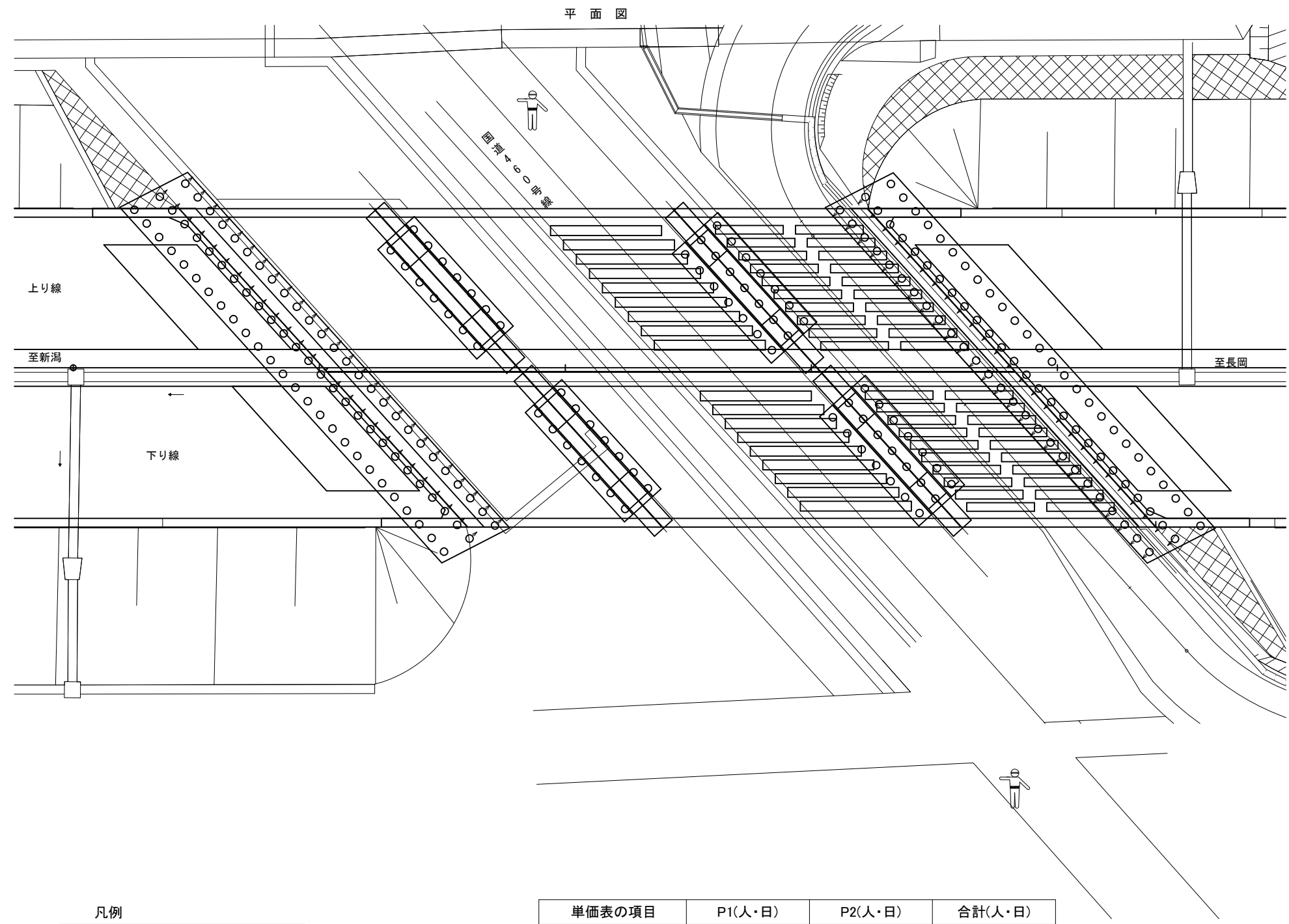


- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛メッキを施す。
亜鉛の膜厚は、JIS H 8641のHDZT77とする。
但し、ボルト、ナットはHDZT49とする。
 - 実際の製作、施工寸法は本図面を基に、
現場実測結果と照合した上で決定すること。
 - 取付け金具のボルトまたはナットはゆるみ
止め構造とする。



北 陸 自 動 車 道 R 8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	国見橋 排水管撤去設置工 下り線 P1ーP2		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

国見橋 交通保安要員
上り線 下り線 P 1—P 2



凡例

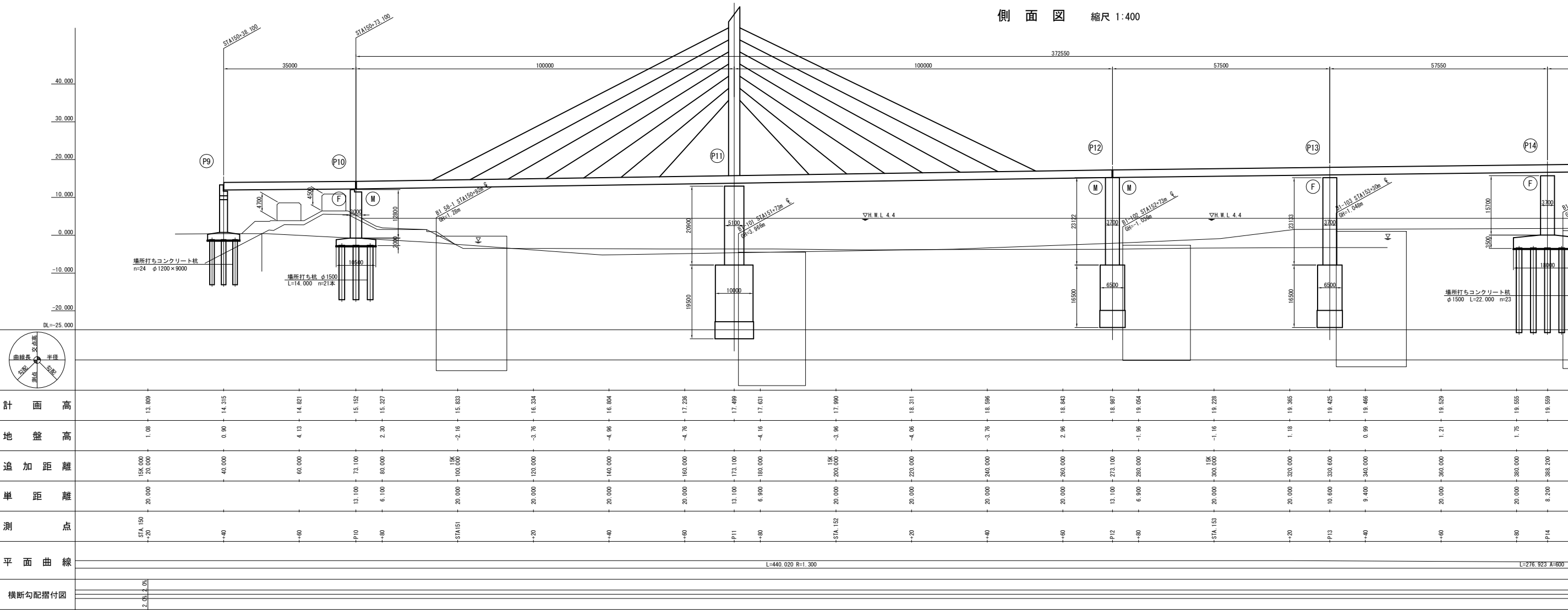
	交通保安要員
--	--------

単価表の項目	P1(人・日)	P2(人・日)	合計(人・日)
交通誘導警備員B1	18	10	28
交代要員	9	5	14

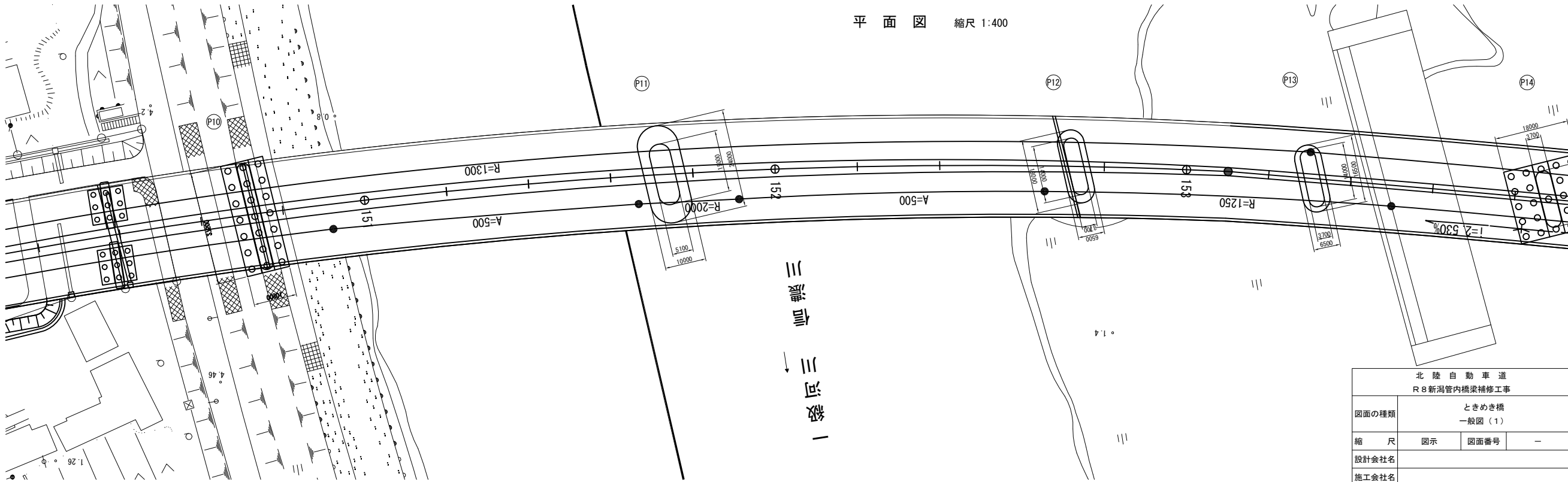
※1 交通保安要員の配置期間は、固定足場の設置撤去および
検査路撤去再設置工の施工期間とする。
※2 交通誘導警備員B 1の休憩時の交代要員は1名とする。
※3 交通誘導警備員B 1の数量を検測数量として扱うものとする。

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	国見橋 交通保安要員 上り線 下り線 P 1—P 2		
縮 尺	1:400	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

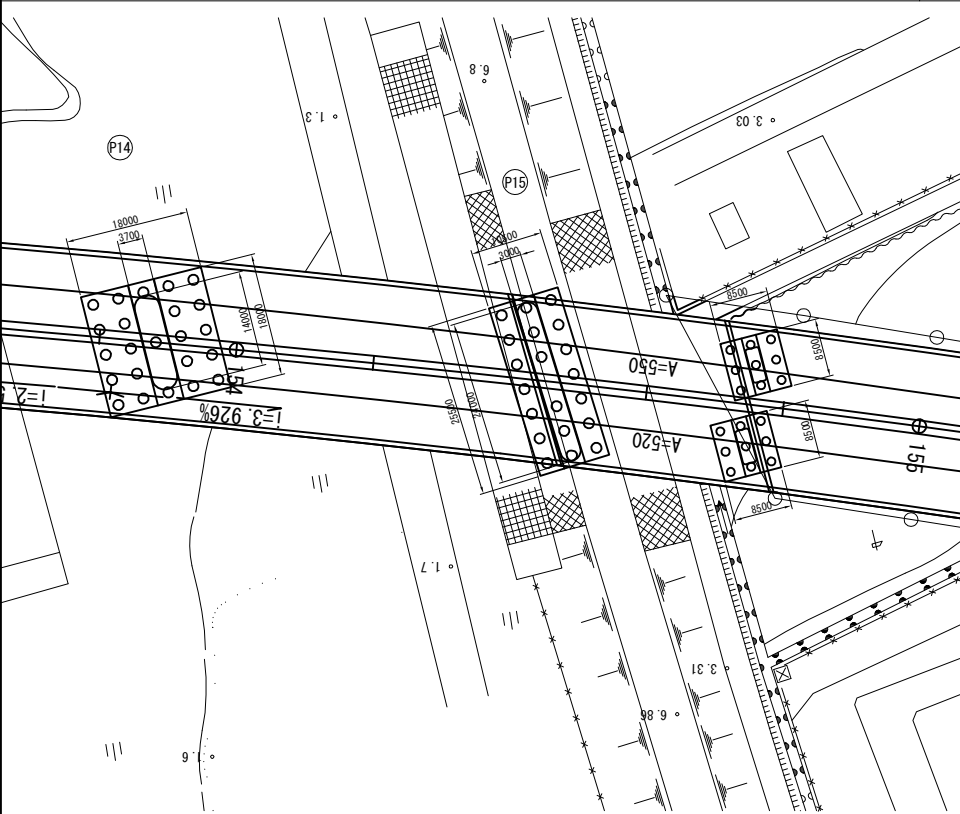
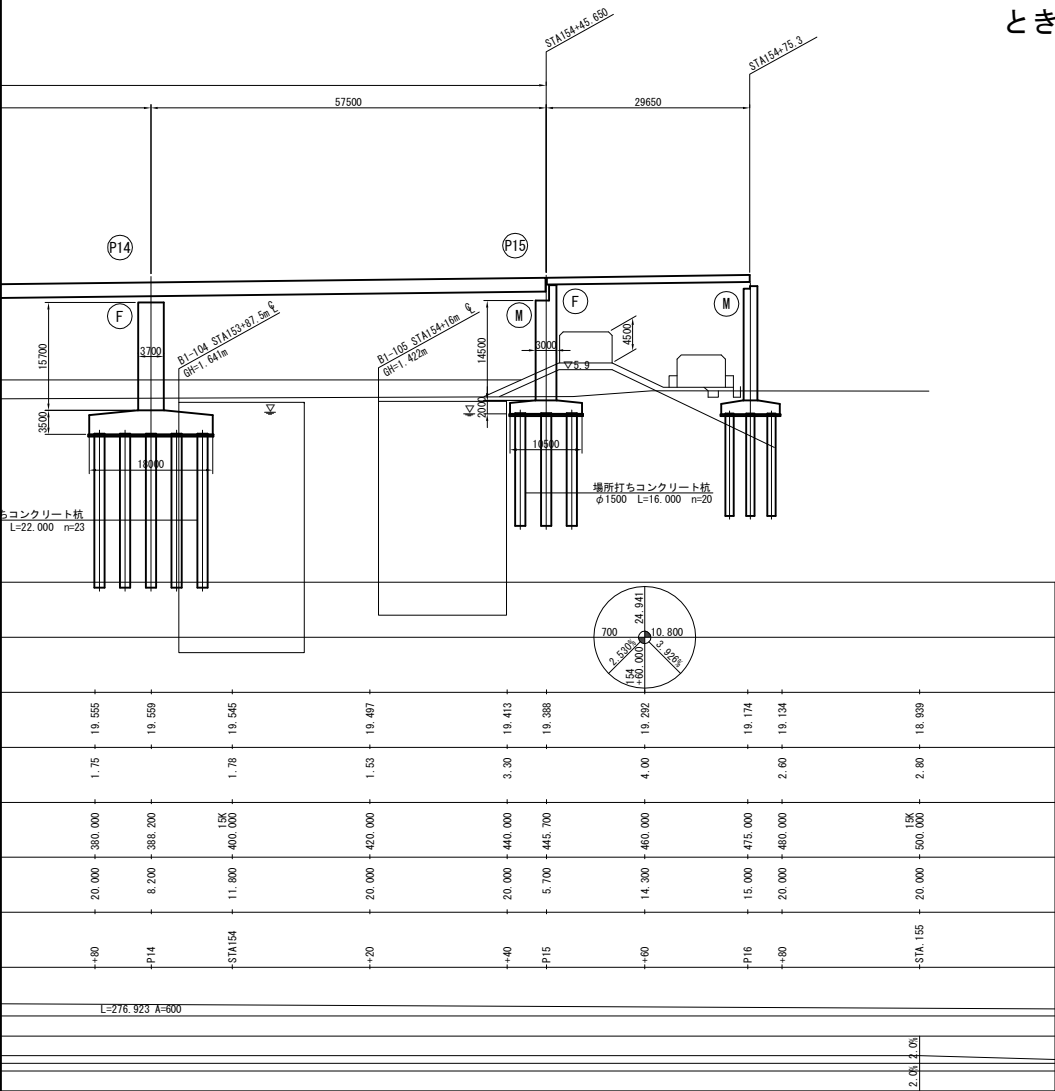
側面図 縮尺 1:400



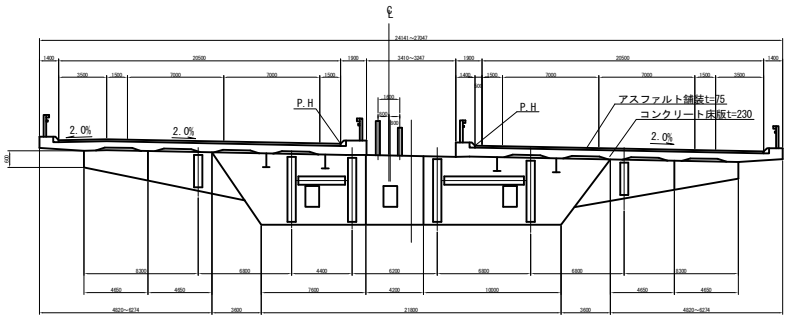
平面図 縮尺 1:400



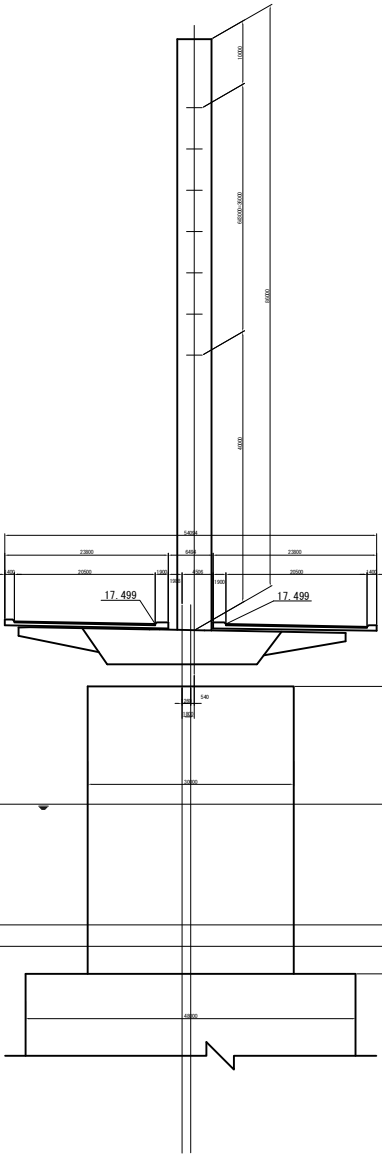
ときめき橋 全体一般図



主桁標準横断面図 縮尺 1:100

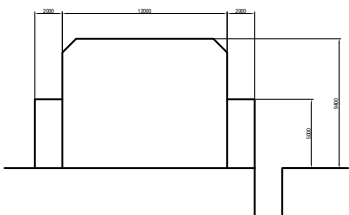


橋脚

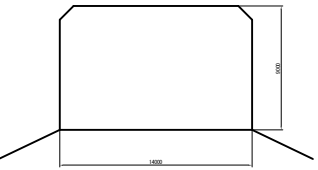


断面図 縮尺 1:200

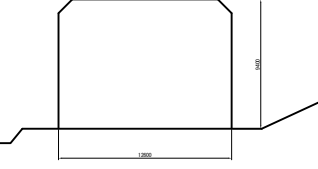
堤付道路



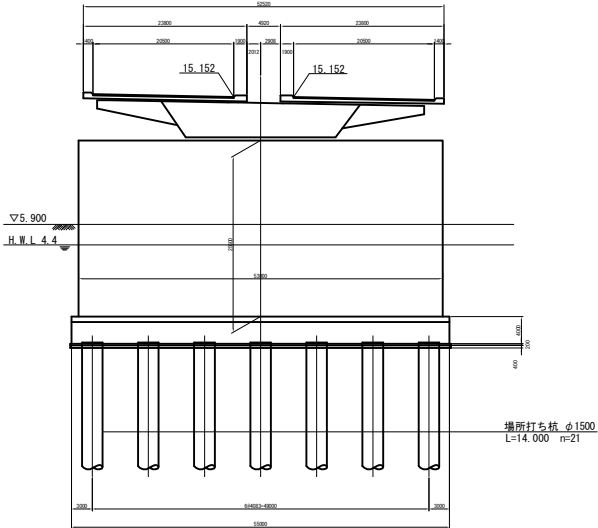
管理用道路



新潟・小須戸・三条線

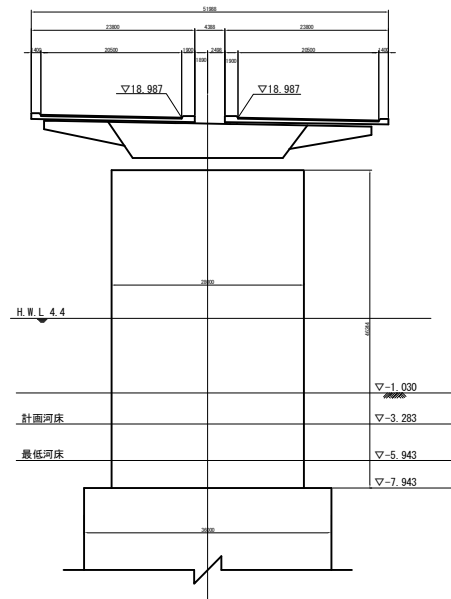


橋脚

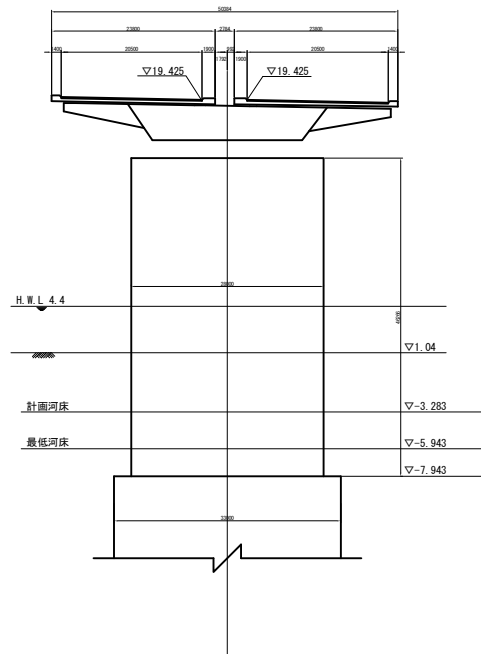


北 陸 自 動 車 道 R 8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	ときめき橋 一般図（2）		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

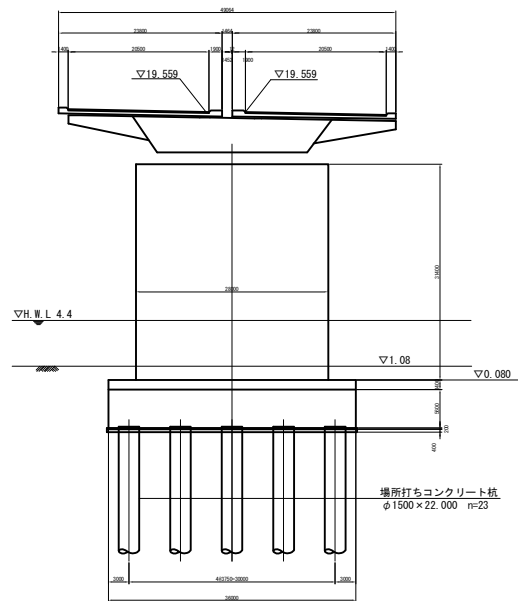
⑫ 橋 脚



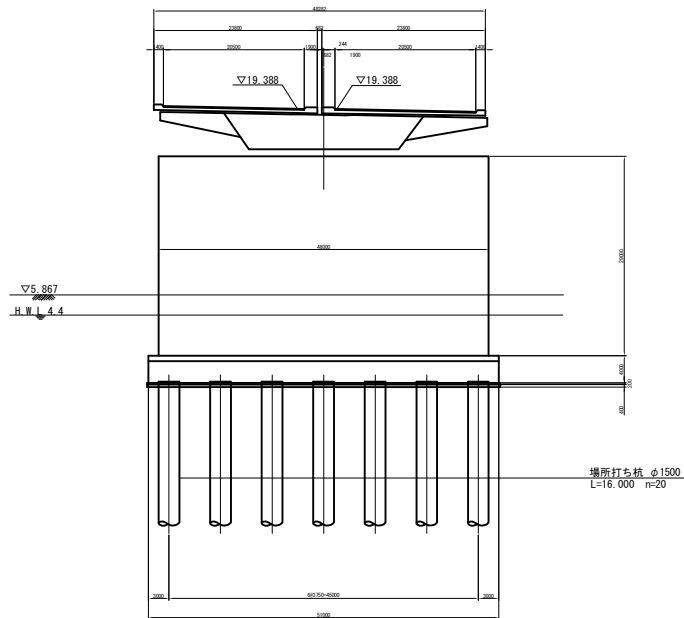
⑬ 橋 脚



⑭ 橋 脚



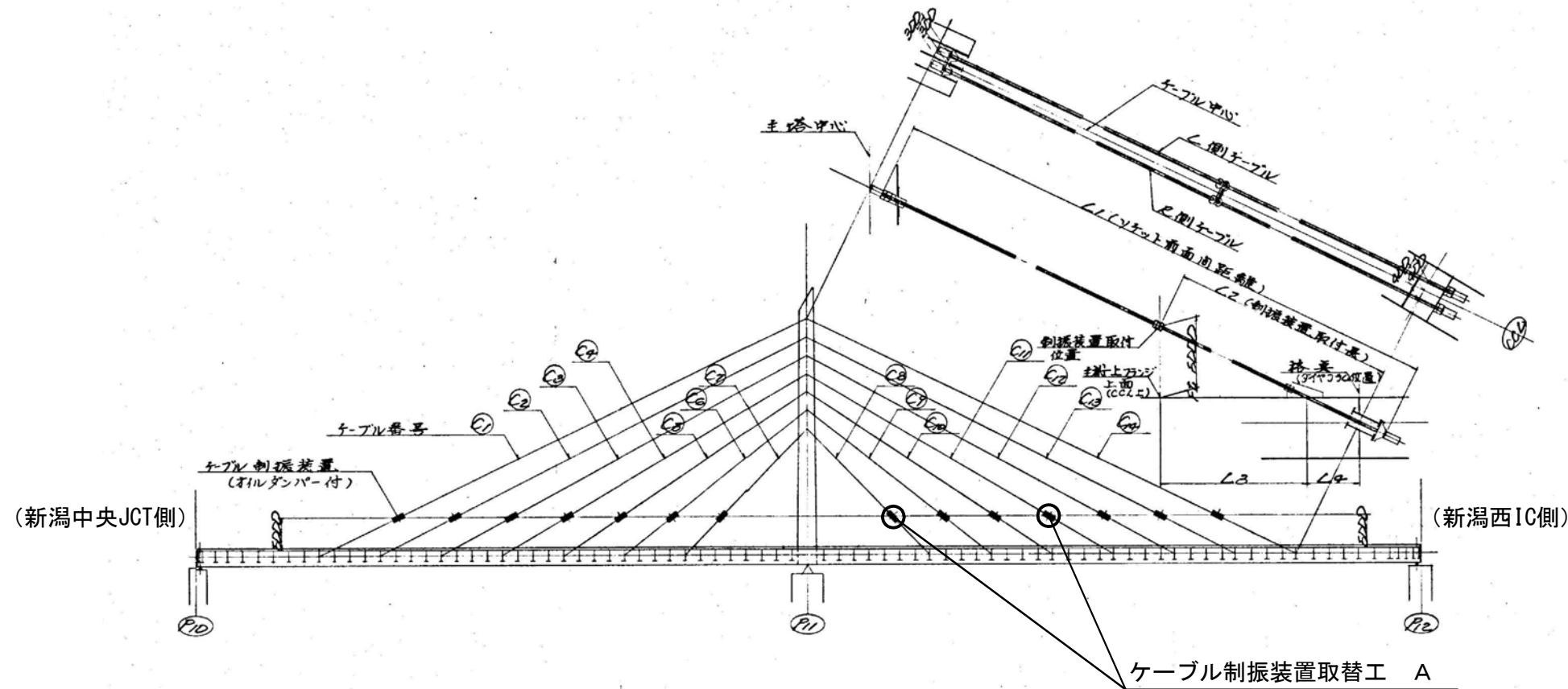
⑮ 橋 脚



設 計 条 件	
橋 長	372. m50
道 路 規 格	1種2級B'
荷 重	TL-20, TT-43
型 式	1柱斜張橋(鋼)
支 間	100. m00 + 100. m00 + 57. m55 + 57. m50
有 効 幅 員	10. 250 + 10. 250 斜 角 66° ~ 84°
横 断 勾 配	2. 0%
縦 断 勾 配	2. 53%
地 震 係 数	KH=0. 2
鋼 材	SM58 SM50Y SS41
コ ン ク リ ー ト	下部工 δ ck=240kg/cm2
鉄 筋	SD35
適 用 示 方 書	道路橋示方書同解説

北 陸 自 動 車 道 R 8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	ときめき橋 一般図（3）		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

ときめき橋 ケーブル制振装置取替工
P11-P12



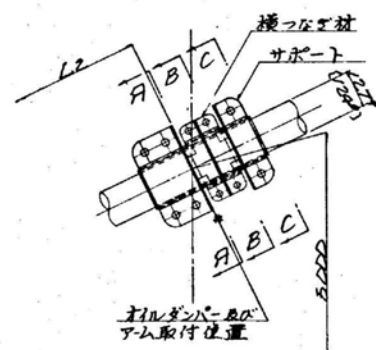
寸法表
L1, L2寸法はCCL上(ケーブル中心上)寸法を示す。

ケーブル番号	N.PWS外径	L1	L2	L3	L4	B1	B2
C1	127	89 910	14 181	10 615	2 062	768	104
C2	127	79 527	18 552	10 025	1 854	765	102.5
C3	127	69 184	12 832	9 343	1 830	762	101
C4	・	58 916	11 988	8 532	1 681	759	99.5
C5	・	48 727	10 984	7 542	1 496	754	97
C6	・	38 713	9 815	6 341	1 268	748	94
C7	・	28 978	8 448	4 815	971	740	90
C8	・	28 452	8 283	4 777	1 008	740	90
C9	・	38 015	9 629	6 275	1 331	748	94
C10	・	47 883	10 786	7 451	1 586	754	97
C11	・	57 841	11 781	8 416	1 794	759	99.5
C12	127	68 080	12 620	9 205	1 964	762	101
C13	127	78 301	13 346	9 876	2 108	765	102.5
C14	127	88 567	13 997	10 470	2 234	768	104

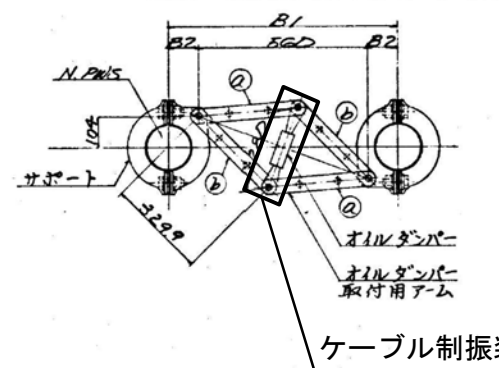
ケーブル制振装置取替工 A

箇所	数量(箇所)
P11-P12	2.0

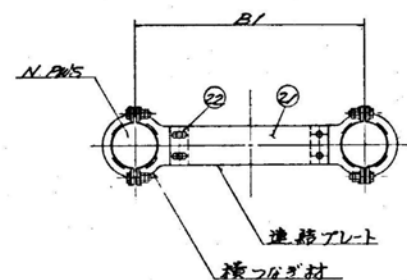
組立図 6.110
()内はC3~C12を示す



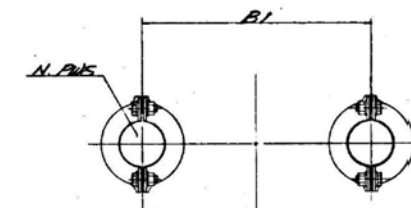
A-A
左組立図の※印箇所の取付位置とする。



B-B

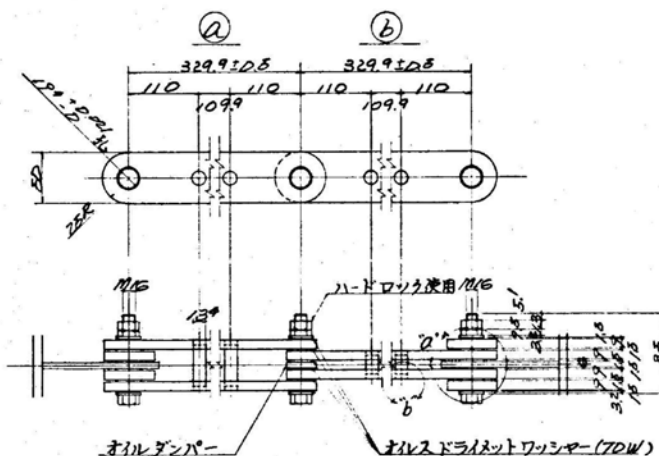


C-C

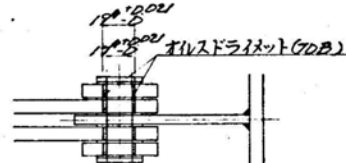


- 注 記)
1. 括弧付き材質は全てSUS304とする。
 2. オイルダンパー取付用アームの設置箇所はアームの向きに注意すること。

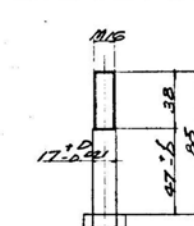
オイルダンパー取付用アーム 6.113



a'部詳細 6.112



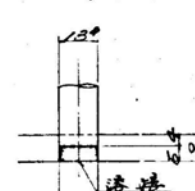
取付ボルト 6.112



1組当り材料 (製作数 14組)

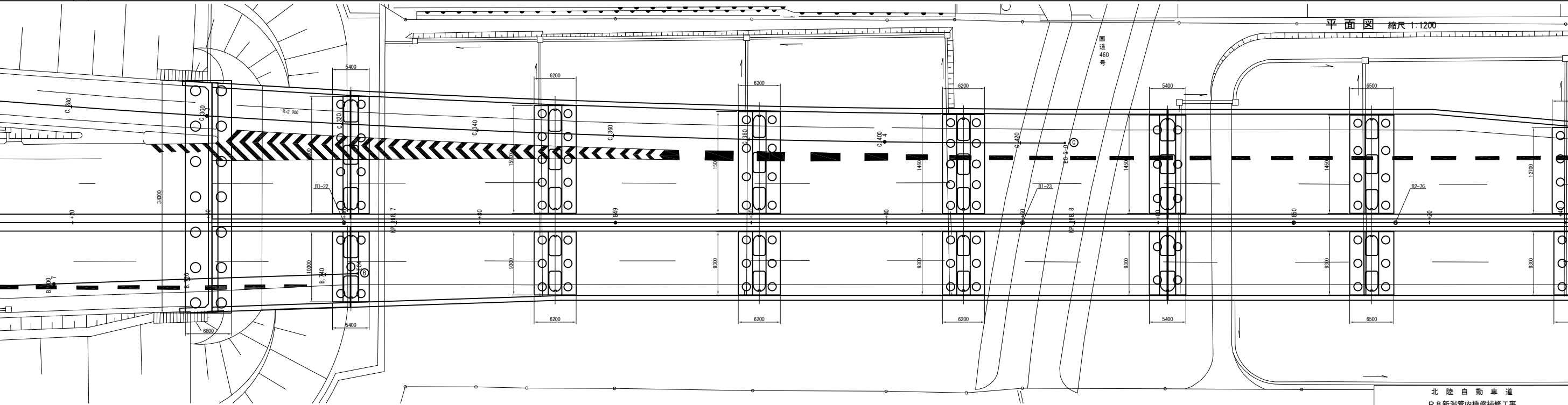
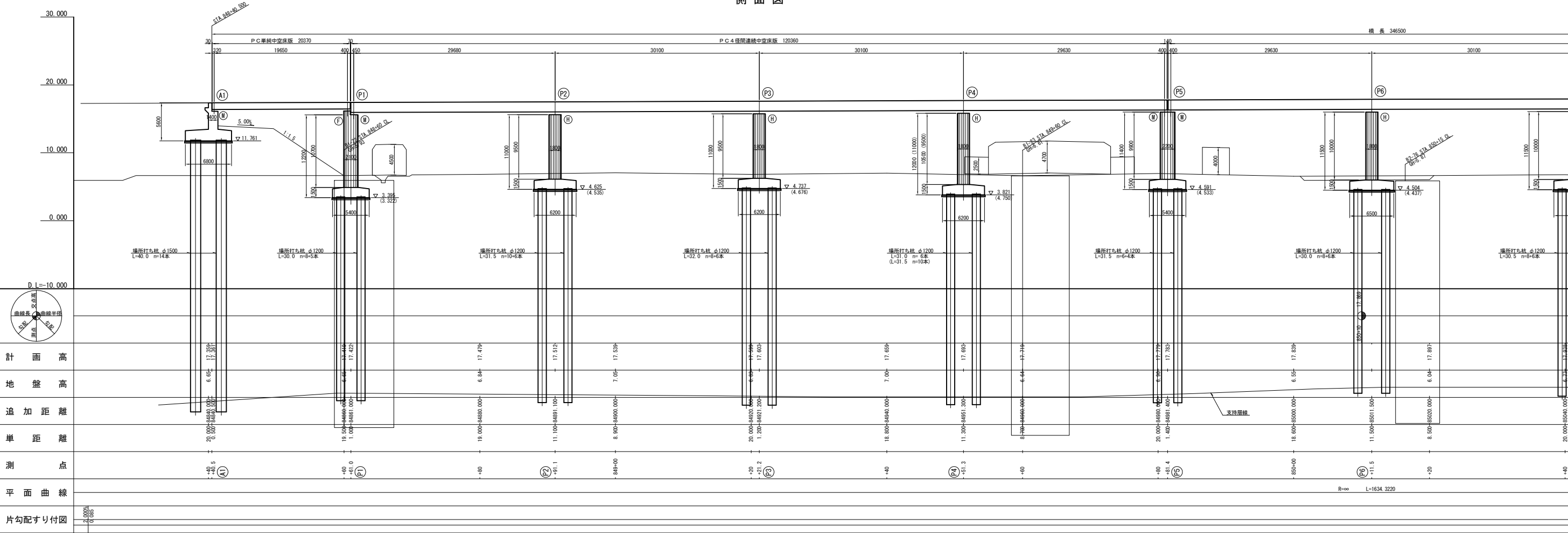
- 8-FB 50 x 9 x 380
- 4-RB 13 x 38
- 4-RB 13 x 17
- 16-オイルドライレット(TDW) 18 x 17 x 9 mm
- 24- 7434-(TDW) 8 x 1.5 mm (30 x 17 x)
- 4-Pin 17 x (M16) x 85
- 4-ハドロー M16
- 8-washer M16 (L. 3.2 mm)

b'部詳細 6.111



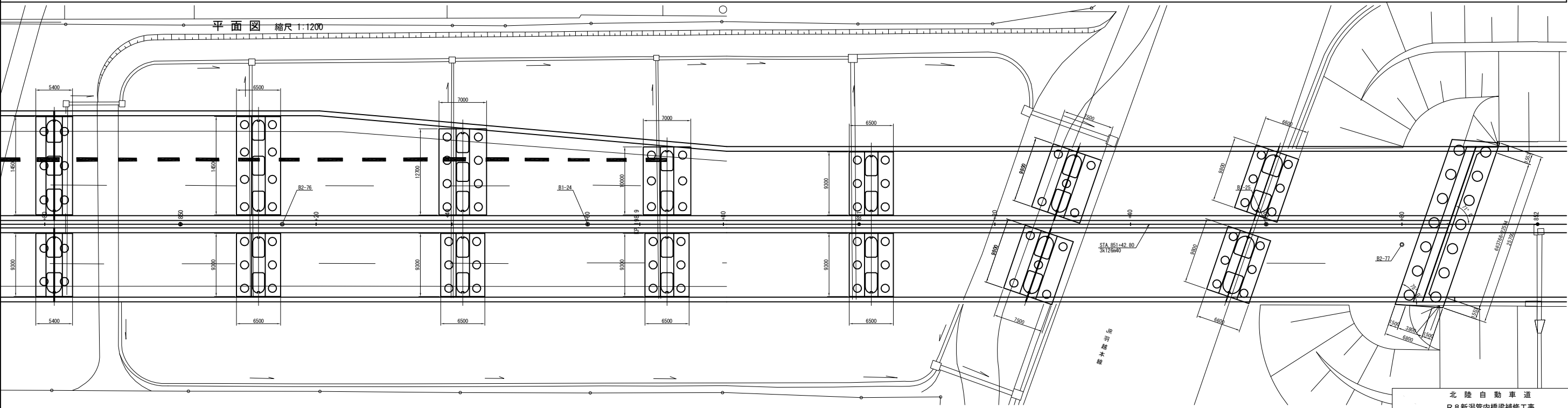
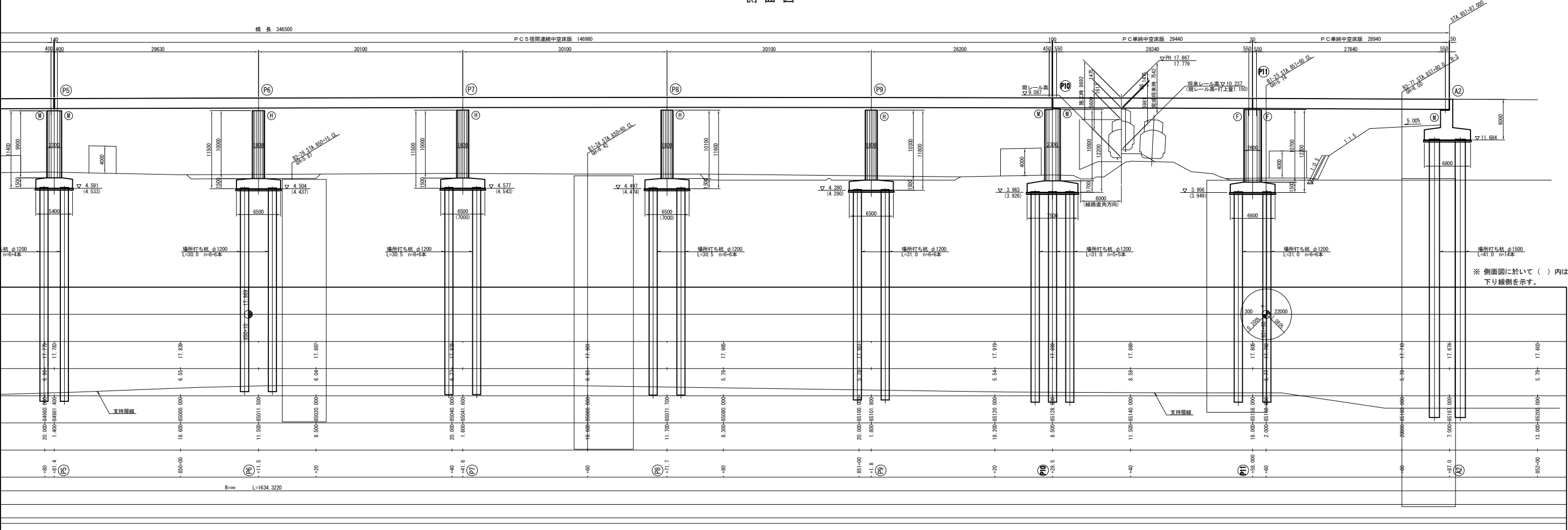
北 陸 自 動 車 道 R8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	ときめき橋 ケーブル制振装置取替工 P11-P12		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

側面図



北陸自動車道 R 8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	新津高架橋 一般図 (1)		
縮尺	1:1200	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

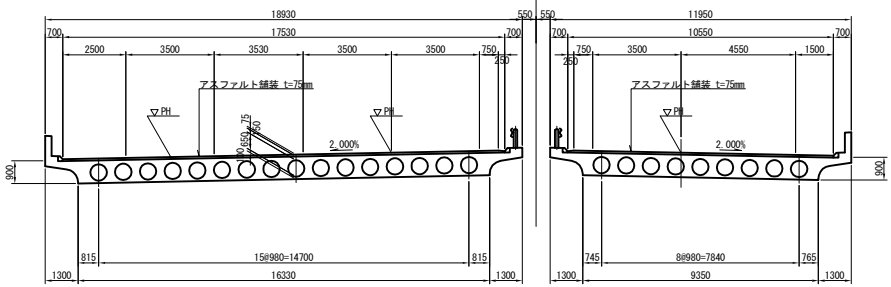
側面図



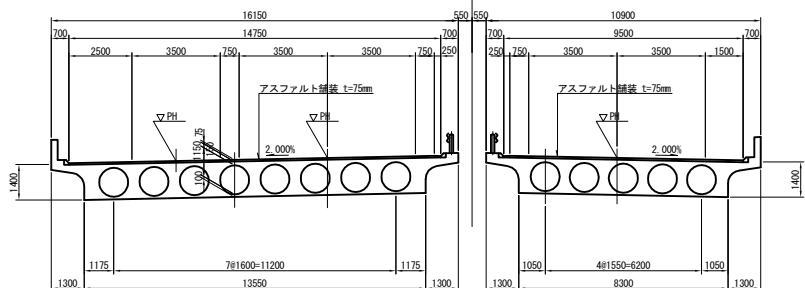
北 陸 自 動 車 道			
R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	新津高架橋 一般図 (2)		
縮 尺	1:1200	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

標準断面図

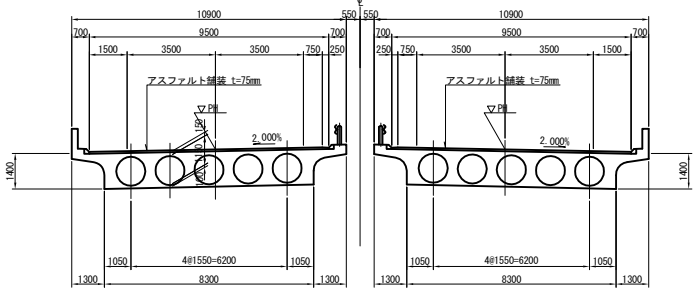
P C 中空床版部 (A1) ~ (P1)



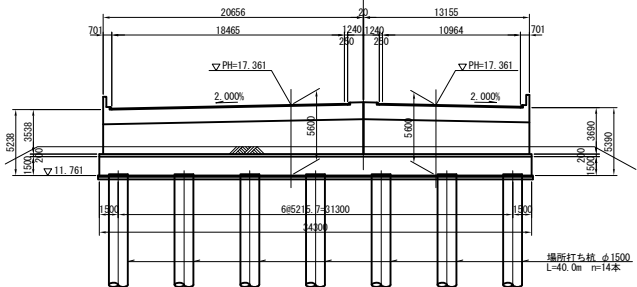
P C 中空床版部 (P1) ~ (P10)



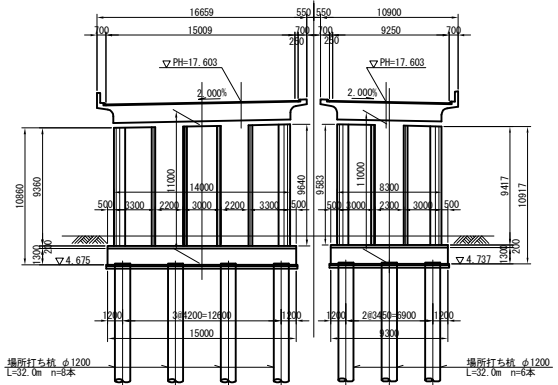
P C 中空床版部 (P10) ~ (A2)



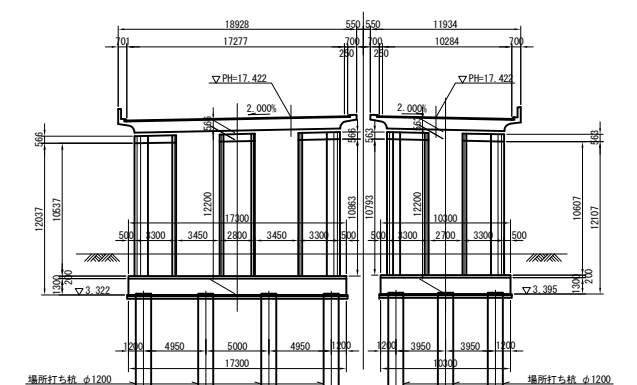
A1橋台



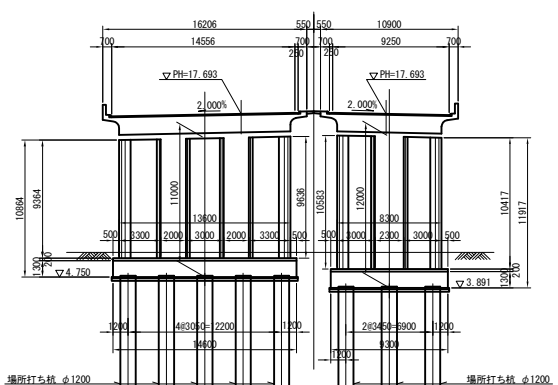
P3橋脚



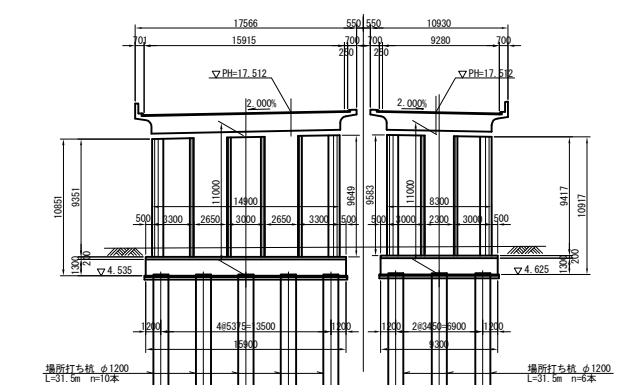
P1橋脚



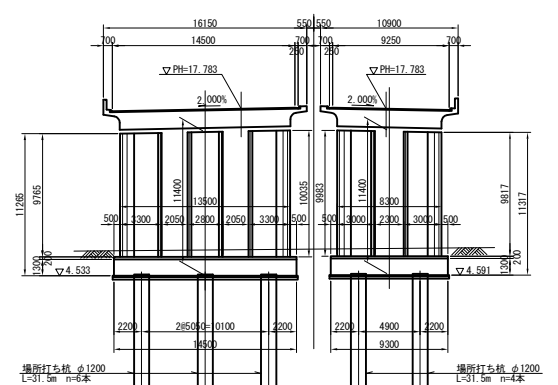
P4橋脚



P2橋脚



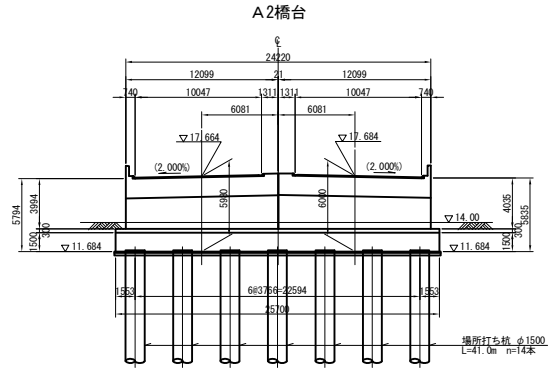
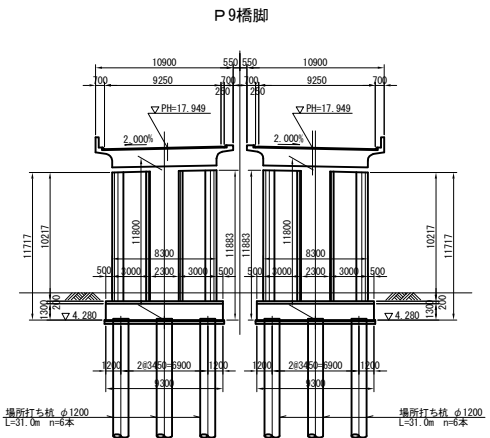
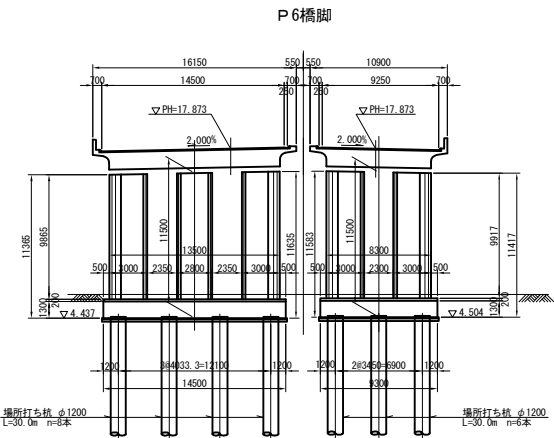
P5橋脚



平・7マ第 4 号 4/5

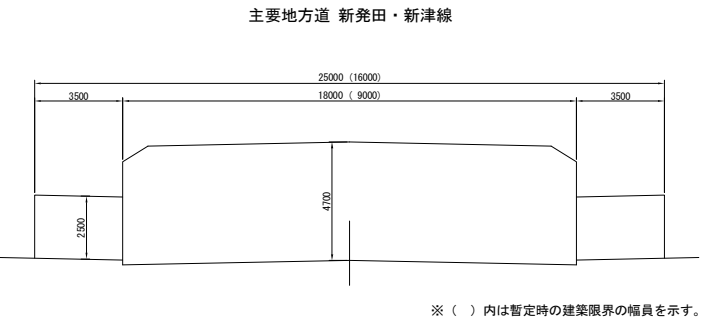
北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	新津高架橋 一般図 (3)		
縮 尺	1:600	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

下部工横断面図 縮尺 1:1200

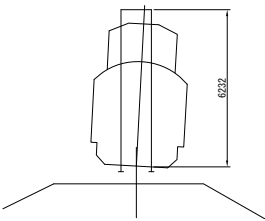


設 計 条 件			
橋 長	346.500m	桁 長	図 示
道 路 区 分	1種2級B規格		
荷 重	TL-20、TT-43		
型 式	図 示		
支 間	図 示		
有 効 幅 員	18.750m~9.250m		
斜 角	90°、左71° P10、P11、A2		
横 断 勾 配	2.000% 2.000%		
縦 断 勾 配	0.300% 1.090%		
震 度	KH=0.26 KV=±0		
使 用 材 料	コンクリート	$\sigma_{ck}=240\text{kg/cm}^2$, $\sigma_{sk}=350\text{kg/cm}^2$, $\sigma_{sk}=400\text{kg/cm}^2$	
	鉄 筋	SD345	
	P C 鉄 筋	SWPR7A	
	コンクリート	$\sigma_{ck}=240\text{kg/cm}^2$	
下 部 工	鉄 筋	SD345	
	適 用 示 方 書	道路橋示方書・同解説（平成2年2月）	

交 差 条 件 縮尺 1:600

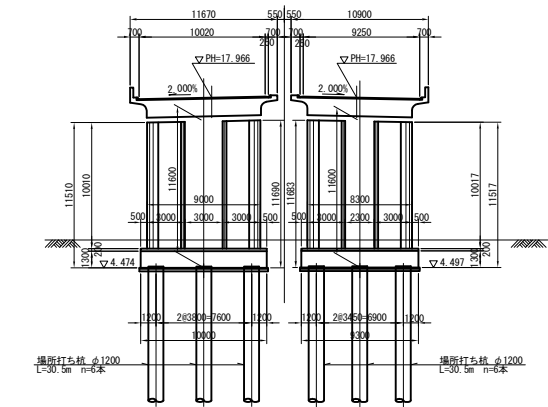


J R 羽越本線

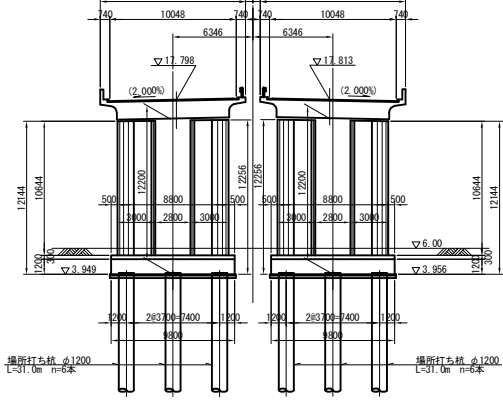


※（ ）内は暫定時の建築限界の幅員を示す。

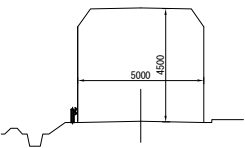
P8橋脚



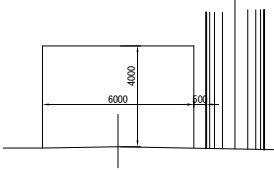
P11橋脚



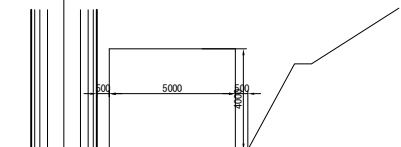
市道中新田15号線



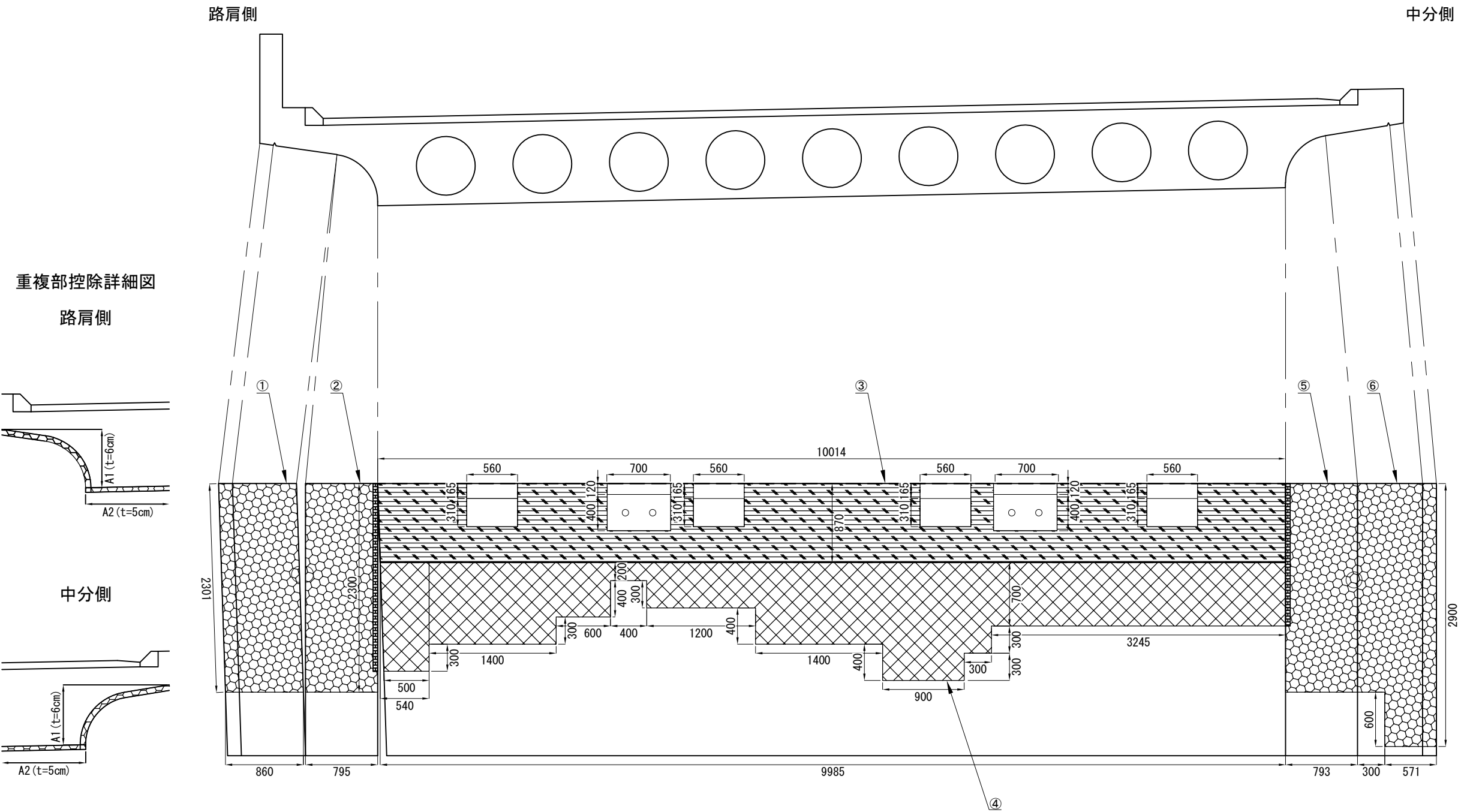
農道 (STA. 851+24.0) 付近



農道 (STA. 851+63.0) 付近

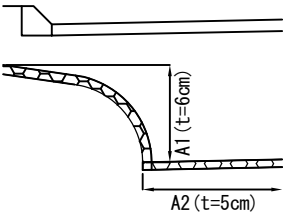


北 陸 自 動 車 道			
R 8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	新津高架橋 一般図（４）		
縮 尺	図 示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

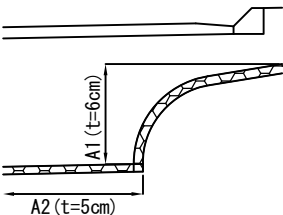


重複部控除詳細図

路肩側



中分側



コンクリートはつりエ A1 (t=5cm)

断面修復工 A1a (t=5cm)

番号	箇所	数量(m ²)
④	床版下面	7.9

コンクリートはつりエ A1 (t=6cm)

断面修復工 A1a (t=6cm)

番号	箇所	数量(m ²)
①	張出下面	2.0
②	床版側面	1.7
⑤	床版側面	1.7
⑥	張出下面	2.3
計		7.7

コンクリートはつりエ A2 (t=5cm)

断面修復工 A2a (t=5cm)

番号	箇所	数量(m ²)
③	床版下面	6.9

〇 〇 〇 狭小部範囲

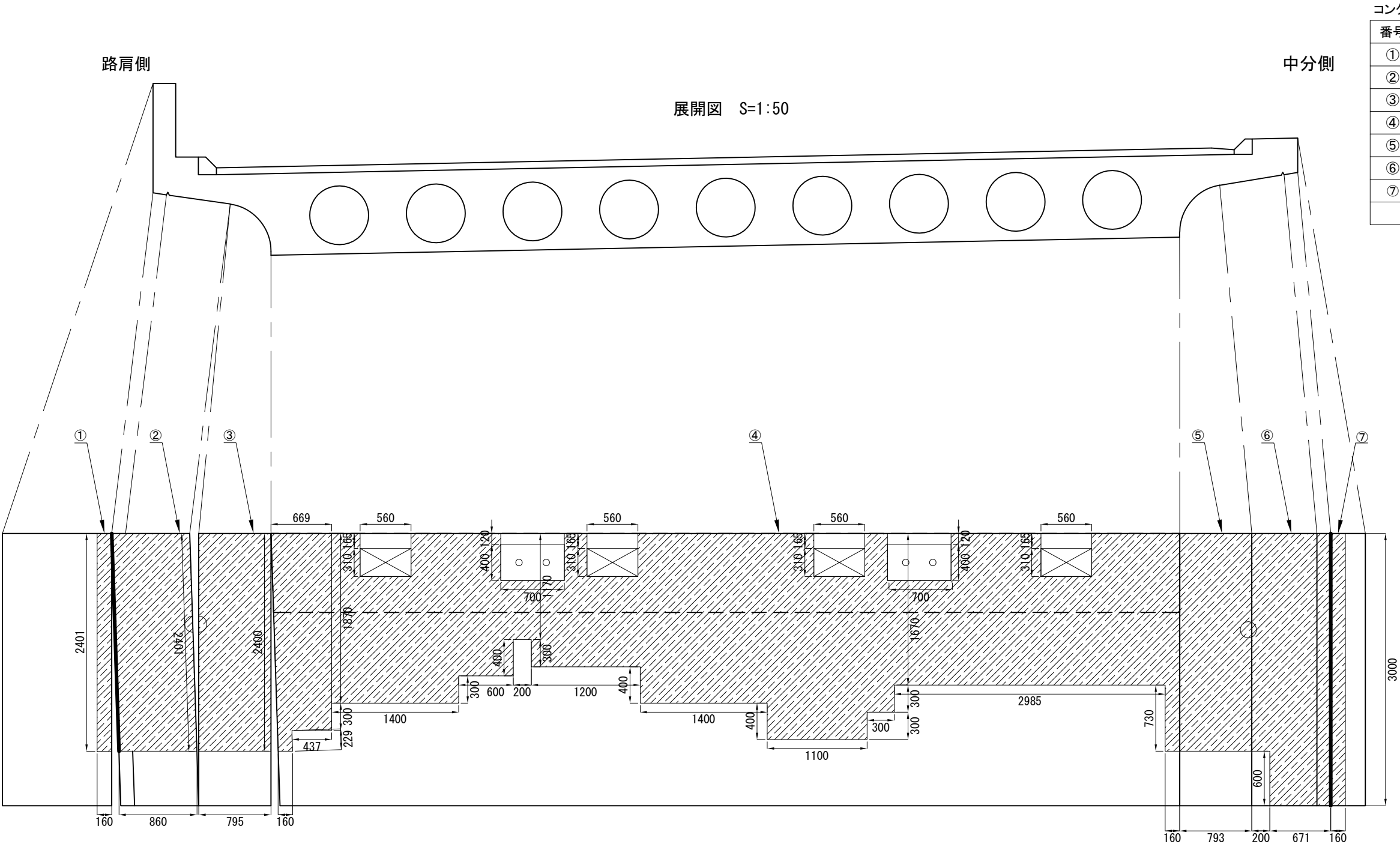
型式：単純PC中空床版

狭小部高さ

路肩側	280 mm
中分側	300 mm

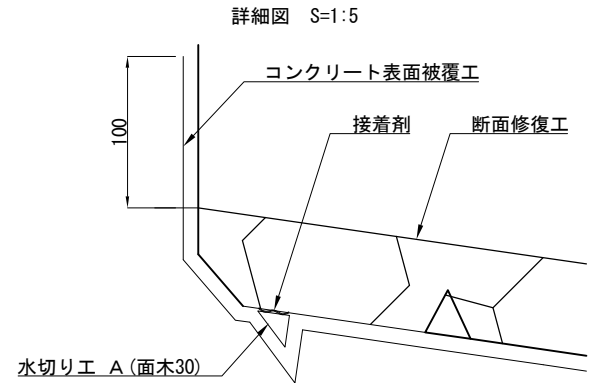
施工範囲	コンクリートはつりエ	断面修復工
〇	A1 (t=5cm)	A1a (t=5cm)
〇	A1 (t=6cm)	A1a (t=6cm)
〇	A2 (t=5cm)	A2a (t=5cm)
●	重複部	

北 陸 自 動 車 道 R 8 新湊管内橋梁補修工事			
図面の種類	新津高架橋 コンクリートはつりエ、断面修復工 上り線 A 1		
縮 尺	1:50	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		



コンクリート表面被覆工

番号	箇所	数量(m ²)
①	高欄側面	0.4
②	張出下面	2.1
③	床版側面	1.9
④	床版下面	15.3
⑤	床版側面	1.9
⑥	張出下面	2.5
⑦	高欄側面	0.5
	計	24.6



狭小部高さ

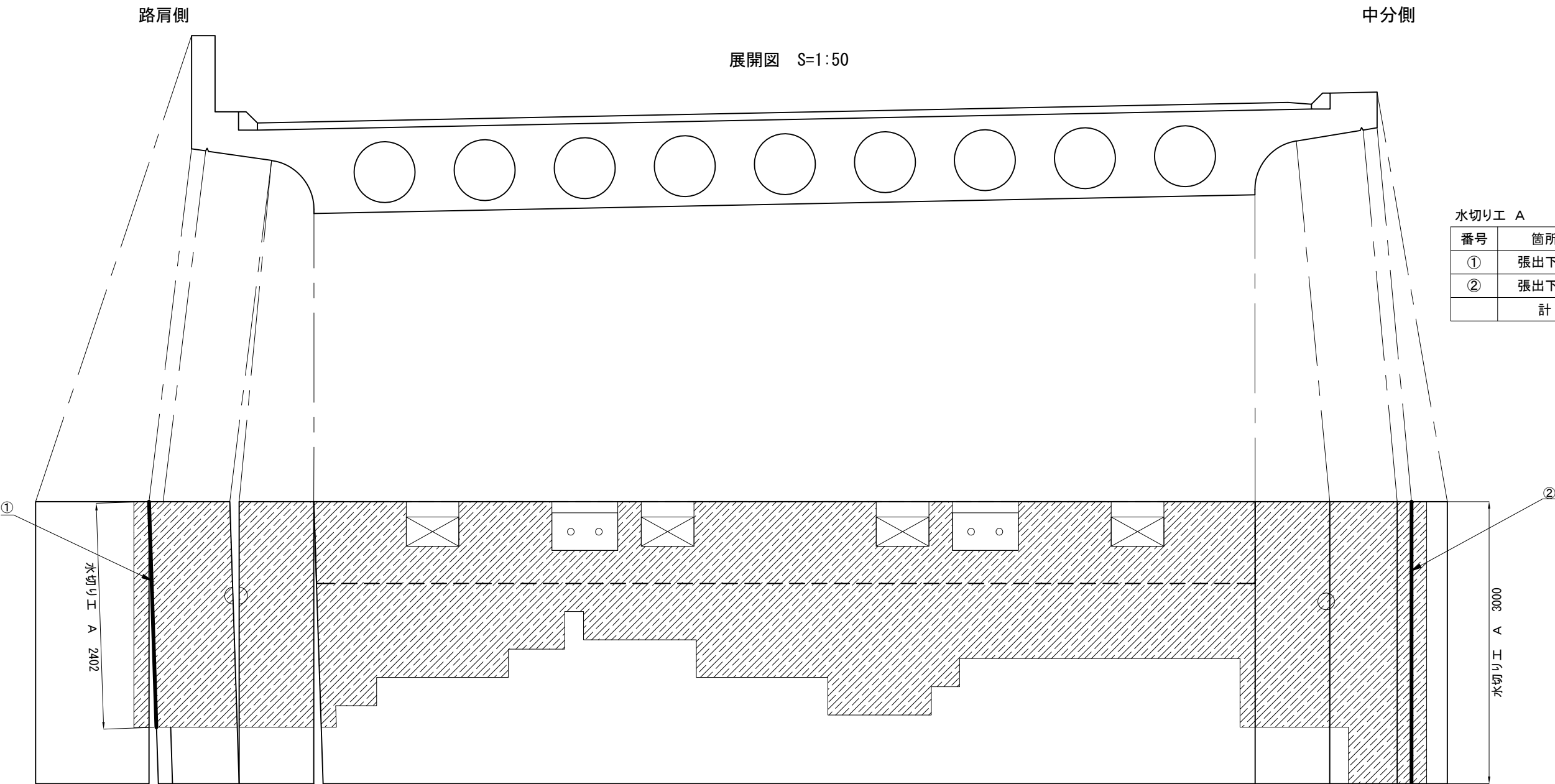
路肩側	280 mm
中分側	300 mm

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	水切り工 A

□ □ □ 狭小部範囲

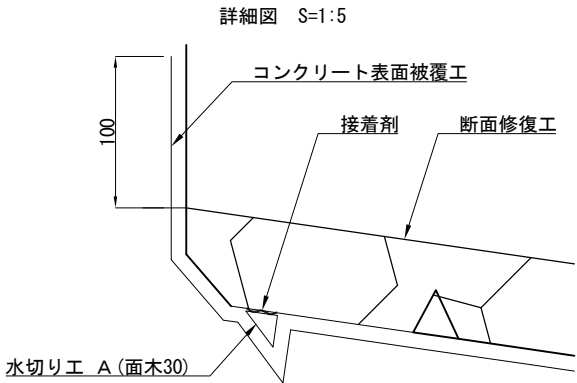
型式：単純PC中空床版

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	新津高架橋 表面保護工 上り線 A 1		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		



水切り工 A

番号	箇所	数量(m)
①	張出下面	2.4
②	張出下面	3.0
	計	5.4

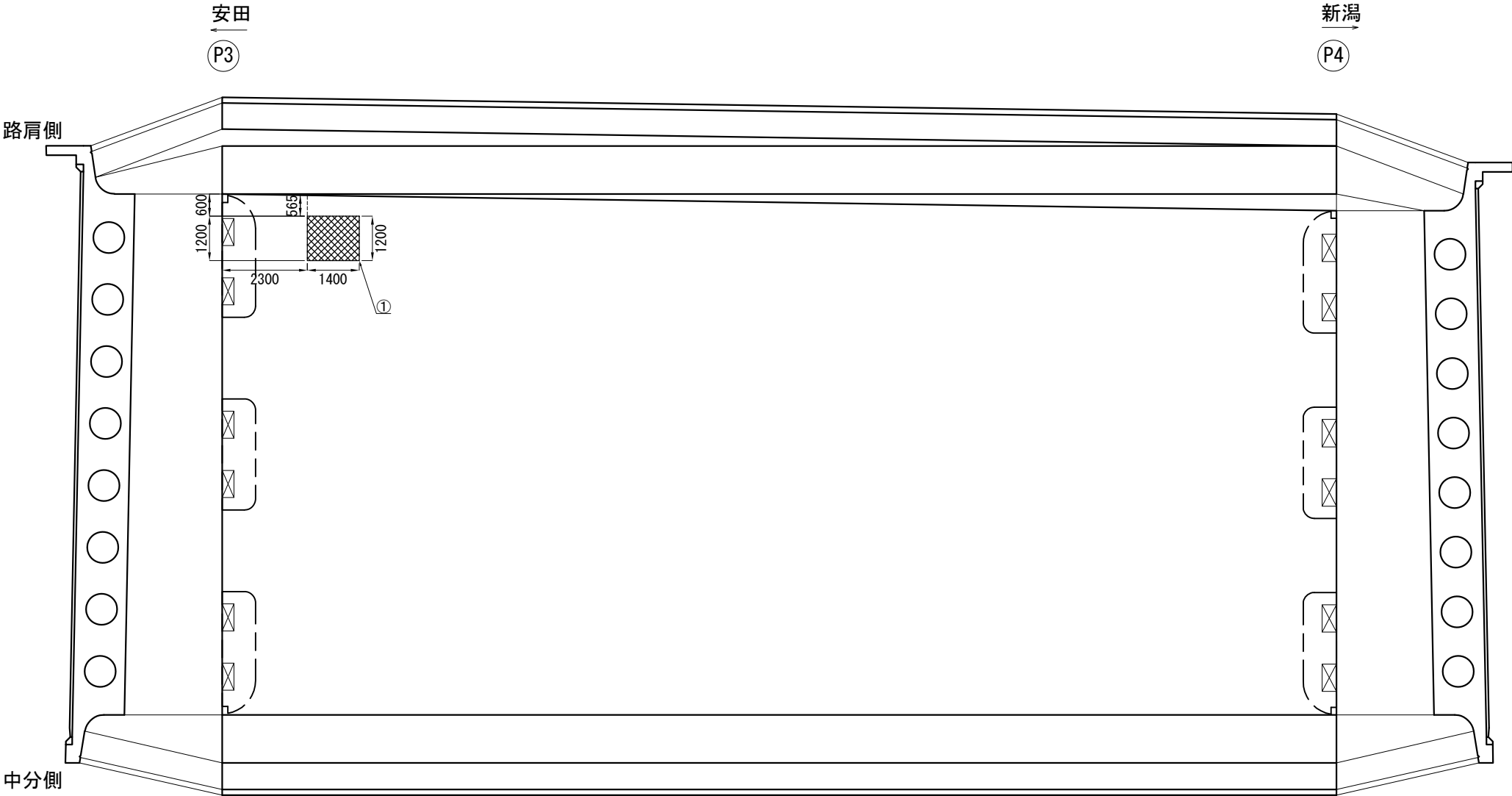


□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純PC中空床版

狭小部高さ		
路肩側		280 mm
中分側		300 mm

施工範囲	工 種
	コンクリート表面被覆工
	水切り工 A

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	新津高架橋 水切り工 上り線 A 1		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		



コンクリートはつリエ A1 (t=5cm)
断面修復工 A1b (t=5cm)

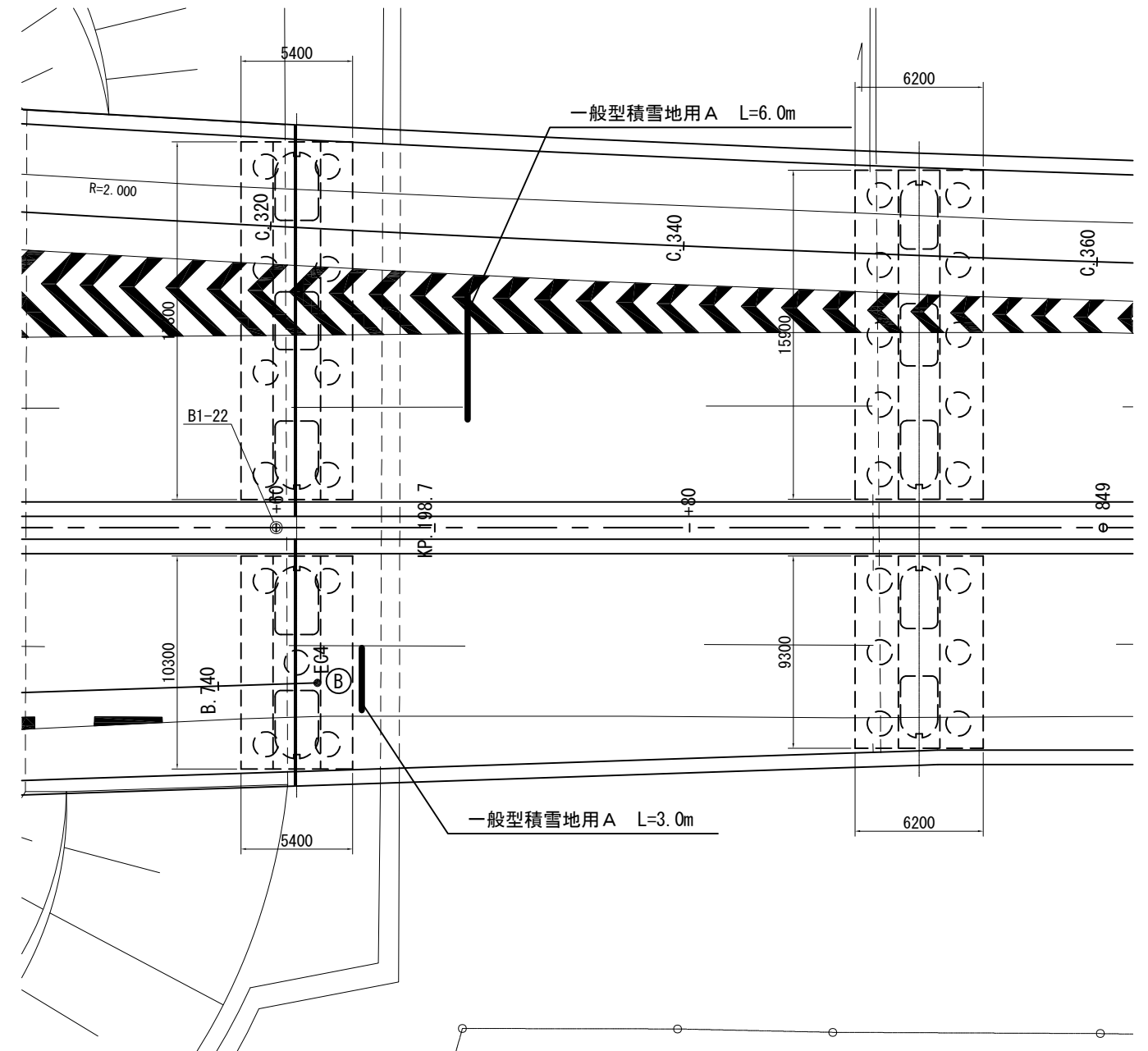
番号	箇所	数量(m ²)
①	床版下面	1.7

□ □ □ 狭小部範囲
型式：単純PC中空床版

施工範囲	コンクリートはつリエ	断面修復工
	A1 (t=5cm)	A1b (t=5cm)

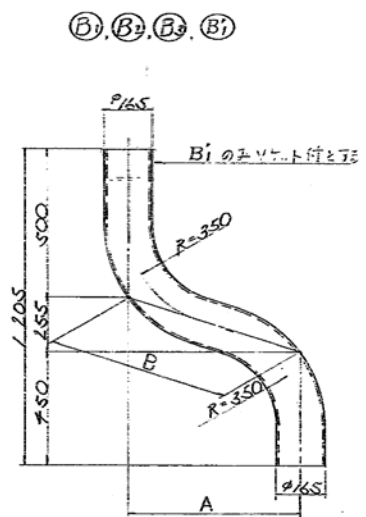
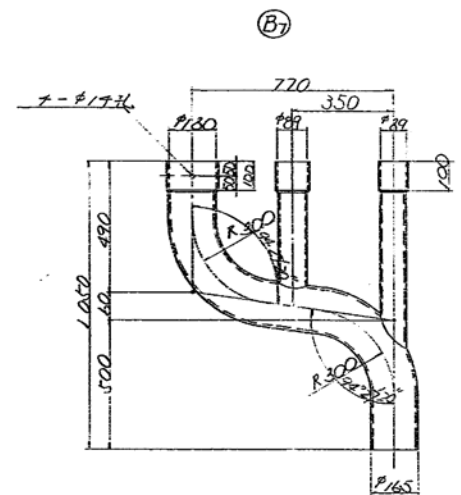
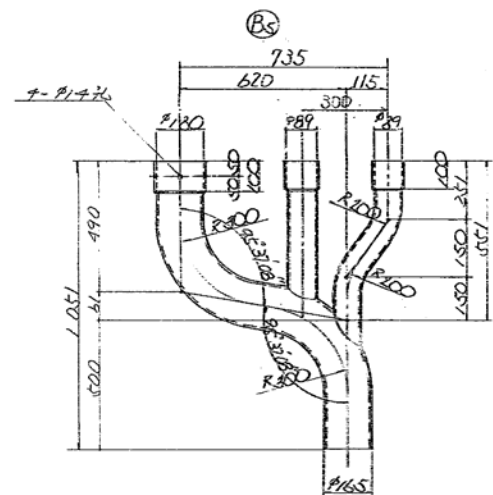
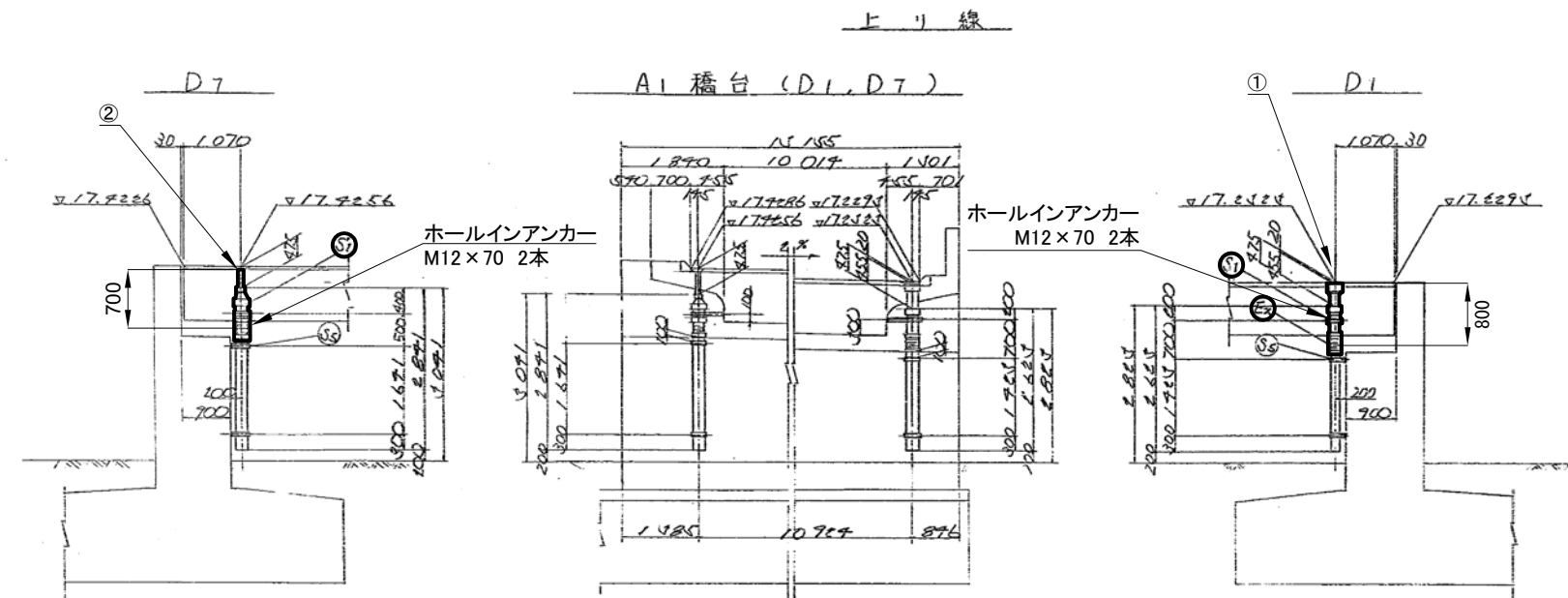
北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	新津高架橋 コンクリートはつリエ、断面修復工 下り線 P 3－P 4		
縮 尺	1:150	図面番号	－
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

平面图 S=1:300

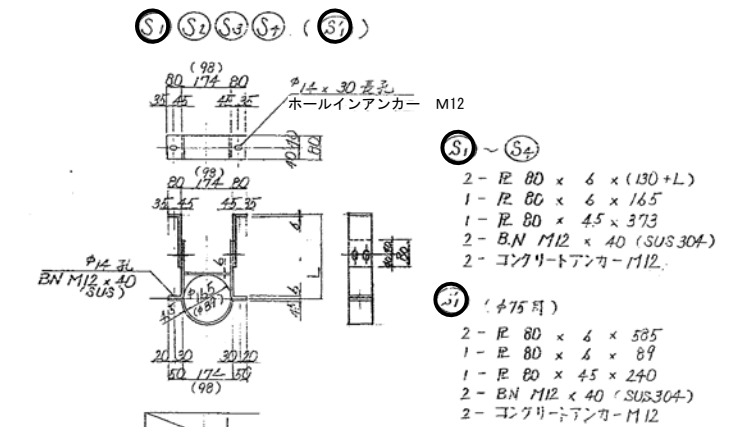
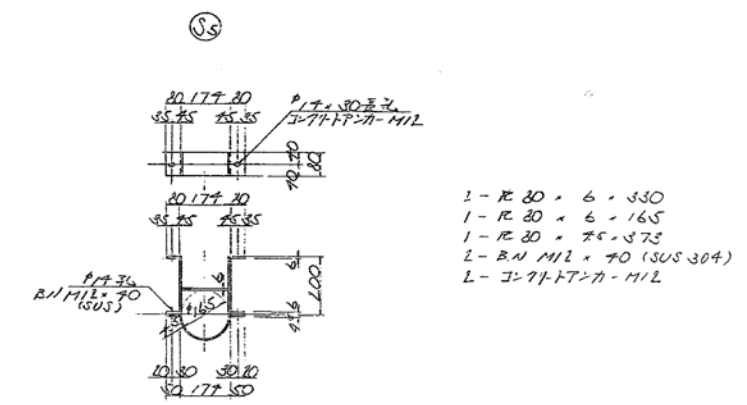
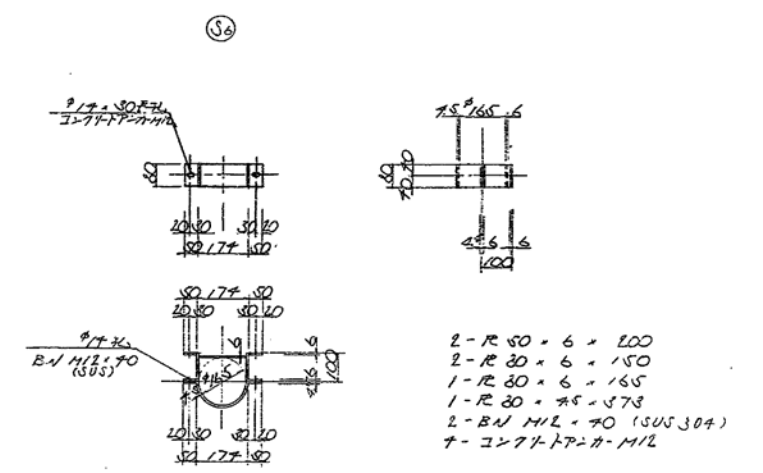


北 陸 自 動 車 道			
R8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	新津高架橋 立入防止柵撤去設置工 上り線、下り線 P1-P2		
縮 尺	図示	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

新津高架橋 排水管撤去設置工
上り線 A1

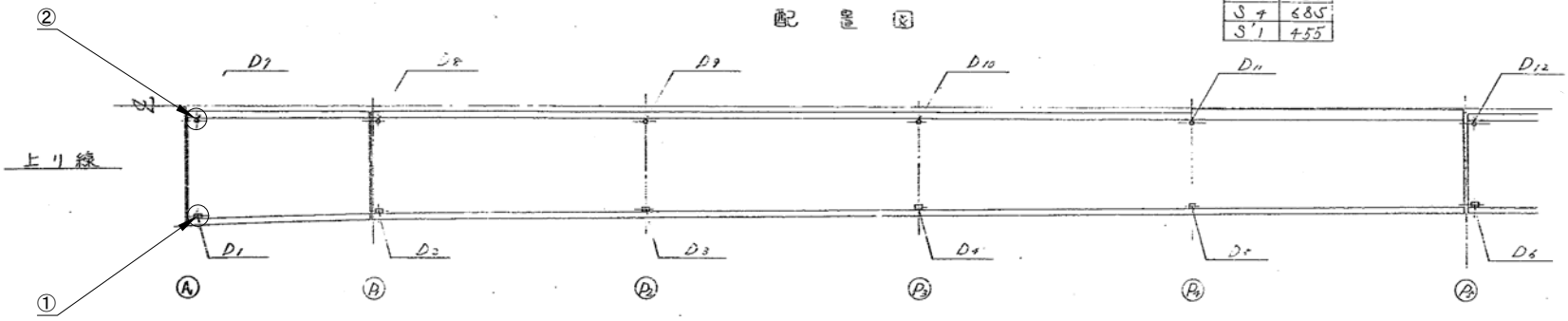


	A	B
B1	555	611
B2	589	672
B3	585	688
B4	555	611



排水管撤去設置工 A

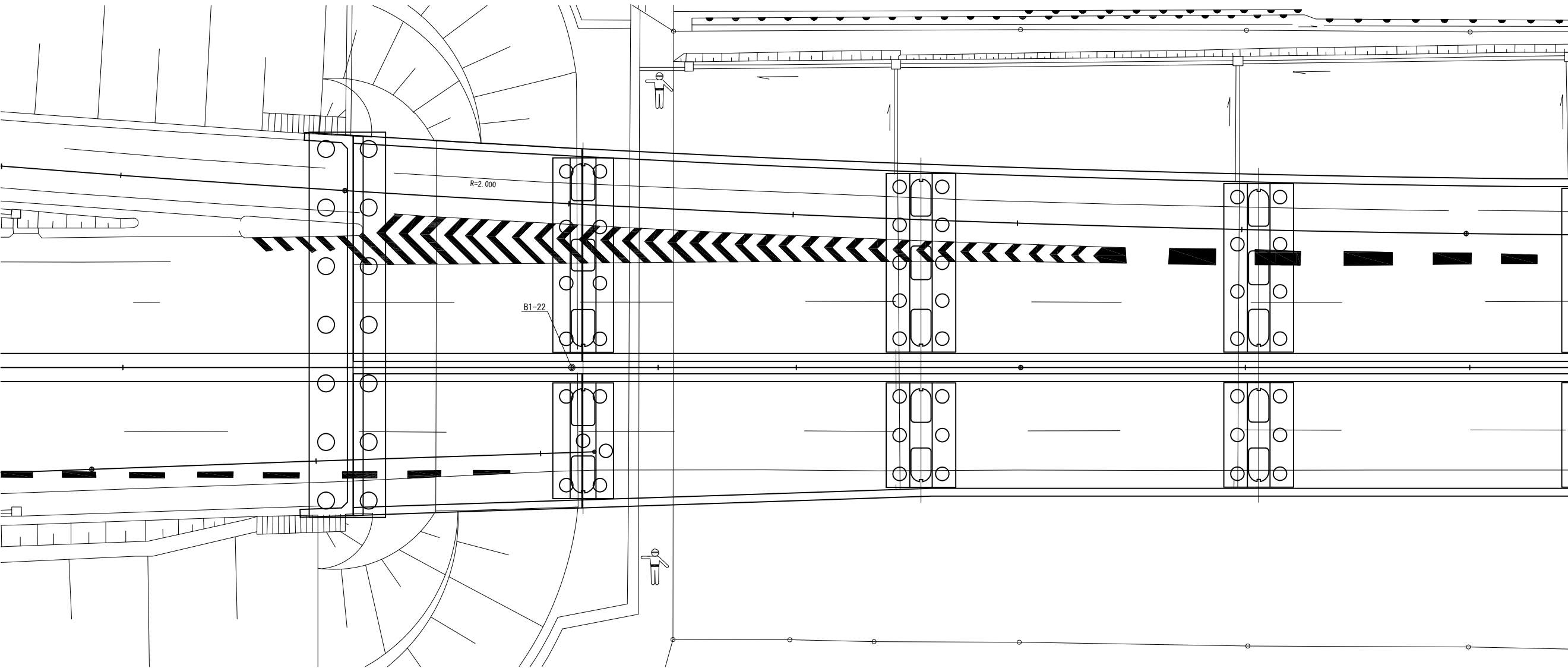
番号	箇所	数量(箇所)	数量(m)
①	路肩	1.0	0.8
②	中分	1.0	0.7
	計	2.0	1.5



注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ボルト、ナットは溶融亜鉛メッキを施す。
亜鉛の膜厚は、HDZT49とする。

北陸自動車道 R8新潟管内橋梁補修工事	新津高架橋 排水管撤去設置工 上り線 A1
縮尺	1:50
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所

新津高架橋 交通保安要員
上り線 下り線 P 1—P 2



凡例

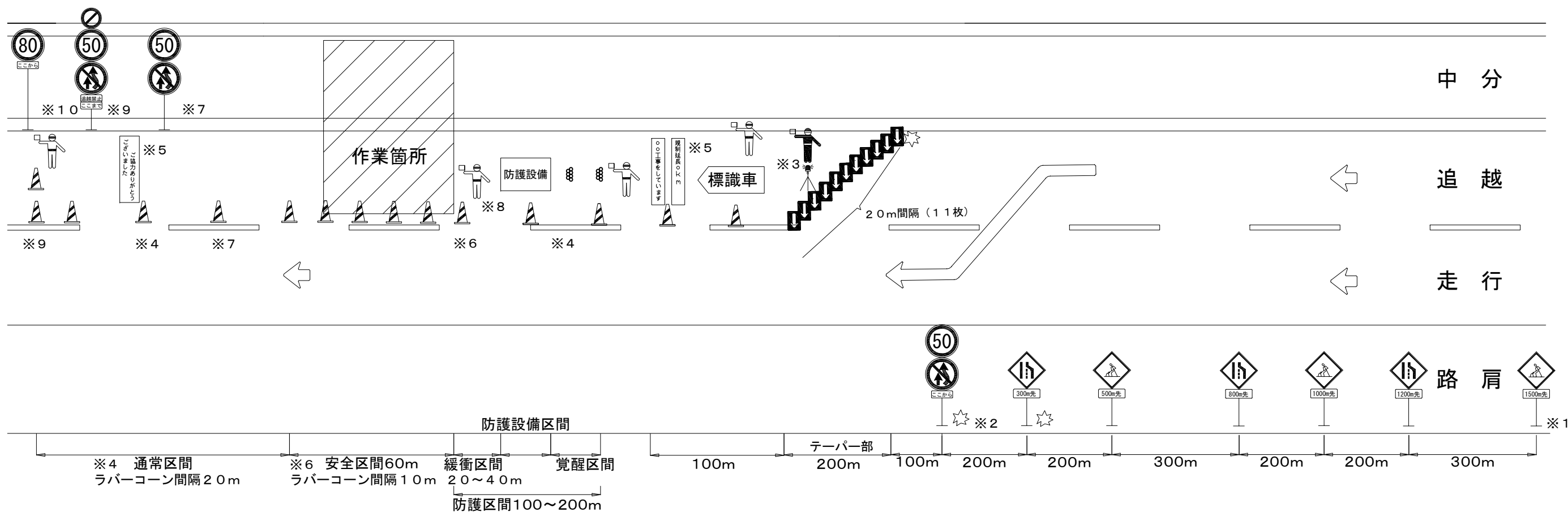
	交通保安要員
--	--------

単価表の項目	A1(人・日)	P3(人・日)	合計(人・日)
交通誘導警備員B1	42	4	46
交代要員	21	2	23

- ※1 A1側施工時の交通保安要員の配置期間は、事前調査及び表面保護工を除く施工期間とする。
- ※2 P3施工時の交通保安要員の配置期間は、立入防止柵撤去設置工の施工期間とする。
- ※3 交通誘導警備員B 1の休憩時の交代要員は1名とする。
- ※4 交通誘導警備員B 1の数量を検測数量として扱うものとする。

北 陸 自 動 車 道 R 8 新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	新津高架橋 交通保安要員 上り線 下り線 P 1—P 2		
縮 尺	1:400	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		

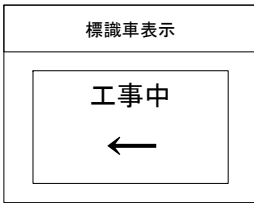
交通規制工



- ※ 1 標識板は高輝度または超高輝度とする。
- ※ 2 300m先車線減少予告標識、50km/h規制標識、テーパ先端の矢印板に「警告灯」を設置する。
- ※ 3 回転灯および誘導ロボットの位置は矢印板の9枚目に設置する。
- ※ 4 ラバーコーンの間隔は20mとする。(通常区間)
- ※ 5 標識車の下流側に作業案内看板・規制延長看板を、規制の終点にお礼看板を設置する。
- ※ 6 作業箇所開始場所から60m程度区間を安全区間とし、ラバーコーンを10mピッチで設置する。
- ※ 7 規制延長が1kmを超える場合は、「50km/h区間標識」「あと〇kmコーン」を1km毎に設置する。
- ※ 8 テーパ部1名、工事用車両出入口1名、施工箇所1名、規制内巡回等1名に交通監視員を配置する。
- ※ 9 規制区間の最後尾には、ラバーコーンを2個設置し、50km/h規制・追い越し禁止解除標識を設置する。
- ※ 10 規制場所の規制速度に合わせて、標識を設置する。

凡例

	警戒標識【貸与】		交通監視員
	車線幅減少看板【貸与】		警告灯【受注者準備】 (自発光式)
	速度標識【貸与】 (規制速度50/追越禁止/ここから)		回転灯【受注者準備】
	速度標識【貸与】 (規制速度50/追越禁止)		規制延長案内看板【受注者準備】
	速度標識【貸与】 (規制速度50/追越禁止/ここまで)		作業内容案内看板【受注者準備】
	速度標識【貸与】 (規制速度80/ここから)		規制作業協力御礼看板【受注者準備】
	矢印板【貸与】 (高輝度反射式又は自発光式)		覚醒マット【受注者準備】 (参考：寸法 Φ 0.6 *7枚 (ゴム製))
	ラバーコーン【貸与】		防護設備【受注者準備】 (進入車両強制停止装置又はクッションドラム+トラック等)
	ロボット誘導員【貸与】		



北 陸 自 動 車 道 R 8新潟管内橋梁補修工事			
図面の種類	交通規制工 車線規制		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所		